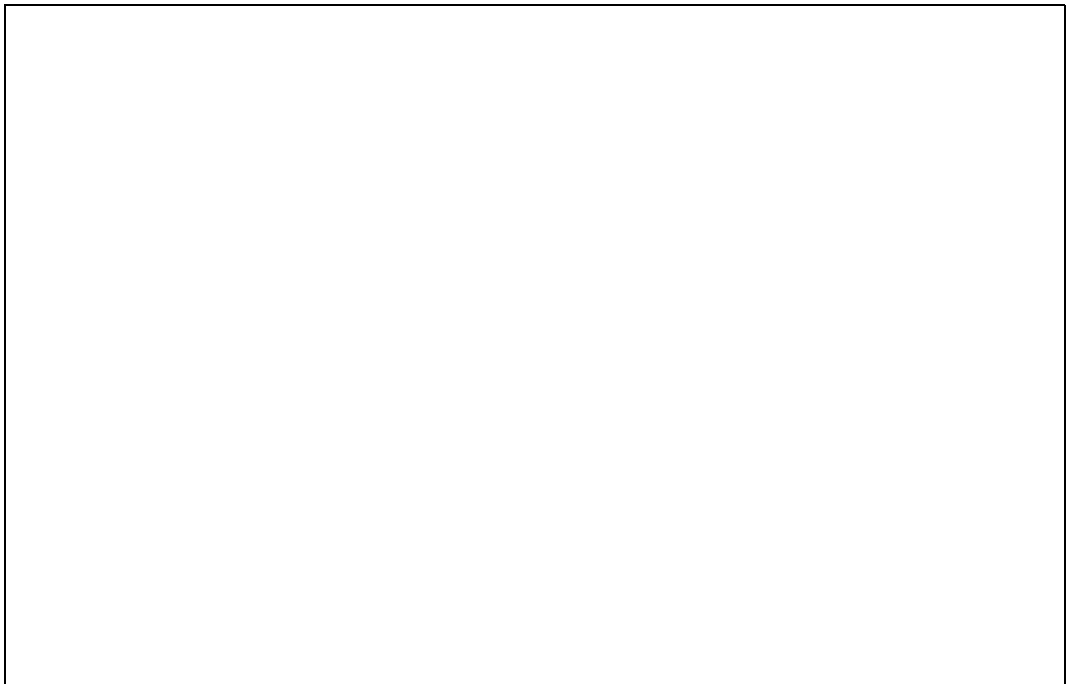


ANNUAL REPORT

2001 – 2002

No. 25



University of Tsukuba

Institute of Policy and Planning Science

まえがき

社会工学系は、社会問題（経済、経営、都市・地域、国際関係等の諸問題）を理工学的（分析的、数理的、計量的）アプローチによって解明し、政策的な意味合いを見出すという研究上の共通目標をもつ研究者・教育者の組織である。それぞれの構成員は、国際的に認められるような質の高い研究成果を上げるように、また良き教育者であるように努めている。平成13年度の本学系所属の教員は、東京大塚地区を含めて、教授44名、助教授32名、講師29名、助手4名の合計109名である（平成14年3月31日現在）。本学系教員の研究・教育活動は、以下のように総括できる。

(1) 研究活動と国際交流

本学系の研究活動は平成13年度も引き続き、全分野にわたって活発であった。国内外論文・著書発表数、国内外学会発表数は、すべて平成12年度に比べて増加し、特に前者の伸びが大きい。学系発行のDiscussion Paperは、66篇（平成12年度は60篇）であった。競争的研究資金の積極的導入に努めた結果、科学研究費、学内プロジェクトの採択件数および金額も増加している。受賞は、14件（日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞、Kirkman Medal等）と平成12年度に比べて倍増した。

国際交流協定を結んでいるのは、韓国国土研究員、アデレード大学、南オーストラリア大学、南オーストラリア・フリントマス大学、ウィーン経済・経営大学、およびザンクト・ガレン大学（スイス）である。これらの大学とは若干名ながら、研究者および学生の交換が続いている。外国人研究者の受け入れと教員の海外派遣は極めて多く、研究交流が盛んであることを示している。

(2) 教育と人事

本学系から教員を派遣している教育組織は、第三学群の社会工学類と国際総合学類、修士課程の経営・政策科学研究科、環境科学研究科および地域研究科、博士課程のシステム情報工科学研究科、人文社会科学研究科およびビジネス科学研究科である。また、大学研究センター、先端学際領域研究センター、留学生センターにも若干名を派遣した。

本学系は教員のモビリティが高く、それに伴い採用・昇任人事が活発に行われている。そこでは、審査付学術論文を重視した業績評価を基礎として、開かれた透明な人事に努めている。しかし、優秀な人材を確保するために、また魅力ある学系としてさらに成長するために、継続した努力が必要である。

本学系の教員は、様々な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交流が、相乗効果により研究成果の向上をもたらすことを期待する。本学系の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立ち有能な人材を確保することが必要である。また学系業績の定期的な記録と自己評価により、学系活動の説明責任を果たさなければならない。本報告書がそのような課題に対応するための資料を提供し、構成員及び関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

平成14年7月30日

社会工学系長
橋本 昭洋

目次

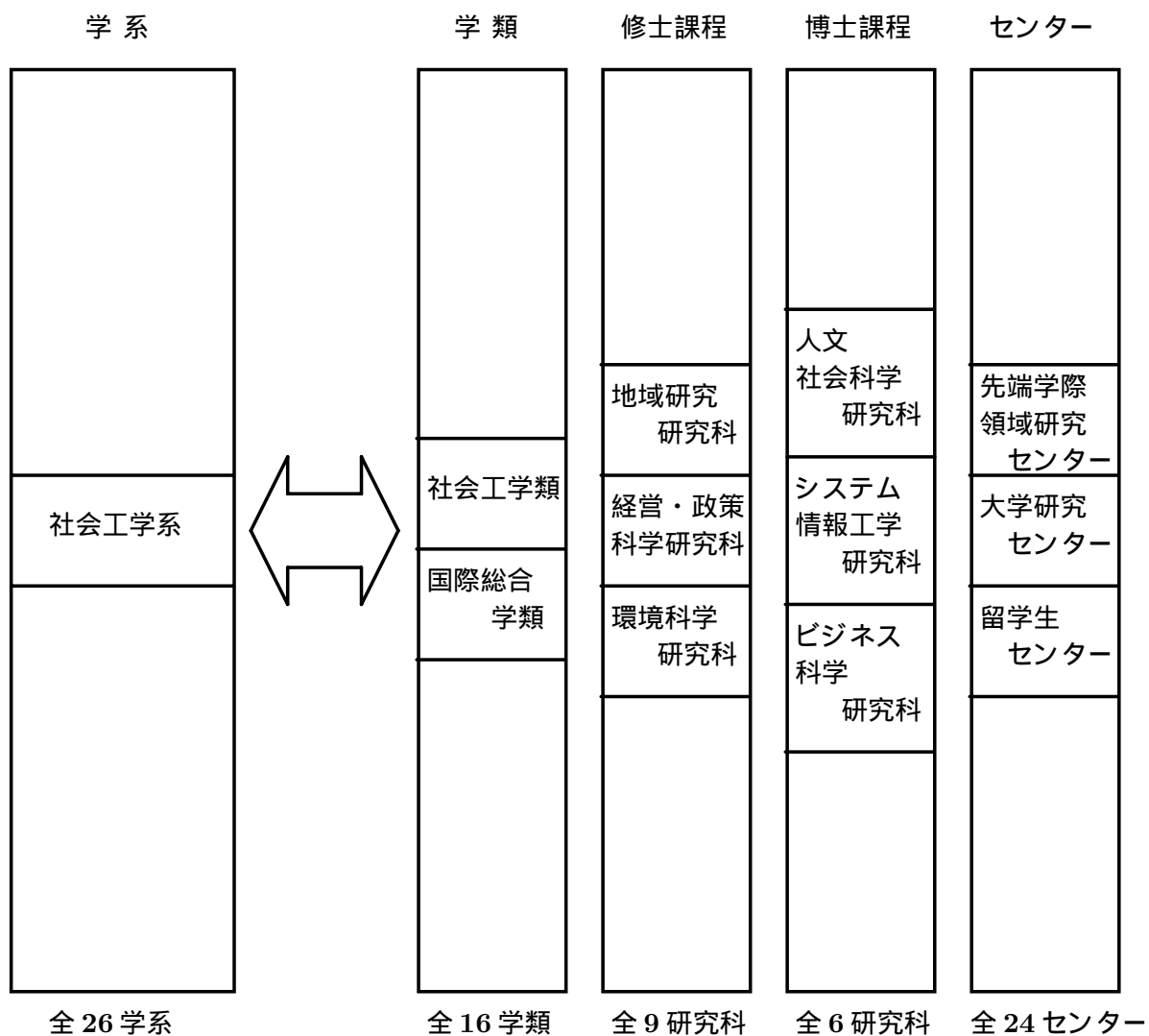
I.	概要	1
I-1	沿革	2
I-2	学系(研究組織)・教育組織等の関係	3
II.	教官一覧	4
II-1	社会工学系教官一覧	5
III.	研究活動	12
III-1	科学研究費補助金	13
III-2	受託研究	15
III-3	学内プロジェクト	16
III-4	ファカルティ・セミナー	17
III-5	研究出版物	20
IV.	各教官研究・教育活動	24
	教授	25
	助教授	83
	講師	113
	助手	138
	準研究員	139

I. 概要

I-1 沿革

- 昭 38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
昭 45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
昭 47. 5 筑波新大学(仮設)等 42 機関を閣議決定
昭 48. 10 筑波大学設置
昭 50. 4 社会工学系発足
社会科学部 社会科学研究科 計量計画学専攻(博士課程)発足
昭 51. 4 経営・政策科学研究科 経営・政策科学専攻(修士課程)発足
昭 52. 4 第三学群社会工学類発足
環境科学研究科(修士課程)発足
昭 53. 4 社会工学研究科計量計画学, 都市・地域計画学専攻(博士課程)発足
昭 54. 4 社会工学研究科経営工学専攻(博士課程)発足
昭 56. 3 社会工学類第一回生卒業
昭 58. 4 第三学群国際関係学類発足
平 1. 4 経営・政策科学研究科 経営システム科学専攻(夜間修士課程、大塚地区)発足
平 4. 4 国際政治経済学研究科(博士課程)発足
平 8. 4 経営・政策科学研究科 企業科学専攻(夜間博士課程、大塚地区)発足
平 9. 4 社会工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻新設,
社会経済システム, システム情報数理, 都市・環境システム専攻に改組再編
平 12. 4 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻(社会経済システム, システム情報数理, 都市・環境システム分野),
計量ファイナンス・マネジメント専攻(博士課程)発足
平 13. 4 ビジネス科学研究科 経営システム科学、企業法学、企業科学専攻(夜間・前後区分制博士課程、大塚地区),
システム情報工学研究科 リスク工学専攻(博士課程)発足

I-2 学系 (研究組織) ・ 教育組織等の関係



II. 教官一覽

II-1 社会工学系教官一覧

(平成13年4月～平成14年7月)

氏名 / 職名	専門分野	研究内容
教授		
赤根谷 達雄	国際政治学 国際政治経済学 日本の対外政策	冷戦後の国際秩序、日米同盟の再構築、新しい安全保障の概念
池田 三郎	社会システム工学 環境リスク分析	都市、地域及び生態系の統合モデル化とその計算機模擬、地球環境や都市・地域の環境リスクの分析と管理、複雑系のモデル化とその制御の手法に関する研究
石田 東生 (社会工学類長 H13.4.1-)	都市交通計画 社会基盤施設計画 交通需要予測	都市公共交通政策、交通施設整備政策の変遷、交通計画策定プロセスにおける評価とパブリックインボルブメントの可能性と方法
系井川 栄一	都市防災計画	都市防災に関する数理化 都市の災害脆弱性評価
大澤 義明	都市計画 地域科学	立地理論、空間的競争モデル、地理データ解析
太田 誠	ミクロ経済学 計量経済学	生産技術・品質・市場構造の理論的・実証的研究、物価指数論、マクロ経済現象のミクロ理論的・実証的分析
大西 治男	情報計量経済学 計量行政学 データ解析	統計学や計量経済学の変数選択問題の解法の計算機科学的研究
大村 謙二郎	都市計画 都市計画史	土地利用計画、計画制度、都市計画史
小倉 昇 (ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻長 H14.4.1-)	管理会計学 業績評価 コストマネジメント	事業業績の評価、活動基準原価計算、組織の戦略的コントロール、マーケティング活動の会計的測定
小場瀬 令二	都市環境デザイン	環境共生住宅、地域重視型住宅、フィンランドの都市計画、まちづくりとワークショップ
加藤 英明	ファイナンス	行動ファイナンス、企業の資金調達、コーポレートガバナンス
金子 守 (社会工学研究科長・ システム情報工学研究科 社会システム工学専攻長 H13.4.1-)	ゲーム論 認識理論 理論経済学	ゲーム論の基礎と応用 認識と経験 住宅市場
河合 忠彦	経営組織論 企業行動論	戦略的組織改革 経営組織論 企業行動論
岸本 一男	数理工学	数理ファイナンス デジタル幾何 数理政治学
木下 太志	文化人類学 人口学 生態人類学	人口理論、出生・死亡・人口移動の数量的分析、人類史における人口、生態系と人口
久野 靖	プログラミング言語 プログラミング環境	並列/分散オブジェクト指向言語、教育用オブジェクト指向言語、情報教育、ユーザインタフェース

熊谷 良雄	都市計画 都市安全管理計画	大地震による被害の想定に関する研究、緊急時の危機・情報管理、災害復興計画技術進歩
黒田 誼 (留学生センター長 H13.4.1-)	農業経済学 経済発展論	農業成長および経済発展、農業および食料政策
香田 正人	システム科学 応用数理解析 データマイニング工学	システム最適化、感度解析、ニューラル・ネットワーク、機械学習等の理論的研究と、それらの技術のデータマイニングや発見科学への応用
腰塚 武志 (副学長 H12.4.1-H14.3.31)	都市工学 積分幾何学	都市の物的構造を数理的に明らかにすること、積分幾何とその応用、移動からみた都市構造の分析
SAAVEDRA RIVANO, Neanto	International Economics, Development Economics, Mathematical and Computational Methods in Economics	Comparison of Development Policies in East Asia and Latin America, Relation Between Regional Economic Integration Schemes and National Development Strategies in Asia and the Americas, Issues on Transition Economies.
佐藤 亮	経営システム工学 システム科学	経営情報システム、離散事象システム、ビジネスプロセス工学、一般システム理論
庄司 功	応用時系列解析	ダイナミカルシステムモデルの推定
鈴木 久敏 (ビジネス科学研究科 長 H13.4.1-H14.3.31) (企画調査室長 H14.4.1-)	オペレーションズ・リサーチ 数理計画法	オペレーションズ・リサーチの生産、物流、社会システム、病院経営への応用
住田 潮	確率過程・応用確率論 情報システム/マルチメディア・ネットワーク 国際経営比較	確率計算アルゴリズム、情報通信ネットワークの評価・解析、日米経営比較
高木 英明 (社会工学系長 H12.4.1-H14.3.31) (副学長 H14.4.1-)	通信ネットワーク 確率モデル 待ち行列理論	マルチメディア情報通信ネットワークの性能評価モデル
谷村 秀彦 (第三学群長 H11.4.1-H14.3.31)	都市施設計画 建築計画	社会構造の変動に対応した地域公共サービスの再編成に関する計画的な研究、歴史的都市の現代化における空間制御技術に関する研究
椿 広計	応用統計	品質管理などを含むビジネス科学、環境科学、臨床評価、官庁統計分野などでの統計的方法の開発と応用
寺野 隆雄 (ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻 長 H13.4.1-H14.3.31) (ビジネス科学研究科 企業科学専攻長 H14.4.1-)	計算組織理論 データマイニング 進化計算 人工知能	遺伝的アルゴリズムなどの進化計算と人工知能の統合化、ならびに、これらによる、データマイニング手法の開発と社会シミュレーションへの適用

土井 正幸	地域経済学 交通経済学	発展途上国交通経済論、港湾経済論、国際物流論、開発経済学、地域経済発展とインフラストラクチャ整備、を含む。
中村 豊	意思決定理論	不確実性下の意思決定の理論的基礎とその応用
橋本 昭洋 (社会工学系長 H14.4.1-)	社会システム 評価・決定論	社会システム分析、公共部門意思決定、評価・決定方法論、非画一的総合評価
藤原 良叔	組合せ理論とその応用	組合せ理論 / 離散数学とその情報科学や統計学への応用
古川 俊一	行政学 政治学 公共政策学	地方行財政論、地方分権と政府間関係論、公共経営論、比較行政制度論、公共政策評価論
星野 靖雄	経営管理論 経営財務論 国際経営論	企業合併の計量分析、合併企業の行動分析、日本の経営論
松尾 博文 (システム情報工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻長 H13.4.1-)	生産流通管理論	サプライチェーンマネジメント (SCM)、オペレーション戦略、ビジネスモデル、生産システムの最適化、スケジューリング、在庫管理、オペレーションズリサーチ
松田 紀之 (経営・政策科学研究科長 H13.4.1-)	認知心理学 情報デザイン	感性的判断支援と分析、ブランドイメージ、リスク認知、セマンティックインターフェイス
松本 正雄	企業情報戦略 産業ソフトウェア工学 品質システム ソリューション工学 エンタープライズ・モデリング	情報工学とくにソリューション/ソフトウェア工学アプローチによるエンタープライズ (インタプライズ) モデリング、経営と IT の統合改革手法
宮越 龍義	金融論	日本金融システムの理論的・実証的研究
門田 安弘	管理会計学 生産管理論	原価管理の実証分析、分権組織の業績管理システムの実証分析、JIT 生産方式のモデル分析
山田 直志	医療経済学 応用ミクロ経済学	高齢者医療の部分的定額制度導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響
山本 芳嗣	数理計画	均衡点問題とそのアルゴリズム、大域的最適化
吉澤 正	応用統計 品質・環境マネジメントシステム	多元データの解析、製品及びマネジメントシステムの開発への品質機能展開の応用
吉田 あつし	都市経済学 空間統計学 応用計量経済学 医療経済学	標準雇用大都市圏の形成と集積の経済、地域間交易の経済統計モデル、空間計量経済モデルの開発地域医療・介護保険制度とティーパー仮説の検証、医療保険制度の改正と医療サービスの需要及び供給の分析
吉田 健一	機械学習 データマイニング インターネット	インターネットの運用ログ、アプリケーションに関する各種情報など、構造を持ったデータからの規則抽出とネットワーク/アプリケーション・アーキテクチャへのフィードバック
吉田 雅敏	財政学 公共経済学 経済成長論	税、公共投資などの財政学における基本問題の研究

助教授		
生田 誠三	生産管理	確率的逐次決定過程の研究
イリチュ(佐藤)美佳	データ解析 多次元データ理論多相	ファジィクラスタリング、多相・多元データ解析
大澤 幸生	発見科学 人口知能	予兆を発見するエージェント群(マルチエージェント)により危機管理・機会捕獲を支援する高度情報システムに関する研究
太田 充	地域科学 都市経済学 都市計画	空間経済システムの自己組織化及び構造変化
梶井 厚志	理論経済学 意思決定理論 ゲーム理論	競争市場理論、特に金融市場と情報の経済的役割の理論研究
金澤 雄一郎	統計学 データ解析	一般化線形モデル、欠損値を含んだデータの解析
川勝 浩之	Applied Time Series Analysis	Stock Market Liberalization
金 顕哲	流通チャネル マーケティング	流通チャネル、小売イノベーション、商業、関係性マーケティング、日本型マーケティング、営業
久野(吉瀬) 章子	数理計画 オペレーションズ・リサーチ	線形・非線形最適化問題に対する効率のよい算法の開発
桑嶋 健一	研究開発/製品開発管理 経営戦略論	企業の研究開発・製品開発に関わる戦略および組織の分析
Henrich R. Greve	経営学 社会学 特に組織の競争性について	企業の成長とイノベーション：戦後の日本造船業の国際競争力の発展について
小林 信一	科学技術政策 高等教育政策	科学技術政策、研究開発管理、技術情報経営、科学技術論、高等教育政策に関する研究、とくに知識生産システムの研究、産学連携の研究など
猿渡 康文	数理計画 組合せ最適化	最適化問題に対する高速算法の開発、最適化理論のスポーツマネジメントへの応用に関する研究
徐 華 (Xu Hoa)	システム制御理論 動的ゲーム理論	システム制御理論、動的ゲーム理論とそのマネジメントサイエンス、社会経済システムへの応用に関する研究
鈴木 秀男	応用統計 品質管理	統計的手法と機械学習法の開発、その品質管理と商品企画への応用
高崎 善人	Development economics Resource economics Environmental economics	Environmental conservation and economic development, Rural livelihood, Humid tropics.
高橋 正文	派生証券評価 金融リスク管理	金融資本市場の価格評価、価格変動解析、VARを中心とする市場リスク管理手法の研究
竹原 均	財務管理論	資産価格評価モデルに関する実証分析、ポートフォリオのリスク管理及び最適化に関する研究

竹村 和久	消費者行動研究 認知心理学 社会心理学 マーケティング・サイエンス	判断と意思決定の心理、消費者行動研究、交渉行動の研究
豊谷 整克	理論経済学 公共経済学	社会的に望ましい帰結を達成するメカニズムのデザイン
張 勇兵	分散システム 通信ネットワーク 性能評価	分散システムにおける資源の最適配分、移動通信システムにおける資源管理、光ネットワークにおける波長ルーティング及び論理ネットワークの構築
津田 和彦	自然言語処理 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	文書の意図理解、テキストマイニング、文書からの知識獲得技術に関する研究
鄭 小平	地域科学 都市経済学	都市・地域における空間構造の経済分析、最適都市規模に関する理論・実証研究、中国の都市・地域問題と政策研究
永井 裕久	組織行動論 人的資源管理 国際人事	企業の国際化と人材戦略、海外派遣者の雇用管理システム、経営者のキャリア・パーソナリティと組織効果
野上 佳子	数理統計学 統計学	ラグランジェ法を用いた統計的推論、統計的決定論
飛田 史和	日本経済論 国際経済	内外価格差、消費者問題
平瀬 (西尾) チツル	マーケティング 消費者行動論	マーケティング・コミュニケーション、消費者行動の計量モデル、エコロジカル・マーケティング
牧本 直樹	確率過程論 オペレーションズ・リサーチ	確率システム性能評価、確率モデルの数値計算法、システムシミュレーション
安田 八十五	都市政策学 環境政策学 ごみとリサイクル政策 循環型社会システム論	大規模公共プロジェクト及び公共政策が社会環境に与えるインパクトのシミュレーション分析と総合評価
山田 雄二	金融工学 数理ファイナンス 金融リスク管理	金融派生商品の価格付け理論、最適ポートフォリオヘッジ理論、金融リスク推定・コントロールの研究
横張 真	緑地環境計画	都市近郊における緑地計画の方法論に関する研究、緑地の環境保全機能に関する研究
吉野 邦彦	リモートセンシング 地域環境工学	衛星リモートセンシングデータによる土地被覆・土地利用解析、地表面の方向性分光反射特性の解析とモデル化
李 明宰	計量経済学	Semiparametrics, Sample Selection, Treatment effect panel data, LiMDEP
渡辺 俊	建築・都市計画 設計学	マルチメディア社会における都市計画・建築計画、知的設計支援システムの設計・開発

講師		
秋山 英三	ゲーム理論 力学系	限定合理性、ゲームにおける時間構造についての研究、進化ゲーム
有田 智一	地域科学 都市計画	産業集積、都市・地域政策、都市計画制度
石井 健一	コミュニケーション 情報社会	海外の日本番組、情報機器の普及と採用、移動体通信の利用行動
祝迫 得夫 (併任 H13.4.1-H14.3.31)	ファイナンス マクロ経済学	国際的な環境への資産価格モデルの適用、日本の資産市場とマクロ経済の関連、金融制度と経済発展の相関、非線型計量経済モデルのファイナンスへの応用
宇井 貴志 (併任 H14.4.1-H14.7.31)	ゲーム理論	ポテンシャル関数を用いたゲームの分析手法、金融危機の発生と連鎖に関する理論、金融政策の有効性に関する理論および実証
上田 貴子	応用計量経済学 開発経済学	動学構造モデルの実証研究
江口 匡太	労働経済学	労働契約の理論、労働法の経済分析
大江(繁野) 麻衣子	数理計画 組合せ最適化	組合せ最適化問題に関する算法の開発
大木 敦雄	計算機システム	プログラミング環境、ネットワーキング、ユーザインタフェース
岡本 直久	交通計画 観光計画	社会資本整備のもたらす効果の計測、観光交通の調査及び需要推計方法
小野 哲生	環境経済学 マクロ経済学	環境政策と経済成長、世代間公平性、高齢化
加藤 毅	学術・科学技術政策	グローバル知識社会における大学、若手研究者養成制度の国際比較、NPOの社会的役割
金田 直之	財務会計学	資本市場に関する実証分析、モデルを用いた理論的分析、実験会計学
川邊 みどり	沿岸環境科学 沿岸域管理	東京湾沿岸環境の多面的評価、アジア沿岸域における持続的生産の可能性
姜 晟振 (Sung Jin Kang)	Economic Development Poverty Reduction	Economic Growth and Development, Multi-national Enterprises, The Effects of Income Transfer
後藤 順哉	数理計画(連続最適化) 金融最適化	数理計画の金融への応用 & 解法の研究 大域的最適化
近藤 文代	時系列解析 統計解析 マーケティングデータ分析	ビジネスにおける時系列データ解析および解析手法の開発
鈴木 勉	都市解析 立地論	都市空間・立地構造及び環境影響に関する数理的解析、地理情報を活用した施設計画評価
TURNBULL, Stephen John	ゲーム論 情報経済 実験経済	インターネット経済(設備・システム組織、電子商業)、オープンソースソフトウェアの経済的環境
TIWARI, K. Piyush	Real Estate Markets Transportation Economics Health Economics CGE Macro models	Modeling housing demand, Performance of homemortgages, Role of public policy in housing, Estimating demand for shipping company and ports, Transportation modal choice problems, CGE models for Japan and China, Demand for healthcare indeveloping countries

八森 正泰	離散数学 組合せ論	トポロジー的組合せ論、離散数学におけるトポロジー的手法、およびその応用
藤川 昌樹	日本建築史・都市史	日本の近世・近代都市史研究、農村の建築ストックに関する研究
藤原 博彦	社会情報論 会計情報論	企業情報ディスクロージャー、ビジネスモデル、コーポレートコミュニケーション
古屋 秀樹	交通計画 交通工学	交通行動分析ならびに交通需要予測分析、都市・地域交通システム計画の策定
三橋 平	マクロ組織行動論	組織間関係と組織バウンダリー
繆 瑩 (Ying Miao)	実験計画法 組合せ理論 情報理論	デザイン、符号、暗号の構成と分類、及び組合せアルゴリズム
村尾 修	防災空間論 都市デザイン	都市の被害想定と危険度、防災面から見た都市デザイン計画、空間情報基盤を用いたサイバーシティ構想とその応用
八重倉 孝	財務会計	会計基準設定、企業評価、投資意思決定等についての実証研究
山鹿 久木	都市経済学 計量経済学	都市住宅、交通混雑、都市間環境格差の経済分析
吉田 友彦	住環境整備 都市計画	既成市街地の整備手法の開発、基盤整備事業と自治体住宅政策の連携、外国人居住と基盤整備事業の関係
渡辺 真一郎	組織行動論	組織における人間行動を規定する状況要因と心理学的個人差要因の間の相互作用過程に関する研究

助手

ASIKHIA, Monday Ohi Ehi	Public Facilities Planning, Environmental and resource planning, Sustainable regional development, Planning theory	Population dynamics and public facilities provision. Sustainable regional development in developing countries. Planning theories in regional development planning.
安藤 和敏	数理計画 離散数学	組合せ最適化問題の多面的構造に関する研究、及び、それらに対するアルゴリズムの設計
坂本 淳二	都市・農村計画 応用地理学	大都市近郊混住化地域の計画論に関する研究、筑波研究学園都市の市街化に関する研究
新谷 由紀子	科学技術政策	産学官連携に関する研究

準研究員

大津 晶	都市計画	空間構造と都市内流動の関係、映像処理技術の都市計画への応用
------	------	-------------------------------

III. 研究活動

III-1 科学研究費補助金

科学研究費補助金一覧表

研究種目	氏名	テーマ
基盤研究 (A)(1)	池田三郎	貿易および経済発展に伴う地球規模環境リスクへの事前対応政策に関する総合的研究
基盤研究 (B)(1)	門田安弘	組織構造のデザインに対応した業績評価会計システムの開発に関する研究
基盤研究 (B)(2)	小林信一	「新しい知識生産」の日仏比較
	谷村秀彦	東アジア伝統的都市の現代化における空間制御技術に関する研究
	門田安弘	連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究
	横張真	持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究
	腰塚武志	移動から見た都市空間の分析
	金子守	個人の社会認識と社会・経済規範
	藤原良叔	デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究
	永井裕久	グローバルプロトコルの構築に向けた営業職の商交渉に関する国際比較調査
基盤研究 (C)(1)	大澤義明	迷惑施設の多目的計画配置問題に関する理論研究
基盤研究 (C)(2)	土井正幸	外航定期船産業におけるグローバル・アライアンス及び海運同盟の経済評価と今後の政策
	山田直志	高齢者医療の部分的定額制導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響
	藤原良叔	代数曲線を用いた組合せ的配列やブロック・デザインの構成に関する研究
	上田貴子	世界4カ国パネル・データによる女性の結婚・出産・就業選択の実証研究
	金顕哲	日本型マーケティングに関する研究
	黒田諄	日・韓・台農業における R&D 及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究
	金沢雄一郎	一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究
	近藤文代	日次 POS データの価格反応モデル分析
	松尾博文	サプライチェーンにおける顧客情報に基づく在庫管理システムの構築
	竹村和久	社会的環境における状況依存的な判断と意思決定プロセスの研究
Piyush Tiwari	住宅抵当貸付市場の効率性 – 日本、米国、英国、オーストラリア、インド、タイ各国の比較分析 –	

基盤研究 (C)(2)	西尾チヅル	環境保全型ライフスタイル普及のためのマーケティング・コミュニケーション	
	佐藤亮	高度に統合されたビジネスプロセスの時間特性の最適化設計法	
	星野靖雄	国際的買収、合併、合弁、全額出資の経営効果についての実証的研究	
	岸本一男	マーケット・インパクトを考慮した株価変動モデルとその派生証券価格付けへの応用	
	吉瀬章子	単調性をもたない相補性問題に対する多項式時間の解法の開発	
	渡辺俊	北京の伝統的空間保全型再開発のための国際リモートコラボレーションシステムの開発	
	香田正人	高性能を有するデータマイニング複合モデルの構築と最適化	
	赤根谷達雄	冷戦後の核戦略論と核兵器全廃レジームの可能性	
	高木英明	インターネットのトラフィック源のモデル化と測定による検証	
	萌芽的研究	松田紀之	マルチモーダル Web 情報アクセシビリティの基礎的研究
		川辺みどり	熱帯アジア沿岸における地域共同体による環境管理に関する研究
	奨励研究 (A)	梶井厚志	金融市場における内性的価格期待形成の理論的研究
宇井貴志		ポテンシャル関数を用いたゲームの均衡選択理論に関する研究	
江口匡太		契約の形成と司法判断の相互関係に関する研究	
繆瑩		組合せ的デザインとその符号・暗号への応用	
吉田友彦		開発途上国への区画整理技術の移転に関する研究	
イリチュ美佳		不確実性情報を考慮したデータの分類手法に関する研究	
桑嶋健一		製薬産業の研究開発における組織能力と意思決定プロセス	
加藤毅		学術研究成果に対する評価の構造と受容性に関する実証研究	
岡本直久		地方コンテナ港湾に焦点をあてたコンテナ貨物需要予測モデルに関する研究	
坂本淳二		都市近郊混住地域における地域景観保全のための計画区域区分と整備手法に関する研究	
猿渡康文		最適化理論のスポーツマネジメントへの適用	
繁野麻衣子		データの精度を考慮した組合せ最適化問題に対する問題構造とアルゴリズムの研究	
鈴木秀男		ブースティングを用いた判別手法とその品質管理・マーケティングへの応用	
安藤和敏		Faigle-Kern の双対貪欲多面体とその一般化の研究	
村尾修		サイバーシティモデルと空間情報基盤を用いた都市性能評価に関する基礎的研究	
特定領域研究 (B)(2)	大澤幸生	ヒューマン・システム・インタラクションに基づく知識の評価と選択	
特定領域研究 (C)(2)	寺野隆雄	WEB コンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発	
研究成果公開促進費 (学術図書)	藤川昌樹	近代武家集団と都市・建築	

III-2 受託研究

一般受託研究受入一覧表

No.	氏名	研究期間	テーマ	委託者
1	大澤幸生	13. 6. 6 - 14. 3.31	自然現象・社会動向の予兆発見と利用	科学技術振興事業団
2	熊谷良雄	13. 8.15 - 14. 3.31	平成13年度大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究	運輸施設整備事業団
3	藤原良叔	13. 8.31 - 14. 3.6	家電ネットワークの規格化に関する研究	(財)ソフトピアジャパン
4	小林信一	13. 9.20 - 14. 3.20	GMOの社会的受容を深めるための方策に関する研究	農林水産技術会議事務局長
5	石田東生	13. 4. 1 - 14. 3.31	都市交通予測モデルの開発と環境影響の費用予測	科学技術振興事業団
6	池田三郎	13.11. 9 - 14. 3.10	酸性雨の被害認識と対策決定の国際比較	農業環境技術研究所
7	椿広計	13.12.21 - 14. 3.31	金利の期間構造に関する研究	(株)東京三菱投信投資顧問
8	大澤義明	13. 3.15 - 14. 3.31	ショッピングセンタークレオ来店者調査	ショッピングセンタークレオ来店者協議会

III-3 学内プロジェクト

学内プロジェクト研究費 採択一覧表

研究種目	代表者	テーマ
特定助成研究 (S)	松尾博文	高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究
助成研究 (A)	黒田諄	OECD 及びアジア諸国農業の部分及び総要素生産性の比較研究
助成研究 (B)	三橋平	組織の信頼性と組織自治：ベンチャーキャピタルに関する実証研究
	吉田あつし	標準雇用大都市圏 (SMEA) を用いた大都市圏の生産性、成長と集積の経済の分析
	張勇兵	移動通信システムにおけるデータ通信の QoS 管理方式の研究
	飛田史和	産業別生産性の国際比較に関する研究
	竹原均	株価形成に整合的な資本コスト推定法の開発
	小倉昇	グローバル・サプライチェーン・マネジメントの評価と設計に関する調査研究
	奨励研究	吉野邦彦
後藤順哉		半正定値制約を持った凸 2 次計画問題に対する切除平面を用いた効率的な解法
古屋秀樹		自動車排出ガスの拡散を考慮した拡大費用便益手法に関する研究
村尾修		都市のリスク情報知覚化に関する基礎的研究
Tiwari, K.Piyush		日本における住宅市場とマクロ経済行動及び財政革新
藤原博彦		情報流通過程における不確定情報を削減するビジネスモデルの枠組みの構築
藤川昌樹		武家儀礼の変化に着目した近世住宅史の再検討
鈴木秀男		Markov Chain Monte Carlo 法を用いたプロダクトマップの推定
大津晶		省エネルギーを目指した都市構造と交通システムに関する研究

III-4 ファカルティ・セミナー

	年月日	報告者	所属	テーマ
1	2001.4.12	山形浩史 (黒田)	経済産業省資源エネルギー庁総合政策課	電源開発政策に関する社会工学的考察
2	2001.4.19	宮越龍義 (太田)	新潟大学経済学部 教授	Volatility spillover effects from Japan and the US to the Pacific-Basin
3	2001.5.8	坂井猛 (腰塚)	九州大学新キャンパス推進室 助教授	キャンパスづくりとまちづくり -九州大学キャンパスマスタープランを通して-
4	2001.5.23	ラム・ムダムビ (三橋)	テンブル大学ビジネススクール准教授	多国籍企業のコンピタンス -海外支社の統治に関する研究-
5	2001.5.10	X. G. Gomez (星野)	名古屋市立大学経済学部特別研究員	The information content of the market value of equity, the book value of equity, and the book-to-market equity ratio
6	2001.5.10	高橋青天 (梶井)	明治学院大学経済学部 教授	Determinacy and Indeterminacy without Externalities in Multisector Economies with Constant Returns to Scale
7	2001.5.9	立花敏 (黒田)	東京大学農学生命科学研究科 助手	Impact of the Environmental Conservation Movements in North America on the Japanese Softwood Timber Markets: An Econometric analysis
8	2001.5.17	清水崇 (梶井)	東京大学大学院経済学研究科 助手	A Theory of Money with Market Places
9	2001.5.24	東良彰 (吉田(雅))	ブラウン大学大学院生	Educational Inequality
10	2001.5.30	Dolf Talman (山本)	Tilburg University, Professor	Quantity constrained equilibria in an economy with arbitrary price rigidities
11	2001.5.31	工藤 教孝 (梶井)	一橋大学大学院経済学研究科 講師	Matching, Bargaining, and Dispersed Values of Fiat Currency
12	2001.6.6	朴元熙 (門田)	会津大学コンピュータ理工学部 客員研究員	原価企画の統合的コスト・マネジメントに関する実証研究
13	2001.7.27	Liquan Qi (吉瀬)	The Hong Kong Polytechnic University	Reformulation-Nonsmooth and Smoothing Newton Methods
14	2001.6.11	R. Shrairman (安藤)	VeriFax Corporation	R2-Heaps with Suspended Relaxation for Manipulating Priority Queues and Their Application to Dijkstra's Shortest Path Algorithm
15	2001.6.14	宮城俊作 (横張)	千葉大学園芸学部	ランドスケープデザインの最近の動向とその背景
16	2001.7.5	田鳳燕, 禹東善 (鄭)	ソウル国立大, 韓国海洋大	歴史的町並みの特色とその保存・再生
17	2001.7.2	金田 直之 (門田)	カーネギーメロン大学経営学博士課程	Analyst Forecast Revisions and Errors Around CEO Turnovers
18	2001.7.17	山田修司 (山本)	富山短期大学経営情報学科 講師	An Inner Approximation Method for Reverse Convex Programming Problem

19	2001.7.23	金泰一 (吉田(友))	韓国、国立済 州大学校、工 科大学建築工 学科、副教授	韓国における高齢者の住宅事情の現状と将来の予 測
20	2001.8.28	大槻恒裕 (黒田)	世界銀行開発 研究グループ	The implication of property Rights for Joint Agriculture-Timber Productivity in the Brazilian Amazon
21	2001.9.13	村上暁信 (横張)	東京大学大学 院新領域創成 科学研究科	「Garden City」と「田園都市」
22	2001.9.6	B.L. Chen (梶井)	筑波大学社会 科学系	Factor Taxation and Labor Supply in A Dynamic One-Sector Growth Model
23	2001.9.13	秋山英三 (宇井)	筑波大学社会 工学系	Chaos in learning the game of rock-paper-scissors
24	2001.9.10	八森正泰 (藤原)	科学技術振興 事業団 研究 員	単体的複体の組合せ構造とトポロジー的組合せ論
25	2001.10.16	谷口栄一 (石田)	京都大学 助 教授	シティロジスティクス・・・効率的で環境にやさし い都市物流計画論
26	2001.10.18	横張真 (石田)	筑波大学 助 教授	環境保全からみた都市近郊緑地の計画的整序
27	2001.10.30	谷口守 (石田)	岡山大学 助 教授	都市のコンパクト化に関する実証的検討 -都市形 態のマネージメントは有効・可能か-
28	2001.10.30	大澤義明 (石田)	筑波大学 助 教授	Facility Location, Tax Competition and Voting on Highway Network
29	2001.11.1	J. J. Kline (豊谷)	筑波大学 社 会工学類	Minimum memory for equivalence between ex- ante optimality and time-consistency
30	2001.11.6	中村豪 (太田)	東京工業大学 助手	International Knowledge Spillovers and Tech- nology Imports : Evidence from Chemical and Electric Equipment Industries
31	2001.11.20	大久保正勝 (太田)	一橋大学大学 院経済学研究 科 助手	Long-Run Relationship between Consumption and Income in Japan : Tests of the Determi- nistic Cointegration Restriction
32	2001.11.9	亀田達也 (竹村)	北海道大学大 學院文学研究 科 教授	Social decision-making and adaptation: Handing uncertainty through a collective device
33	2001.11.15	O. Schulte (金子)	Department of Philoso- phy Simon Fraser Uni- versity	Iterated Dominance, backward and forward in- duction
34	2001.12.7	C. Ahmadjian (Greve)	一橋大学国際 企業戦略研究 科 助教授	Japanese corporate governance reform: Rhetoric and reality
35	2001.12.13	渡辺隆裕 (梶井)	岩手県立大学 総合政策学部 助教授	Multi-object Auctions with Necessary Bundles
36	2001.11.27	岡本龍明 (岸本)		安全性の証明のついた実用的公開暗号鍵
37	2001.12.6	大西一弘 (吉田(雅))	大阪大学 助 手	A Two-Stage Price-Setting Equilibrium Designed in Consideration of Goods Rele- vance and Strategic Relevance
38	2001.12.11	滝井克也 (吉田(雅))	エセックス大 学 講師	Prediction Ability and Investment under Uncer- tainty

39	2001.12.20	藤井英次 (吉田(雅))	小樽商科大学 助教授	Cross-Country Relative Price Volatility: Its Components and Effects of Market Structure
40	2001.12.11	J. Xiaohua (張)	香港市立大学 助教授	Wavelength Assignment for Minimum Wavelength Conversions in WDM Networks
41	2001.12.14	木下大志 (石田)	愛知江南短期 大学教養学科	近代化以前の日本人の人口学的特徴 – 出生力を中心として –
42	2002.2.14	J. J. Kline (梶井)	筑波大学社会 工学類	Extensive games with time-structures
43	2002.2.21	池上高志 (秋山)	東京大学大学 院総合文化研 究科 助教授	ゲームに見る予測とジョイントアテンション
44	2002.3.25	山岸侯彦 (竹村)	東京工業大学 大学院社会理 工学研究科助 教授	言語確立の方向性と選好の逆転
45	2002.3.13	山田雄二 (後藤)	筑波大学大学 院ビジネス科 学研究科 助 教授	動的オプションヘッジのバリューアットリスク推定

III-5 研究出版物

2001年度 DP(Discussion Paper Series) 一覧表

No.	著者	タイトル	登録月
No.916	Mamoru Kaneko and Nobu-yuki Suzuki	Bounded Interpersonal Inferences and Decision Making	April 2001
No.917	Hyeon Jeong Park, Hitoshi Mituhashi, Carl F. Fey, Ingmar Bjorkman	The Effect of Human Resource Management Practices on Japanese MNC Subsidiary Perfor- mance - A Partial Mediating Model	April 2001
No.918	Hideyuki Takamizawa and Isao Shoji	Modeling the Term Structure of Interest Rates with General Short-Rate Models	April 2001
No.919	Hsiao-Chien Tsui	The Interaction of Market Structures and Exter- nal Exposure Effects on Profit Margins : An Em- pirial Analysis of Taiwan	April 2001
No.920	Johannes Hamonan- gan Siregar, Hideaki Takagi, and Yongbing Zhang	Optimal Wavelength Converter Placement in Op- tical Networks by Genetic Algorithm	April 2001
No.921	上田真・松尾博文	インターネットを用いたビジネスモデル特許の一 分類法	May 2001
No.922	Yutaka Nakamura	Semimetric Thresholds for Finite Posets	May 2001
No.923	Sung Jin Kang and Myoungjae Lee	Q-Convergence with Interquartile Ranges	May 2001
No.924	Yeh Tsung-ming and Yasuo Hoshino	Productivity and Operating Performance of Japanese Merging Firms: Keiretsu-Related and Independent Mergers	May 2001
No.925	Sung Jin Kang	Income Distribution and Transfer Income as a Social Safety Net in Korea	May 2001
No.926	Seizo Ikuta	On Symmetries and Asymmetries Between Max- imization OSP and Minimization OSP -Model with No Recall-	May 2001
No.927	Ramon M.Rodriguez- Dagnino, Jorge J.Ruiz-Cedillo, and Hideaki Takagi	Dynamic Mobility Management for Cellular Net- works: A Delayed Renewal Process Approach	May 2001
No.928	Jun-ya Gotoh, Nguyen Van Thoai, and Yoshitsugu Ya- mamoto	Global Optimization Method for Solving the Minimum Maximal flow Problem	May 2001

No.929	Hideaki Takagi, Muneo Kitajima, Tetsuo Yamamoto, and Yongbing Zhang	Search process evaluation for a hierarchical menu system by Markov chains	May 2001
No.930	Sung Jin Kang	The Evolution of Regional Income Distribution in Japan	June 2001
No.931	Yoshiko Nogami	Optimal Two-Sided Test for the Location Parameter of the Uniform Distribution Based on Lagrange's Method	June 2001
No.932	Yoshiko Nogami	Hypothesis Testing Based on Lagrange's Method	June 2001
No.933	Fengbo Shi	An optimal hostage rescue problem – Revision of Discussion paper No.872	June 2001
No.934	Masatoshi Yoshida and Go Nagase	Keynesian Multipliers in a Dynamic Macroeconomic Model of Monopolistic Competition	June 2001
No.935	Masatoshi Yoshida and Koichi Yuki	Intergenerational Externalities and Optimal Taxation of Elderly Care Services	June 2001
No.936	Yoshiaki Ohsawa and Takeshi Koshizuka	Map Projection Errors in the Weber Problem	June 2001
No.937	Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda	Agricultural Productivity Growth and the Non-farm Sector in India : An Assessment of the Data	July 2001
No.938	Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda	Effect of Rural Non-farm Employment and Infrastructure on Agricultural Productivity : Evidence from India	July 2001
No.939	Mourad Mansour and Yasuo Hoshino	Entry Mode Choice of the Japanese MNEs in Europe: Impact of Firm and Industrial Factors	August 2001
No.940	Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda	How Important is Non-farm Sector for Agriculture: A Dynamic Panel Approach for Rural India	August 2001
No.941	Ramon M.Rodriguez-Dagnino, Jorge J.Ruiz-Cedillo, and Hideaki Takagi	Counting Handovers in a Cellular Mobile Communication Network: Equilibrium Renewal Process Approach	August 2001
No.942	Yoshiko Nogami	Correction of the Proof of Theorem 1 in D. P. S. No.913	August 2001
No.943	Ramon M.Rodriguez-Dagnino, Jorge J.Ruiz-Cedillo, and Hideaki Takagi	Counting Handovers in a Cellular Mobile Communication Network: Delayed Renewal Process Approach	August 2001
No.944	A.J.J. Talman & Y. Yamamoto	Continuum of Zero Points of a Mapping on a Compact, Convex Set	August 2001
No.945	Taiki Wakayama and Kazuhisa Takemura	ファジィ入出力データの可能性線形回帰分析における影響の大きいデータの検出法とその応用	August 2001

No.946	Takashi Norimatsu, Hideaki Takagi, and H. Richard Gail	Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus	August 2001
No.947	Fengbo Shi	Optimal Hostage Rescue Problem Where an Action Can Only Be Taken Once -Case Where Its Effectiveness Lasts up to the Deadline-	September 2001
No.948	Yongbing Zhang, Koji Taira, Hideaki Takagi, and Sajal K. Das	An Efficient Heuristic for Routing and Wavelength Assignment in Optical WDM Networks	September 2001
No.949	Yoshiko Nogami	An Unbiased One-sided Test for the Positional Parameter of the Exponential Distribution	September 2001
No.950	Sung Jin Kang	Japanese Voters and the Responsibility Hypothesis -The 1996 House of Representatives Election	September 2001
No.951	Shimpei Yagyu and Hideaki Takagi	A Queueing Model with Input of MPEG Frame Sequence and Interfering Traffic (A Revised Version)	September 2001
No.952	Hitoshi Mitsuhashi	Another Determinant of Strategic Conformity: Effects of Resource Dependence and the Role of Organizational Credibility	September 2001
No.953	追杉健一	派生証券市場の価格の分布の歪みに関する一考察	October 2001
No.954	鄭小平	経済成長か、環境保全か -中国経済を事例として-	October 2001
No.955	Yoshiaki Ohsawa	Highway Construction under Referendum and Representative	October 2001
No.956	Yoshiko Nogami	切断型分布の推測問題についての考察	October 2001
No.957	Kazutoshi Ando	Characterizations of Convex Geometries by Extreme Point Operator	November 2001
No.958	Dean Wu and Hideaki Takagi	A Queue with semi-Markovian Batch plus Poisson Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence	November 2001
No.959	Lixing Sun and Makoto Ohta	Measurement of International Capital Mobility in Korea, Mexico and Hong Kong: Application of Shibata and Shintani Approach	January 2002
No.960	安藤和敏, 小原朱理, 山本芳嗣	相互評価の下での可能性定理	December 2001
No.961	Haruo Onishi	A Knowledge-based Variable Selection Method for Box-Cox Transformation	December 2001
No.962	Haruo Onishi	Statistical Philosophy, Computational Techniques and Practically-Best Regression Equation	December 2001
No.963	Haruo Onishi	An Informatic and Computational Variable Selection Method for Almon Distributed Lag Regression	December 2001
No.964	安田八十五・山口和敏	都市周辺における自然公園の経済的価値に関する評価と測定: 茨城県牛久自然観察の森における事例研究	December 2001

No.965	Yoshiko Nogami	Hypothesis Testing Based on Lagrange's Method – An Application to The Location Parameter of The Exponential Distribution –	January 2002
No.966	山鹿久木 (筑波大学) 中川雅之 (大阪大学) 齊藤誠 (一橋大学)	地震危険度と地価形成：東京都の事例	January 2002
No.967	Shigeki Kano and Makoto Ohta	An Empirical Matching Function with Regime Switching: The Japanese case	January 2002
No.968	Yoshiko Nogami	Bayes 検定についての考察 – 決定理論的アプローチ –	January 2002
No.969	Kazutoshi Ando	Extreme Point Axioms for Closure Spaces	January 2002
No.970	Mamoru Kaneko and J. Jude Kline	False Beliefs and Game Theory: Implications from the Japanese Comic Story Konnyaku Mondo?	January 2002
No.971	Yoshikazu Yuma and Yuichiro Kanazawa	Evaluating Relative Effectiveness of Training School Programs to Probation on Recidivism of Japanese Juvenile Delinquents	February 2002
No.972	Yoshiaki Ohsawa and Kazuki Tamura	Efficient Location for a Semi-Obnoxious Facility	February 2002
No.973	Jeffrey Jude Kline	Extensive Games with Time Structures	February 2002
No.974	Jeffrey Jude Kline	Imperfect Recall and Solution Concepts in Ex- tensive Games	February 2002
No.975	Yosuke Horibe and Yongbing Zhang	A Mobility Based Resource Predictive Scheme with QoS Guarantees in Multimedia Wireless Networks	February 2002
No.976	Jun Ohta, and Maiko Shigeno	A Note on Minimax Inverse Generalized Mini- mum Cost Flow Problems	March 2002
No.977	Hironao Takagi, Yongbing Zhang, Xiaohua Jia, and Hideaki Takagi	Reconfiguration Heuristics for Logical Topologies in Wide-Area WDM Networks	March 2001
No.978	Emmanuel Jimenez, Sung Jin Kang and Yasuyuki Sawada	The Poor or The Vulnerable? Tracking the Tar- gets of Private and Public Transfers in Korea with reference to the Financial Crisis	March 2001
No.979	De-An Wu and Akihiro Hashimoto	A DEA-CP model for comprehensive ranking	March 2002
No.980	Masato Koda, Arturo Kohatsu-Higa and Miquel Montero	An Application of Stochastic Sensitivity Analysis to Financial Engineering	March 2001
No.981	Hideaki Takagi and Ramon M. Rodriguez- Dagnino	Counting the Number of Renewals during a Ran- dom Interval in a Discrete-Time Delayed Re- newal Process	March 2002

IV. 各教官研究・教育活動

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 赤根谷達雄・落合浩太郎編著『「新しい安全保障論」の視座』亜紀書房、2001年。執筆担当は、序論、7-17頁。第2章「新しい安全保障」の総体的分析、68-112頁。
- 2) (独立行政法人)経済産業研究所の新通商法研究会で、論文「非貿易的関心事項の政治学国際市民社会運動とWTO体制の将来」を執筆。

(2) 学会活動

- 1) 日本国際政治学会評議員。国際法学会研究連絡委員。

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費基盤研究(C)「冷戦後の核戦略論と核兵器全廃レジームの可能性」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際総合学類：国際学概論，国際相互依存論，国際情勢の見方(総合科目)，国際学ゼミナール，国際学ゼミナール，

国際政治経済学研究科：国際政治学，国際政治学演習，

人文社会科学研究科：国際安全保障論，国際安全保障論演習

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 国際総合学類カリキュラム委員長
- 2) 国際総合学類運営委員会委員
- 3) 全学学群教育課程委員会委員
- 4) 総合科目編成委員会委員
- 5) 社会工学系運営委員会委員
- 6) 社会工学系研究計画委員会委員
- 7) 国際政治経済学研究科論文審査委員会委員長
- 8) 人文社会科学研究科運営委員会委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Modelling of Environmental Phytoremediation in Eutrophic River : The Case of Water Hyacinth Harvest in Tha-Chin River, Thailand, Ecological Modelling,, Vol. 142, 121 -134, 2001.

- 2) An Economic-Environmental Input-Output Model and its Application to Regional Economic-Environmental Impact Analysis, Environment and Planning B (Planning and Design) , Vol. 28, No.4, 581-594, 2001.
- 3) Sea-Level Rise and the Sea of Japan, in “Global Environmental Risk” (ed. By J. Kasperson and R. Kasperson), United Nations University Press, 373-396, 2001.
- 4) A Comparative Study on Frameworks of Environmental Impact Assessment in Japan with Reference to Ecological Risk Assessment, Proceedings of 2nd Asian Symposium on Risk Assessment and Management, Society for Risk Analysis Japan-Section, 162-169, 2001.
- 5) リスクアセスメント、リスクマネジメントとリスクコミュニケーションの基礎、日本リスク研究学会誌、Vol. 13, No.1, 34-43, 2001.
- 6) 都市社会と技術・環境リスク、建築雑誌、Vol. 116, No. 1479, 18-21, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 環境科学会理事
- 2) 日本リスク研究学会理事 (事務局長)
- 3) システム農学会監事
- 4) Associate Editor, Journal of Risk Research
- 5) Member of Editorial Board, Risk Analysis: An International Journal
- 6) International Council of Risk and Governance, A Member of High Level Working Committee

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 A (1), No.1135001 (研究代表者) 貿易および経済発展に伴う地球規模リスクへの事前対応政策に関する総合的研究
- 2) 農業環境技術研究所受託研究費 (研究代表者) 地球環境リスクと管理にかかるリスクコミュニケーションと対策決定過程に関する研究
- 3) 独立行政法人防災科学技術研究所 客員研究員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 環境計画、都市計画実習 1

経営政策科学研究科： 公共リスク分析

システム情報工学研究科： 環境リスク管理特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類、経営政策科学研究科、システム情報工学研究科：就職委員会委員長
- 2) 修士課程委員会委員
- 3) 経営・政策科学研究科運営幹事
- 4) システム情報工学研究科社会システム工学専攻 運営委員・論文審査委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県環境審議会特別委員、茨城県環境審議会霞ヶ浦専門部会委員
- 2) 土浦市環境審議会委員
- 3) 独立行政法人産業技術総合研究所化学物質リスク管理センター，外部評価委員会委員長
- 4) 環境省地球環境研究等企画委員会専門委員

石田 東生

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 査読つき論文

- 1) Transportation Gap (TG) and Modal Advantage Area (MAA) Modeling –A Supply and Demand Side Analysis for Metro Manila–, Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.4, No.2: Transportation Models, pp.15–30, 共著 (C. Montalbo Jr., H. Ishida), 2001 年
- 2) Development of a Basic Infrastructure for the Successful Compliance of Jeepneys and Tricycles to the Philippine Clean Air Act, Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.4, No.5: Transportation and the Environment, pp.11–26, 共著 (N. Graza, H. Ishida), 2001 年
- 3) 高度情報機器を用いた走行速度調査における抽出率の検討, 土木計画学研究・論文集, Vol.18, No.1, pp.81–88, 共著 (石田・三浦・岡本・古屋) 筆頭, 2001 年

ii) 査読なし論文

- 1) 公共事業の評価に求めるもの, 建設月報, 2001 年 4 月号, No. 622, pp.38–40, 単著, 2001 年
- 2) 筑波大学交通問題についての意見交換の場としての電子フォーラムの可能性, 土木計画学研究・講演集, No.24(1), pp.553–556, 共著 (城間・石田), 2001 年
- 3) 交差点における自動車排出ガス量算出手法と車両巡回計画問題, 土木計画学研究・講演集, No.24(2), pp.225–228, 共著 (金山・古屋・岡本・石田), 2001 年
- 4) 交通調査データの相互有効活用に関する方法の提案, 土木計画学研究・講演集, No.24(2), pp.793–796, 共著 (佐藤・毛利・石田), 2001 年
- 5) 都市計画マスタープランにおける PI プロセスのあり方に関する考察 - 茨城県牛久市を対象として -, 土木計画学研究・講演集, No.24(2), pp.833–836, 共著 (松田・石田), 2001 年
- 6) IT と交通：よりよい ITS を目指して, 日本機械学会誌, 2002 年 1 月号, Vol.105, No.998, pp. 44–48, 単著, 2001 年
- 7) 逆転の発想による都市内道路交通網の整備を, EAST TIMES, 2002 年 3 月号, PP. 3, 単著, 2001 年
- 8) 都市交通政策の転換と交通調査, 交通工学, 2002 年 3 月号, Vol.37, pp.1–2, 単著, 2001 年

iii) その他

- 1) 移動体通信システムに着目した交通観測技術の動向とパフォーマンス調査の適用可能性, 第 37 回土木計画学シンポジウム論文集, pp.81–88, 共著 (牧村・原田・石田・岡本), 2001 年

- 2) 国土交通行政における政策評価のあり方(平成13年度総合課程政策研修テキスト), 国土交通省国土交通大学校, 2001年5月22日講義, 2001年
- 3) 都市環境と交通(平成13年度専門課程道路環境研修テキスト), 国土交通省国土交通大学校, 2001年6月18日講義, 2001年
- 4) インタビュー:「PIとは何か?」, プロジェクト・レポート, 2002年春季号, No. 29, pp.11-14, 2001年
- 5) インタビュー:「都市再生に果たす道路網の役割と高度利活用の将来像」, JAPIC, 2002年3月号, No.90, pp.2-6, 2001年

(2) 学会活動

- 1) アジア交通学会理事
- 2) 土木学会土木計画学研究委員会 交通調査技術研究小委員会委員長

(3) 研究助成など

- 1) 科学技術庁戦略的基礎研究推進事業応募研究領域「都市交通の環境負荷制御システムに関する基礎研究」(研究代表者 学習院大学 岩田規久男教授)に研究分担者として参加
- 2) 受託研究「都市交通予測モデルの開発」 科学技術振興事業団
- 3) 奨学寄付金「ホームページによる説明責任に関する研究」 社団法人東北建設協会

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：都市構造論, 交通計画, 都市計画実習 I, 都市計画実習 III, 都市計画事例講義及び実習

環境科学研究科：国土計画論

システム情報工学研究科(社会工学研究科)：交通計画特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類長
- 2) 交通安全対策委員会副委員長
- 3) 筑波大学交通安全会理事

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省政策評価会 委員
- 2) 国土交通省公共事業評価システム研究会 委員
- 3) 国土交通省道路計画合意形成研究会 委員
- 4) 国土交通省国土技術政策総合研究所研究評価委員会 委員
- 5) 国土交通省「ITを用いた交通データ収集に関する調査研究委員会」座長
- 6) 気象庁「気象業務の評価に関する懇談会」委員
- 7) 総務省「地域ITS情報通信モデルシステム研究会」委員
- 8) 茨城県公共事業再評価委員会 委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 系井川栄一、第2章 市街地防火性能のマクロ評価手法の検討、国土交通省国土技術政策総合研究所「まちづくりにおける防災評価・対策技術の総合的検討に関する調査報告書」、国土交通省国土技術政策総合研究所、平成14年3月

ii) その他

- 1) 系井川栄一、木造市街地の安全と地域制の行方、日本建築学会大会 防火部門研究協議会 木造建築の新しいあり方とその防火性能評価手法、日本建築学会、H13.9.23
- 2) 生田英輔・宮野道雄・系井川栄一・熊谷良雄、兵庫県南部地震における死亡と重傷の発生機構の比較、日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1、日本建築学会、H13.9
- 3) 竹谷修一・系井川栄一・岩見達也、CVMを用いた防災投資の便益評価上の課題、地域安全学会梗概集 No.11(2001)、地域安全学会、H13.11
- 4) 宮野道雄・生田英輔・系井川栄一・田中裕・熊谷良雄、「阪神・淡路大震災における重傷者発生世帯に対する調査」、第3回構造物の破壊過程解明に基づく地震防災性向上に関するシンポジウム論文集、土木学会技術推進機構、H14.3

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会学術委員会委員
- 2) 地域安全学会理事
- 3) 日本建築学会 防火委員会委員
- 4) 日本建築学会 防火委員会都市防火設計小委員会幹事
- 5) 日本建築学会 都市計画委員会都市防災システム小委員会幹事
- 6) 日本建築学会 都市計画委員会都市防災システム小委員会幹事
- 7) 日本建築学会 地震防災総合研究特別研究委員会都市防災・復興小委員会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 平成13年度運輸分野における基礎的研究推進制度「大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究(火山灰災害による交通および都市活動への影響評価)」(運輸施設整備事業団)(H13.6.27~H14.3.31)の受託(研究グループの一人)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 都市計画実習1(1学期)
- 2) 都市安全管理特論・都市安全管理特講義(2学期)
- 3) 地区整備計画(3学期)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類 3 年都市計画専攻クラス担任
- 2) 社会工学研究科論文審査委員
- 3) 経営政策科学研究科図書委員長
- 4) 社会工学系研究計画委員会委員

III. 社会的活動

- 1) 地震時人的被害研究委員会委員、(財)地震予知総合研究振興会、(H13.4.1～H14.3.31)
- 2) 地震時における市街地火災の延焼拡大及び抑止効果の解明に関する調査委員会委員、(財)東京防災指導協会、(H13.7.24～H14.3.15)
- 3) 集団規定総点検のための基礎 WG 委員、(財)日本建築センター、(H13.4.1～H14.3.31)
- 4) 木造住宅密集地域整備プログラム再検討委員会委員、(財)東京都防災・建築まちづくりセンター、(~H14.3.31)
- 5) 「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」全体委員会・第 1-3 分科会委員、(財)国土技術研究センター、(~H14.3.29)
- 6) 「防災まちづくり共同研究推進会議」幹事会、都市 WG、地区 WG、シミュレーション WG、協力顧問・協力幹事、(財)国土技術研究センター、(~H14.3.29)
- 7) 川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画検討委員会委員、川越市、(H13.11.22～H14.3.31)
- 8) 東京都地域危険度測定調査委員会専門委員、東京都都市計画局、(~H14.3.31)
- 9) 第 15 期火災予防審議会委員、東京消防庁、(~H14.5.31)

大澤 義明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) 宮川雅至，大澤義明 (2001)：移動途中の寄り道行動から見た施設への距離分布．日本都市計画学会第 3 6 回学術研究発表論文集．pp.847-852.
- 2) 尾崎尚也，大澤義明 (2001)：利用者行動属性の多様性を考慮した時空間施設配置モデル．日本都市計画学会第 3 6 回学術研究発表論文集.pp.853-858.
- 3) 小林隆史，腰塚武志，大澤義明 (2001)：太陽光発電自給に必要な中高層住宅の高さ・密度．日本都市計画学会第 3 6 回学術研究発表論文集．pp.829-834.
- 4) 田村一軌，腰塚武志，大澤義明 (2001)：道路ネットワーク上の道路距離と直線距離．日本都市計画学会第 3 6 回学術研究発表論文集．pp.877-882.

ii) その他論文

- 1) 宮川雅至，大澤義明 (2001)：移動から見た線的施設までの距離分布．オペレーションズ・リサーチ学会 2001 年春季アブストラクト集，pp.90-91．
- 2) 田村一軌，腰塚武志，大澤義明 (2001)：連続的利用者分布とネットワーク単一施設配置モデル．オペレーションズ・リサーチ学会 2001 年春季アブストラクト集，pp.200-201．

- 3) 尾崎尚也, 大澤義明, 歳森敦 (2001): 公共図書館の空間的不平等性と利用可能圏の把握. 建築学会第 19 回地域施設計画シンポジウム, pp.107-112.
- 4) 中谷淳一, 腰塚武志, 大澤義明 (2001): 大学入学時の人口移動に関する研究. 建築学会第 19 回地域施設計画シンポジウム, pp.113-118.
- 5) 大江直輔, 梅川智也, 大澤義明 (2001): 北海道における観光流動の実証的研究. 日本観光研究学会第 16 回全国大会研究発表論文集, pp.170-171.
- 6) 田村一軌, 腰塚武志, 大澤義明 (2002): 格子状道路網における一方通行路導入の影響. オペレーションズ・リサーチ学会 2002 年春季アブストラクト集, pp. 170-171.
- 7) Y.Ohsawa (2001): Highway Construction under Referendum and Representative, Discussion Paper No.955, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
- 8) Y.Ohsawa and K.Tamura(2002): Efficient Location for a Semi-Obnoxious Facility, Discussion Paper No.972, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.

iii) 学会口頭発表, セミナー発表

- 1) Voting model for constructing transportation infrastructure. 平成 13 年度京都大学都市経済学ワークショップ (京都).
- 2) Map projection errors in the Weber model. The 18th European Conference on Operational Research Societies, (Rotterdam, Netherlands).
- 3) Highway construction under referendum and representative democracy. 第 15 回応用地域学会研究発表大会, (札幌).
- 4) Facility location, tax competition and voting on highway network. 平成 13 年度第 29 回筑波大学社会工学系ファカルティセミナー (つくば).

(2) 学会活動

- 1) 建築学会地域施設計画小委員会委員
- 2) 建築学会建築システム最適化特別研究委員会委員
- 3) オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員会委員
- 4) オペレーションズ・リサーチ学会機関誌編集委員会委員
- 5) 都市計画学会, 建築学会, 計画行政学会, 応用地域学研究, Annals of Operations Research の査読

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費(基盤研究C)「迷惑施設の多目的計画配置に関する理論的研究」, 研究代表者
- 2) 科学研究費(基盤研究B)「移動から見た都市空間の分析」, 研究分担者
- 3) 文部科学省平成 13 年度国際研究集会派遣研究員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：都市計画数理, 都市計画事例講義及び実習, 都市計画実習, 代数学, 都市地域環境を考える, 自由演習

環境科学研究科：都市経営論, 情報処理法

システム情報科学研究科：地域計量理論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類入試実施委員会
- 2) 社会工学類専門教育用電子計算機専門委員会
- 3) 第4期入学者ホームカミングデー実施準備委員会

(3) 他大学における教育活動

- 1) 図書館情報大学：幾何学

III. 社会的活動

- 1) つくばエクスプレス新駅施設等整備検討委員会委員(茨城県)
- 2) つくば市情報技術懇話会委員(コーディネイター)(つくば市)

太田 誠

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “An Empirical Matching Function with Regime Switching: The Japanese Case”, IPPS discussion paper No. 967, University of Tsukuba, January 2002, jointly with Shigeki Kano.
- 2) “Measurement of International Capital Mobility in Korea, Mexico and Hong Kong: Application of Shibata and Shintani Approach”, IPPS discussion paper No. 959, University of Tsukuba, January 2002, jointly with Lixing Sun.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科社会システム工学専攻：計量経済学特論、数量経済分析特論

経営・政策科学研究科：数量経済分析

社会工学類：マクロ経済学、国際マクロ経済学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科社会システム工学専攻：論文審査委員、運営委員

社会工学類：4年クラス担任、就職委員、非常勤講師審査委員、第三学群教員会議構成員

III. 社会的活動

- 1) 総務省統計局「物価指数研究会」委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) A Knowledge-based Variable Selection Method for Box-Cox Transformation, J. Japan Statist. Soc., 32 1, 15–42. (計量モデルによる実証分析のレフェリー付き論文と言えどもその大半は、不完全、不十分、未完、又は、間違っている、計量モデルによる実証研究者は、この論文をインターネットから取り込み、読むことを薦める。なお、システム OEPP は、学類のコンピュータで何時でも使用可能である)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程 システム情報工学研究科：情報計量経済学特論

博士課程 経営・政策科学研究科：計量経済学 II、計量モデル選択論

社会工学類：計量経済学、社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 学類就職委員

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省大学設置審議会情報部会の委員を努め、総務省地方行政改革委員 (第7次定員モデルについて - 町村分、平成14年月、総務省第18次地方公共団体定員管理研究会報告書、45頁)として報告書を発行した。大西が切り開いた情報統計学や情報計量経済学が世界的な規模で研究されつつある。例えば、オーストラリアの統計学会(社団法人)では、統計モデルによる分析や予測には、Professionalism(大西の用語では Professional Knowledge)を使う必要性をユーザに知らせるキャンペーンを始めている。

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「密集市街地居住者の建替え選好意識に関する分析-墨田区京島地区を対象に-」共著、2001年12月『都市住宅学』第32号、pp. 99–104

ii) その他

- 1) 「改正都市計画法と都市農地」『グリーンライフ』第343号、2001.4.1、単著、p.7
- 2) 「職住一体型ニュータウン <つくば研究学園都市> の展望」『住宅』2001.12、単著、pp.27–31

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会評議員
- 2) 日本都市計画学会国際委員会委員
- 3) 都市住宅学会常務理事
- 4) 都市住宅学会誌「都市住宅学」編集委員長

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：都市計画実習2，土地利用計画

環境科学研究科：都市計画通論

システム情報工学研究科：比較都市計画史特論

総合科目：都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学研究科運営委員
- 2) 社会工学研究科論文審査委員
- 3) システム情報工学研究科運営委員
- 4) 環境科学研究科入試実施委員

III. 社会的活動

- 1) 茨城県開発審査会委員
- 2) つくば市都市計画審議会委員
- 3) 東京都住宅政策審議会委員
- 4) 中野区住宅政策審議会会長
- 5) 埼玉県都市計画審議会委員

小倉 昇

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「企業の知識資産と知創システムのマネジメント」『OMNi Management』第10巻第12号、4-5、2001年。
- 2) 「割引現在価値を利用した企業価値モデル」『企業会計』第54巻第4号、46-51、2002年

(2) 学会活動

- 1) 日本管理会計学会 常務理事・学会誌編集委員
- 2) 日本原価計算研究学会 理事

- 3) オフィス・オートメーション学会 常任理事・学会誌編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科 経営・政策科学研究科：会計基礎，会計ディスクロージャ，会計情報，予算管理，コスト・マネジメント 輪講，

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) ビジネス科学研究科運営委員
- 2) 企業科学専攻運営委員
- 3) 企業科学専攻システムズ・マネジメントコース長
- 4) 企業科学専攻教育担当委員

小場瀬 令二

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 東京圏の市民農園の現状と土地所有者の経営状況について 共著 2001年11月都市計画学会発行 p283～288 大場 里恵 共同
- 2) ありきたり技術によるユニクロ環境共生住宅 単著/住宅 2001年9月号 pp5～6.
- 3) 高齢者の健康と社会参加に関する考察 単著/安定化社会に向けた地域の住まいづくりの展開 2001年9月 日本建築学会 建築経済部門 研究協議会資料 p133～134
- 4) The Effect of Babble Economics in the Super far away Suburbs of Tokyo.(東京の超郊外住宅地に対するバブルの影響) 共著/筆頭著者 International Conference “ Asia/European Real Estate Cries and their Management ”

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会会員 (1973年4月から現在)、建築雑誌編集委員 (平成11年9月～平成13年8月)
- 2) 都市計画研究委員会幹事
- 3) 日本都市計画学会会員 (1975年4月から現在)
- 4) 学術委員 (平成11年4月～現在)
- 5) 国際シンポジウムの企画; International Conference “ Asia/European Real Estate Cries and their Management ”の企画、司会、講演 日仏会館 2001年9月

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報研究科：都市環境・景観論特論

環境科学研究科：住環境計画

学類：住宅地計画、図学・測量学、総合科目

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 学類クラス担任
- 2) 学生生活審議会委員
- 3) キャンパス・リニューアルマスタープラン策定委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 常磐大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 茨城県景観審議会委員
- 2) 茨城県環境保全事業団 生活環境調査委員会委員
- 3) 古河市都市計画マスタープラン策定委員会委員長

加藤 英明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Investors’ herding on the Tokyo Stock Exchange” International Review of Finance vol.2 no1/2 51-78
- 2) “Analysis of Callable Convertible Bonds: Evidence from Japan” Pacific Basin Finance Journal vol. 10 no 1 1-27

ii) その他

- 1) 「商品先物価格の共変動について」日本経営財務研究学会
- 2) “Investors’ herding on the Tokyo Stock Exchange” Pacific Basin Finance Conference

(2) 学会活動

Program committee Financial Management Association, Pacific Basin Finance Conference

Board member Asia Pacific Journal of Finance, 現代ファイナンス

Associate Editor Pacific Basin Finance Journal, International Review of Finance, International Quarterly of Finance

Referee Review of Financial Studies

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 企業財務と法 (博士課程)

- 2) コーポレートファイナンス (修士課程)
 - 3) コーポレートファイナンス輪講 I-III
- (2) 役職・各種委員会委員
- 1) 入試担当 (博士)
- (3) 他大学における教育活動
- 1) 南山大学 (非常勤講師)
 - 2) 名古屋市立大学 (非常勤講師)

金子 守

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Epistemic logics and their game theoretical applications: Introduction. *Economic Theory* 19 (2002), 7–62.
- 2) Bounded Interpersonal Inferences and Decision Making, (with N.-Y. Suzuki). *Economic Theory* 19 (2002), 63–103.
- 3) A Map of Common Knowledge Logics, (with T. Nagashima, N.-Y. Suzuki, and Y. Tanaka). *Studia Logica*, 71 (2002), 57–86.

ii) Forthcoming Papers

- 1) Utility theories in cooperative games, (with M. H. Wooders). To appear in *Handbook of Utility Theory*.
- 2) Epistemic Logic of Shallow Depths and Game-Theoretical Applications, (with N.-Y. Suzuki). To appear in *Advances in Modal Logic Vol.3*, F. Wolter et al eds. Center for the Study of Language and Information. Stanford.
- 3) Epistemic Models of Shallow Depths and Game Theoretical Decision Making : Horticulture, (with N.-Y. Suzuki). To appear in *Journal of Symbolic Logic*.

iii) 審査無し書き物

- 1) 「経済学における特殊と一般の逆転」, *経済セミナー* (2001), 4月号 50–53, 5月号 54–57, 6月号 66–69、7月号 72–77 .
- 2) 「蒟蒻問答とゲーム論」, *経済セミナー* (2001), 8月号 52–56, 9月号 102–106, 10月号 102–107、11月号 102–106.
- 3) 「市場経済の逆襲」, *経済セミナー* (2001), 12月号 53–57, (2002) 1月号 40–46, 2月号 56–61、3月号 64–69 .
- 4) 「ゲーム論の危機」, *経済セミナー* (2002), 3月号 36–42 .

(2) 学会活動

- 1) Associate Editor for *Mathematical Social Sciences*

- 2) Associate Editor for Social Choice and Welfare
- 3) Associate Editor for International Journal of Game Theory
- 4) Associate Editor for Journal of Public Economic Theory
- 5) Associate Editor for Lecture Notes in Economics and Mathematical Systems
- 6) Associate Editor for Economic Theory

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金「個人の社会認識と社会・経済規範」2001年(330万円)、2002年(280万円)、2003年(270万円)：基盤研究 B, No.106330003 (研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：微積分学、ゲーム理論、社会経済実習

システム情報工学研究科：ゲーム理論特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) システム情報工学研究科社会システム工学専攻長・社会工学研究科長

河合 忠彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「複雑適応系パラダイム：第三世代システム論」(経営学史学会編『組織・管理研究の百年』)2001年5月

(2) 学会活動

- 1) 組織学会大会委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 経営システム科学専攻で「経営学基礎」、「経営組織」、その他の科目を担当した。
- 2) 企業科学専攻で「組織管理と法」その他の科目を担当した。
- 3) 学習院大学で非常勤講師として「経営管理論」その他の科目を担当した。

III. 社会的活動

- 1) 公認会計士試験試験委員(「経営学」)を勤めた。

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 朱文増, 岸本一男: 分散変動時系列データに基準化残差の独立性検定を行うことの実証上の利用可能性の計算機実験による検証, 経営財務研究双書, Vol.20(2001), pp.1-17.

ii) その他

- 1) 前田貢一, 岸本一男: 第23/27回総選挙得票数データベースの作成と簡単な計算事例, 筑波大学多目的データバンク報告書, No.78(2002), pp.145-153.

(2) 学会活動

- 1) 日本応用数理学会理事
- 2) 日本応用数理学会誌編集委員長
- 3) 日本応用数理学会論文誌編集委員
- 4) 電子情報通信学会査読委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費(基盤研究(C)(2))(代表) マーケット・インパクトを考慮した株価変動モデルとその派生証券価格付けへの応用

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: システム数理特論

経営・政策科学研究科: システム数理特論, 数理ファイナンス

社会工学類: 数理解析1, 経営の科学(分担), 自由演習(微分積分学セミナー)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学系運営委員
- 2) 社会工学研究科運営委員
- 3) 社会工学類施設委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師(東北大学, 横浜市立大学)

III. 社会的活動

- 1) 日本学術会議数学研究連絡委員会委員
- 2) 大学評価・学位授与機構「総合科学」教育・研究評価専門委員会委員

- 3) 東京工業大学理財工学研究センター外部評価員

木下 太志

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 『近代化以前の日本の人口と家族 - 失われた世界からの手紙 - 』ミネルヴァ書房、2002年、320頁。
- 2) 「徳川時代におけるクライシス期の死亡構造」速水融編『近代移行期の人口と家族』ミネルヴァ書房、2002年、23-43頁。
- 3) 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書『日本における人口転換理論の実証的検証 - 人口構造と近代化の関係に関するヨーロッパと日本の比較研究 - 』愛知江南短期大学、2002年、136頁。

(2) 学会活動

- 1) 中部人類学談話会世話人

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))「日本における人口転換理論の実証的検証 - 人口構造と近代化の関係に関するヨーロッパと日本の比較研究 - 」(研究代表者、12630035)

II. 教育・業務活動(前任校における)

(1) 担当講義

- 1) 文化人類学, 日本文化, 地域文化, 情報活用演習, 教養演習, 卒業研究

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 図書館長
- 2) 創立30周年記念誌編集委員長
- 3) 自己点検・評価委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 吉備国際大学社会学部非常勤講師(夏期集中)

III. 社会的活動

- 1) 国際日本文化研究センター共同研究員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書

- 1) 大岩 元, 橘 孝博, 半田 亨, 久野 靖, 辰己 丈夫: 情報科教育法, オーム社, 190p., 2001.
- 2) 久野 禎子, 久野 靖: Javaによるプログラミング入門, 共立出版, 199p., 2001.
- 3) 久野 靖: 入門 JavaScript, アスキー, 222p., 2001.

ii) 論文

- 1) 兼宗 進, 中谷多哉子, 御手洗理英, 福井眞吾, 久野 靖: オブジェクト指向言語「ドリトル」を用いた情報教育について, 情報処理学会夏の教育シンポジウム (SSS2001), ISPJ Symposium Series, vol. 2001, No. 9, pp. 275–282, 2001.
- 2) 中谷多哉子, 兼宗 進, 御手洗理英, 福井眞吾, 久野 靖: オブジェクトストーム: プログラミング言語と情報教育の新しい関係, オブジェクト指向最前線 – 情報処理学会 OO2001 シンポジウム, 大西淳, 大須賀明彦編, 近代科学社, pp. 57–64, 2001.
- 3) 兼宗 進, 中谷多哉子, 御手洗理英, 福井眞吾, 久野 靖: 学校教育用オブジェクト指向言語「ドリトル」の設計と実装, 情報処理学会論文誌:プログラミング, vol. 42, No. SIG 11 (PRO 12), pp. 78–90, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会プログラミング研究会運営委員, PRO 論文誌編集委員.
- 2) 情報処理学会オブジェクト指向シンポジウム (OO 2001) プログラム委員.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 修士課程経営システム科学専攻において, 計算機科学基礎 I/II, 計算機プログラミング I/II, 経営システム科学特別研究 I~IV を担当, 入試実施委員.
- 2) 博士課程企業科学専攻において, ヒューマンインタフェース, システムズマネジメント講義 I~VI を担当.

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 東京地区 SCS ワーキンググループ委員
- 2) 大塚地区 LAN 委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学教養学部非常勤講師 (計算機プログラミング I)

III. 社会的活動

- 1) 日本放送協会 (NHK) 教育番組部 教科「情報」試作番組検討委員.

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 消防活動情報管理システムを活用した震災時利用可能水利の評価(共著), 日本火災学会論文集第 51 巻第 1 号, 日本火災学会, 2001 年 7 月
- 2) 震災時における老人福祉施設と地域住民組織との連携に関する研究(共著), 地域安全学会論文集 No. 3, 地域安全学会, 2001 年 11 月
- 3) 大都市震災時における都心従業者の就業地滞留に関する分析(共著), 地域安全学会論文集 No. 3, 地域安全学会, 2001 年 11 月

ii) その他

- 1) 「平成 5 年(1993 年)北海道南西沖地震」後の奥尻島における住宅再建過程に関する研究, 住宅・土地問題研究論文集〔第 23 集〕, (財)日本住宅総合センター, 2001 年 9 月
- 2) JCO 臨界事故が農作物出荷先の単価に及ぼした影響に関する研究(共著), 地域安全学会梗概集 No.11(2001), 地域安全学会, 2001 年 11 月
- 3) 河川を利用した震災時物資輸送に関する研究-東京東部地域を対象として-(共著), 地域安全学会梗概集 No.11(2001), 地域安全学会, 2001 年 11 月
- 4) 震災時における公園の避難利用に関する研究(共著), 地域安全学会梗概集 No.11(2001), 地域安全学会, 2001 年 11 月

(2) 学会活動

- 1) 地域安全学会会長
- 2) 日本都市計画学会評議員
- 3) 日本建築学会都市防災システム小委員都市防災図集 WG 会主査
- 4) 日本建築学会地震防災総合研究特別委員会委員

(3) 研究助成など

文部科学省科学技術振興調整費: 大規模破壊実験における人体被災計測手法の開発

受託研究: 平成 13 年度大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究

(火山灰災害による交通および都市活動への影響評価)

(運輸施設整備事業団: 運輸分野における基礎的研究推進制度)

奨学寄付金: 災害時の対応・対策に関する研究((株)解析技術サービス)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科(リスク工学専攻): 都市リスク管理特論(2 単位), リスク工学特別演習(3 単位 分担)

環境科学研究科：環境科学実習 (1 単位 分担), 環境計画原論 (2 単位), 防災計画論 (2 単位)

社会工学類：都市防災計画 (2 単位), 都市計画実習 3(2.5 単位)

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：クラス担任 (二年度), カリキュラム委員, 非常勤講師審査委員

社会工学系：施設委員長, 人事懇談会運営委員

環境科学研究科：環境計画分野世話人, 就職委員長, 将来検討ワーキング委員

システム情報工学研究科：運営委員, 施設委員長

その他：防災対策委員会委員, 安全管理査察専門委員会委員, 同 作業部会主査, 実験環境管理室
運営委員, キャンパスリニューアル計画部会マスター WG 委員, キャンパスリニューアル計
画部会中地区総合研究棟設計 WG 委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京都立大学都市研究所非常勤研究員

III. 社会的活動

- 1) 中央防災会議大都市震災対策専門委員会委員
- 2) 東京都火災予防審議会委員
- 3) 第 5 回東京都地域危険度測定調査委員会委員
- 4) 茨城県環境影響評価審査会委員
- 5) 土浦市都市計画審議会会長
- 6) つくば市建築審査会会長
- 7) 総合技術開発プロジェクト「まちづくりにおける防災評価・対策技術の開発」研究開発
委員会委員

黒田 諄

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “The Output and Input Biases Caused by Public Agricultural Research and Extension in Japan,” Asian Economic Journal, Vol. 16 , 2002, (forthcoming), 共著「筆頭」
- 2) “Convergence in Rural Development: Evidence from India,” Asian Economic Journal 2002 (forthcoming), 共著.
- 3) “Production Structure and Technical Change in Thai Agriculture, 1972-1994,” Agricultural Economics (under review).
- 4) “Impact of Rural Small and Medium Enterprises on Agriculture: A Sectoral Approach,” Agricultural Economics (under review).

- 5) “Effects of Research and Extension Activities on the Agricultural Production Technology in Postwar Japan, 1957-1997,” American Journal of Agricultural Economics (under review).

(2) 学会活動

- 1) 今年(2002)度も Agricultural Economics の Editorial Board のメンバーである。

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費: 基盤研究 (C) 12660197 (研究代表者) 「日・韓・台農業における R&D 及び環境要因が生産性に及ぼす影響の実証的研究」

(4) その他

- 1) Agricultural Economics の 1 本の論文の査読を行った。
- 2) 「多目的データバンク・プロジェクト」推進および管理・運営。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：自由演習、計量発展分析、社会経済専攻実習

経営・政策科学研究科：計量発展分析

システム情報工学研究科：計量発展分析特講

- 1) 社会工学類 2 年次クラス担当
- 2) 卒業研究指導 6 人、経営・政策修論指導 1 人、社会工学研究科博士論文指導 5 人、大学院研究生 1 人

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 留学生センター長
- 2) 経営・政策科学研究科の運営委員
- 3) 社会工学類の運営幹事
- 4) 植物見本園委員会委員

III. 社会的活動

- 1) Faculty of Economics & Administration, University of Malaya の External Examiner として 2002 年も務めることになった。
- 2) 本(2002)年度も PECC(Pacific Economic Cooperation Conference-太平洋経済協力会議)日本委員会の食料・農業委員会のメンバーとして春に行われる年次会議に出席した。

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Bootstrap Re-Sampling for Unbalanced Data in Supervised Learning, European Journal of Operational Research, Vol. 134, pp. 141–156, 2001. (共著)
- 2) データマイニング手法によるスコアリングモデルの開発–リレーションシップ・データによる顧客のレスポンス予測–, Direct Marketing Review (日本ダイレクトマーケティング学会誌), Vol. 1, pp. 19–32, 2002. (共著)

ii) 査読のない論文など

- 1) An Optimization Algorithm Based on Stochastic Sensitivity Analysis for Noisy Objective Landscapes, 数理解析研究所講究録 1240, 47–57, 京都大学数理解析研究所, 12月, 2001. (共著)
- 2) An Application of Stochastic Sensitivity Analysis to Financial Engineering, Discussion Paper Series No. 980, Inst. of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, March, 2002. (共著)
- 3) 「ビジネスモデル」特集にあたって, 経営情報学会誌, Vol. 10, No. 3, 1–2, 12月, 2001.

iii) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など

- 1) An optimization algorithm based on stochastic sensitivity analysis and its applications to discrete optimization problem, 短期共同研究「確率数値解析における諸問題」, 京都大学数理解析研究所, 京都, 7月17日, 2001.
- 2) Eマーケットプレースの課題と展望–ビジネスモデルの視点から–, 情報処理学会連続セミナー 2001「ネットサービス社会」, 第5回「Eマーケットプレース」資料, 79–80, 東京, 1月18日, 2002.
- 3) 顧客対応型ビジネスモデルについて, 第4回筑波大学ビジネスモデルプロジェクト (UT-BUMP) 研究会, 東京, 2月26日, 2002.
- 4) データマイニングの産業応用について, データベースマーケティング研究部会第2回研究会, 日本ダイレクトマーケティング学会, 東京, 3月15日, 2002.
- 5) データマイニングによる顧客スコアリング, 日本OR学会2002年度春季研究発表会アブストラクト集, 144–145, 富山, 3月28日, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本OR学会国際理事 (H13年5月1日～H15年4月30日),
- 2) 日本ダイレクトマーケティング学会理事, データベースマーケティング研究部会長 (H13年11月1日～H16年3月31日),
- 3) 経営情報学会, 経営情報学会誌「ビジネスモデル」特集号ゲスト コエディター (H13年4月1日～H13年12月31日),
- 4) 情報処理学会, 連続セミナー 2001「ネットサービス社会」, 第5回「Eマーケットプレース」コーディネーター, パネリスト (H13年4月1日～H14年1月31日),

- 5) 日本 OR 学会創立 40 周年記念事業国際交流委員会主査 (H13 年 4 月 1 日～H15 年 3 月 31 日),
- 6) 日本 OR 学会統合 OR「戦略・マネージメント」研究会運営委員 (H13 年 4 月 1 日～H15 年 3 月 31 日),
- 7) 日本 OR 学会統合 OR「情報技術・ネットワーク」学専門部会幹事 (H13 年 4 月 1 日～H15 年 3 月 31 日),
- 8) Contributing Editor, International Abstracts in OR, IFORS (H13 年 5 月 1 日～H15 年 4 月 30 日),
- 9) Associate Editor, Journal of Information and Communication Technology, Universiti Utara Malaysia (H14 年 1 月 1 日～H15 年 12 月 31 日),

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 C (2), No.13680504(研究代表者) 高性能を有するデータマイニング複合モデルの構築と最適化」(H13 年 4 月 1 日～H14 年 3 月 31 日)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：微分積分学、経営工学実習

経営政策科学研究科：応用解析学

システム情報工学研究科：データマイニング工学特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類入試実施副委員長 (H13 年 5 月 1 日～H14 年 4 月 30 日)
- 2) 経営政策科学研究科修士論文委員長 (H13 年 4 月 1 日～H14 年 3 月 31 日)
- 3) システム情報工学研究科社会システム工学専攻運営委員・論文管理委員, 学位論文審査委員 (H13 年 4 月 1 日～H14 年 3 月 31 日)

III. 社会的活動

- 1) データマイニングの最新技術動向と顧客対応ビジネスへの適用事例, 第 1 回次世代経営システム工学研究会, (社)システム総合研究所, 東京,, 9 月 27 日, 2001.
- 2) データマイニングによる最適レスポンスモデルの構築, NASUC 平成 13 年度総会 (NASUC 平成 13 年度特選論文受賞), 東京, 11 月 27 日, 2001.
- 3) データマイニングの顧客対応型ビジネスへの適用, 「顧客データ活用の最考」カンフェランス議長, Marcus Evans, 東京, 2 月 5 日, 2002.

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 省エネルギー直方体都市のプロポーション解析－沙漠の摩天楼シバームの数理－, 2001 日本建築学会計画系論文集, 共著, 第 544 号, pp.125-131.
- 2) “Model Analysis for Formation of Population Distribution”, 2001, Forma, 共著, Vol.16, No.1, pp.47-63.
- 3) 都市領域における距離分布の導出とその応用, 2001.11 日本都市計画学会平成 13 年度論文集, 共著, pp.871-876.
- 4) 道路ネットワーク上の道路距離と直線距離, 2001.11 日本都市計画学会平成 13 年度論文集, 共著, pp.877-882.
- 5) 敷地割による斜線制限と容積制限の影響 新橋・銀座・八重洲を事例として, 2001.11 日本都市計画学会平成 13 年度論文集, 共著, pp.499-504.
- 6) 交通路面積を考慮に入れた高層建物の移動時間の評価, 2001.12 Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.44, No.4, 共著, pp.326-342.

ii) 査読なし口頭発表, 学会による招待講演など

- 1) 格子状道路網における一方通行路導入の影響, 2002.3 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, 共著, pp.170-171.
- 2) 大学入学時の人口移動に関する研究, 2001.7 第 19 回地域施設計画研究シンポジウム, 共著.

(2) 学会活動

- 1) 日本 OR 学会評議委員
- 2) 形の科学会運営委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費補助金
基盤研究 (B)(2) 「移動からみた都市空間の分析」(研究代表者)
基盤研究 (B)(1) 「都市の施設配置および交通に関する数理的並びに定量的研究」(研究分担者)

(4) その他

- 1) 形の科学会功労賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 都市解析学特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 副学長

III. 社会的活動

- 1) 埼玉県教育改革会議委員
- 2) 熊谷市マスタープラン策定委員会委員長

Neantro Saavedra-Rivano

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Saavedra-Rivano, Neantro, Akio Hosono, and Barbara Stallings (eds.), *Regional Integration and Economic Development*, Palgrave, London and New York, 2001.
- 2) Saavedra-Rivano, Neantro, "Developmental Affinities in Regional Integration," in Saavedra-Rivano, Neantro et al (eds.), *Regional Integration and Economic Development*, Palgrave, London and New York, 2001.
- 3) *Learning from Experience - The First APIAN Report* (with other authors, main editor Richard Feinberg), Institute of South East Asian Studies, Singapore, 2001.

(2) 学会活動

- 1) Working Group on Economic and Social Issues of the Forum for East Asia and Latin America Cooperation ("The IT Revolution in East Asia and Latin America"), Tokyo, March 7-8, 2002.
- 2) XXIII International Congress of the Latin American Studies Association ("Developmental Affinities in Regional Integration"), Washington, DC (USA), September 6-8, 2001.
- 3) International Congress of the Association of Japanese Business Studies ("The Role of QM Tools in the Post War Economic Development of Japan"), Seinajoki Business School, Seinajoki (Finland), June 11-13, 2001.
- 4) APEC Roundtable and APIAN Workshop "ICT Challenges for APEC", Institute of South East Asian Studies, Singapore, June 8-9, 2001.
- 5) International Meeting of APEC Study Centers ("Regional Development and Economic Integration"), Nankai University, Tianjin (China), May 18-20, 2001.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際政治経済学研究科：動学最適論(平成13年度1学期)，国際経済学(13年度1学期)，国際開発計画論(13年度1学期)

地域研究研究科：ラテン・アメリカ研究概論(13年度1学期)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) Director, Joint Japan/World Bank Graduate Scholarship Program (国際政治経済学研究科)
- 2) Director, APEC Study Center (国際政治経済学研究科)
- 3) Member, 運営委員会 (国際政治経済学研究科)
- 4) Chairman, コンピュータ委員会 (国際政治経済学研究科)
- 5) Member, 予算委員会 (社会工学系)

佐藤 亮

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Ryo Sato: Realization theory of discrete-event systems and its application to the uniqueness and universality of DEVS formalism, International Journal of General Systems, 30 (5), pp. 513–549, 2001.
- 2) 佐藤亮: ビジネスプロセスの離散事象モデリングと業務取引ペトリネットによる特性分析, システム/制御/情報, 45-8, pp470–479, システム制御情報学会, 2001.

ii) その他

- 1) Ryo Sato: “A framework for organizational effectiveness of information systems: Coordination theory of organizations”, Proceedings of the World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Volume II, pp426–431, 2001.
- 2) (招待講演) 佐藤亮: ビジネスプロセスの制御方法, 経営情報学会 2001 年秋季全国研究発表大会予稿集, 2001.
- 3) 佐藤亮: ビジネスプロセスの記述方法の比較, 経営情報学会 2001 年秋季全国研究発表大会予稿集, pp163–166, 2001.
- 4) 佐藤亮: 計画主導の生産とロジスティクスの統合方法, 計測自動制御学会システム情報部門学術講演会 2001 講演論文集, pp127–132, 2001.

(2) 学会活動

- 1) PACIS2002(東京) アジア情報システム国際会議実行委員会事務局長
- 2) AIS 2002(ポルトガル) シミュレーション国際会議組織委員会委員
- 3) (社) 計測自動制御学会システム情報部門システム工学部会運営委員
- 4) 経営情報学会誌論文編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C)(2) 「高度に統合されたビジネスプロセスの時間特性の最適化設計法」(研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：経営工学概論，経営情報システム，経営情報システム演習

経営政策科学筑波地区：情報科学演習，情報システム論

システム情報工学研究科：システム工学特論，情報科学演習

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類カリキュラム委員長
- 2) 経営政策科学研究科運営委員

III. 社会的活動

- 1) SAP ジャパン Higher Learning Initiative 委員

庄司 功

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Shoji, I., Approximation of conditional moments of diffusion processes, International Journal of Computational and Numerical Analysis and Applications, 2, 163-190.

ii) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など

- 1) Nonparametric state estimation of diffusion processes, 第10回 N-TIMSAC 研究会, 統計数理研究所, 2002年3月.

(2) 学会活動

- 1) Editorial Board, Advances and Applications in Statistics

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：統計学、計量時系列分析

経営・政策科学研究科：金融時系列解析

システム情報工学研究科：ファイナンスモデル特論

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) その他

- 1) 「高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発」, 科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書
- 2) 「高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発 別冊資料1」, 科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書
- 3) 「高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発 別冊資料2」, 科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書
- 4) 「高度職業人養成のためのビジネス教育ツールの開発 別冊資料3」, 科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズリサーチ学会無任所理事
- 2) 日本オペレーションズリサーチ学会表彰委員会委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営政策科学研究科企業科学専攻(博士): システムズ・マネジメント講義I-VI」各1単位

ビジネス科学研究科経営システム専攻(修士): ビジネス・ゲーム(1単位), 計画数理(1単位), ビジネスモデリング(2単位), ビジネス創造演習II, III(1単位), 計画数理輪講I-III(各1単位), ビジネスマネジメント研究I(1単位), ビジネスマネジメントII, III(各1単位)

経営政策科学研究科経営システム専攻(修士): 経営科学特別研究IV(1単位)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) ビジネス科学研究科長
- 2) 評議員
- 3) 教育審議会委員
- 4) 研究審議会委員
- 5) 教育組織部局長会議委員
- 6) 博士課程連絡会委員
- 7) 大学院運営委員会委員
- 8) 東京地区将来計画検討委員会委員
- 9) 将来設計検討委員会委員
- 10) 医療関係委員会委員
- 11) 大学研究センター運営委員

- 12) 企画調査室委員
 - 13) 産学リエゾン共同研究センター設立準備委員会委員
 - 14) 修士(経営学) 修士(経営システム科学) 論文審査委員会委員
 - 15) 博士(経営学) 論文審査委員会委員
- 1) 東海大学工学部非常勤講師(ロジスティック工学)
 - 2) 東海大学工学研究科非常勤講師(システム工学特論 I,II)

III. 社会的活動

- 1) 「社会人向け夜間大学院の役割」, 琉球大学法文学部経営学専攻課程懇話会講演

住田 潮

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Optimal Internal Pricing and Capacity Planning for Service Facility with Finite Buffer,” (with Y. Masuda and S. Yamakawa), *European Journal of Operations Research*, Vol. 128, pp 192-205, 2001
- 2) “Exploration of Combined Auto-Life Insurance Policies through Analysis of Reward Processes Defined on Temporally Inhomogeneous Markov Chains” (with N. Takezawa and D. Nakazato), Working Paper Series

ii) その他

- 1) 6月22日 OECD Asian Logistics Conference “Impact of Information and Communication Technology (ICT) and Intelligent Transport Systems (ITS) on Asia-Pacific Logistics”
 - 2) 2月21 - 22日 OECD Asian Logistics Conference “Most Advanced Logistics Practices in Japan”
- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部
 - 2) 「決定過程の理論と実践」研究部会 講演 “Optimal Internal Pricing and Capacity Planning for Service Facility with Finite Buffer.”
- 1) 受託研究: 「時系列モデルに対する構造的数値解法の開発」(山本芳嗣教授、後藤順哉講師と共同) みずほ第1ファイナンシャル・テクノロジー株式会社

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) Introduction to Management Science and Engineering(学類)
- 2) 社工情報処理実習3(学類)
- 3) 情報数理特論(博士課程)
- 4) 応用確率過程論(博士課程)

- (2) 役職・各種委員会委員
1) 公開講座委員会・委員

- (3) 他大学における教育活動
1) 国際大学客員教授
2) 国際基督教大学フランス・プログラム集中講義

III. 社会的活動

- 1) OECD Tri-Logistics Research Project アジア研究部会・委員
- 2) グローバル人材開発センター・顧問
- 3) 講演：
 - 1) 4月3 - 4日 DHL 幹部研修プログラム “Recent Advancements in Global Logistics Services”
 - 2) 4月24 - 26日トヨタ 幹部研修プログラム「21世紀においてもリーディング・カンパニーであり続けるために」
 - 3) 4月21日 DHL 幹部研修プログラム “Project Management”
 - 4) 5月3日セコム 幹部研修プログラム「IT革命の潮流と日本」
 - 5) 5月28日札幌医薬品卸研究会「医薬品卸とIT革命」
 - 6) 6月3日セコム 幹部研修プログラム「IT革命の潮流と日本」
 - 7) 7月3, 4, 5日 DHL Logistics Conference 「日本におけるグローバル経営とロジスティクス革命」(基調講演)
 - 8) 8月28日東洋エンジニアリング 幹部研修プログラム「世界のビジネス潮流と日本」
 - 9) 9月13日富士ゼロックス 幹部研修プログラム「企業の行動理念と共有価値」
 - 10) 9月18日東洋エンジニアリング 幹部研修プログラム「21世紀にグローバル・リーディング・カンパニーであり続けるために - 行動理念・戦略・共有価値 - 」
 - 11) 10月25日富士通 幹部研修プログラム「マネジメントの革新 - 行動理念・戦略・共有価値 - 」
 - 12) 11月1日富士ゼロックス 幹部研修プログラム「企業の行動理念と共有価値」
 - 13) 11月20日富士ゼロックス 幹部研修プログラム「企業の行動理念と共有価値」
 - 14) 12月3 - 5日コマツ 幹部研修プログラム「世界のビジネス潮流と日本」「国際化時代の組織管理」「E-ビジネスとIT戦略」「E-ビジネスで如何にアメリカに勝つか」「ソリューション・ビジネスの本質 - 点展開から面展開へ - 」「企業の行動理念と共有価値」
 - 15) 1月17日富士通 幹部研修プログラム「国際化時代の組織管理」
 - 16) 2月16日旭化成 幹部研修プログラム「世界のビジネス潮流と日本 - 如何に再びアメリカを超えるか - 」
 - 17) 2月23日旭化成 幹部研修プログラム「世界のビジネス潮流と日本 - 如何に再びアメリカを超えるか - 」
 - 18) 2月23日旭化成 幹部研修プログラム「世界のビジネス潮流と日本 - 如何に再びアメリカを超えるか - 」
 - 19) 3月21日トヨタ 幹部研修プログラム「IT化が今後の産業界に与える影響 - 如何に

再びアメリカを超えるか - 」

20) 3月29日トヨタ 幹部研修プログラム「IT化が今後の産業界に与える影響 - 如何に再びアメリカを超えるか - 」

高木 英明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 沢野泰淳・張勇兵・高木英明, 移動エージェントを用いたネットワーク負荷分散システムの構築とその評価, 電子情報通信学会論文誌 D-I, Vol.J84-D-I, No.9, pp.1450-1453, 2001年9月.
- 2) T. Norimatsu and H. Takagi, "Modeling and Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus," IEICE Transactions on Communications, Vol.E84-B, No.11, pp.2979-2987, November 2001.
- 3) H. Takagi, M. Kitajima, T. Yamamoto, and Y. Zhang, "Search Process Evaluation for a Hierarchical Menu System by Markov Chains," SPIE's International Symposium ITCOM 2001, Internet Performance and Control of Network Systems II, Vol.4523, pp.183-192, Denver, Colorado, August 21-22, 2001.
- 4) R. M. Rodriguez-Dagnino and H. Takagi, "Wireless Cellular Networks with Pareto Distributed Call Holding Times," SPIE's International Symposium ITCOM 2001, Internet Performance and Control of Network Systems II, Vol.4523, pp.202-210, Denver, Colorado, August 21-22, 2001.
- 5) K. Taira, Y. Zhang, H. Takagi, and S. K. Das, "Efficient Lightpath Routing in Wavelength-Routed Optical Networks," The 16th International Conference on Information Networking, ICOIN-16, pp.6D-1.1-6D-1.14, Cheju Island, Korea, January 30-February 1, 2002 (Best Paper Award).

ii) その他

- 1) 高木英明, 情報ネットワークの性能評価研究の課題, Technical Report of IEICE, TM2001-16 (信学技報 Vol.101, No.187), pp.7-9, Tsukuba, Japan, July 16, 2001, 電子情報通信学会.
- 2) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, "Optimal Wavelength Converter Placement in Optical Networks by a Genetic Algorithm," Technical Report of IEICE, TM2001-18 (信学技報 Vol.101, No.187), pp.17-22, Tsukuba, Japan, July 16, 2001, 電子情報通信学会.
- 3) D. Wu and H. Takagi, "A Queue with Semi-Markovian Batch Plus Poisson Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence," 「待ち行列理論とその応用: 未来への展望」シンポジウム報文集, pp.1-10, 名古屋能楽堂, 2002年1月21-23日.
- 4) 狩谷典之・北島宗雄・高木英明・張勇兵, Markov連鎖を用いたe-コマースサイトのwebデザイン評価, 「待ち行列理論とその応用: 未来への展望」シンポジウム報文集, pp.31-40, 名古屋能楽堂, 2002年1月21-23日.
- 5) 五百井俊宏・井沢澄雄・木野泰伸・西山寛志・布川薫・左瀧学・高木英明, プロジェクトマネジメント教育のカリキュラム, 第II部: 企業人教育, プロジェクトマネジメント学会誌, 第3巻第4号, pp.34-39, 2001年8月.

- 6) 高木英明, 大学人とPM, リレーコラム, @pm.Letters, No.9, p.3, 2001年7月15日発行.
- 7) R. M. Rodriguez-Dagnino and H. Takagi, "Counting Handovers in a Cellular Mobile Communication Network: Equilibrium Renewal Process Approach," Discussion Paper No.941, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, August 2001.
- 8) R. M. Rodriguez-Dagnino and H. Takagi, "Counting Handovers in a Cellular Mobile Communication Network: Delayed Renewal Process Approach," Discussion Paper No.943, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, August 2001.
- 9) T. Norimatsu, H. Takagi, and H. R. Gail, "Performance Analysis of the IEEE 1394 Serial Bus," Discussion Paper No.946, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, August 2001.
- 10) Y. B. Zhang, K. Taira, H. Takagi, and S. K. Das, "An Efficient Heuristic for Routing and Wavelength Assignment in Optical WDM Networks," Discussion Paper No.948, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, September 2001.
- 11) S. Yagyu and H. Takagi, "A Queueing Model with Input of MPEG Frame Sequence and Interfering Traffic (A Revised Version)," Discussion Paper No.951, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, September 2001.
- 12) D. Wu and H. Takagi, "A Queue with Semi-Markovian Batch Plus Poisson Arrivals with Application to the MPEG Frame Sequence," Discussion Paper No.958, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, November 2001.
- 13) H. Takagi and R. M. Rodriguez-Dagnino, "Counting the Number of Renewals during a Random Interval in a Discrete-Time Delayed Renewal Process," Discussion Paper No.981, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, March 2002.

(2) 学会活動

- 1) 国際会議 European Wireless 2002, January 26-28, 2002, Florence, Italy, プログラム委員.
- 2) 国際会議 Performance Tools 2002, 12th International Conference on Modelling Tools and Techniques for Computer and Communication System Performance Evaluation, April 15-17, 2002, London, United Kingdom, プログラム委員.
- 3) 国際会議 Networking 2002, The Second IFIP-TC6 Networking Conference, May 19-24, 2002, Pisa, Italy, 運営委員.
- 4) 国際会議 IEEE INFOCOM 2002, June 23-27, 2002, New York (International Vice Chair).
- 5) 学術論文誌 Performance Evaluation (Elsevier) 編集委員.
- 6) 学術論文誌 Queueing Systems (Balzer) 編集委員.
- 7) 電子情報通信学会 ソサイエティ論文誌編集委員会, 査読委員.
- 8) 電子情報通信学会 通信ソサイエティ テレコミュニケーションマネジメント研究専門委員会, 専門委員.
- 9) プロジェクトマネジメント学会 (任意団体) 評議員, 研究委員会委員, PM基礎研究会主査.

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金, 基盤研究 (C)(2), 課題番号 13650443, 研究課題「インターネットのトラフィック源のモデル化と測定による検証」, 1,100 千円.
- 2) 電気通信普及財団, 海外渡航旅費援助, 230 千円.

(4) 受賞

- 1) The Silver Core, IFIP, September 4, 2001.
- 2) Best Paper Award, The 16th International Conference on Information Networking, January 30, 2002, Cheju Island, Korea.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：自由演習 (IT 時代の数学), 数理解析 II, 応用確率過程

システム情報工学研究科：応用確率過程特論

経営・政策科学研究科：情報ネットワーク

(2) 役職・各種委員会委員

評議会：評議員, 財務委員会委員, 図書館情報大学・筑波大学統合協議会委員

研究審議会：委員, 国際交流委員会大学間交流協定専門委員会委員

全学：学群教職課程委員会委員

第三学群：運営委員, 教員会議構成員

社会工学系：社会工学系長

社会工学類：運営幹事, 1 年 3 クラス担任

システム情報工学研究科：運営委員会オブザーバ

経営・政策科学研究科：修論審査委員会委員

椿 広計

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 椿美智子, 椿広計共訳 (2001) Armitage and Berry, 医学研究のための統計的方法, サイエンティスト社, 551 頁.
- 2) M. Miyamoto and H. Tsubaki (2001) Measuring Technology and Pricing Differences in the Digital Still Camera Industry Using Improved Hedonic Price Estimation, Behaviormetrika, Vol. 28, No.2, 111–152.

- 3) H. Arai, H. Tsubaki, Y. Mitsuyama, N. Fujimoto, Y. Urata and A. Homma (2001) Early Onset Alzheimer Type Dementia More Rapidly Deteriorates than Late Onset Type: A Follow-up Study on MMSE Scores in Japanese Patients, Psychogeriatrics, Vol.1, No. 4, 303–308.
- 4) 椿 広計, 横田達也 (2002) 第 3 章 ADEOS/ILAS データ, 清水邦夫編著, 地球環境データ - 衛星リモートセンシング, データサイエンスシリーズ 8, 103–137. 共立出版.
- 5) 椿 広計 (2002) 第 1 章中小企業と ISO14001, 第 6 章今後の ISO14001 活動のために, (社) 中小企業研究センター編, 中小企業の環境経営戦略 - ISO14001 認証取得の現状と課題, 9–23, 91–106, 同友館.
- 6) 椿 広計 (2002) 「クラスター分析」, 「主成分分析」, 「数量化 1, 2, 3 類」, 「正準分析」, 「多次元尺度構成」, 「多変量解析」, 「統計」, 「統計解析」, 「統計的方法」, 「パス解析」などの項目執筆, (社) 日本経営工学会編, 生産管理用語辞典, 日本規格協会.

ii) その他

- 1) 椿 広計 (2001) 電気・電子機器の環境配慮規格の整備に関する調査報告, 標準化ジャーナル, Vol.31, No.9, 3–9.
- 2) 椿 広計 (2001) 仮説成長型データ解析の教育と S-PLUS, 第 1 回 S-PLUS ユーザカンファレンス予稿集.
- 3) 椿 広計 (2001) 「専門職」としての発言と行動, CEAR センター広報誌 Vol.2, 2–5, 社団法人産業環境管理協会環境マネジメントシステム審査登録センター.
- 4) 椿 広計 (2001) 統計科学の夜話, 応用科学学会イブニングセミナー.
- 5) 椿 広計 (2001) 社会人大学院の統計教育、日本統計学会統計教育部会での招待報告.
- 6) H. Tsubaki and Y. Urata (2001) An Application of Latent Growth Curve Models with Virtual Missing Data to the Analysis of Natural Course of Alzheimer 's Disease, Invited Session of 8th Annual Biostatistics Meeting of Drug Information Association.
- 7) M. Iwasaki and H. Tsubaki (2001) Industrial Application of Bivariate Gamma Type Quasi-Likelihood, 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics.
- 8) M. Asano and H. Tsubaki (2001) Application of Neural Networks to Change-point Problems, 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics.
- 9) T. Yasukawa and H. Tsubaki (2001) The Comparison of the Corporate Bond Ratings in Japan, 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics.
- 10) M. Miyamoto and H. Tsubaki(2001) Measuring Technology and Pricing Differences in the Digital Camera Industry Using Improved Hedonic Price Estimation, 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics.
- 11) M. Iwasaki and H. Tsubaki(2001) Bivariate Gamma Type Quasi-Likelihood with Constant Correlation Structure, 53rd International Statistical Institute.
- 12) 椿 広計 (2002) 中規模ビジネス・データ分析を巡って -社会人大学院におけるデータ解析教育の課題-, 平成 13 年度多目的統計データバンク年報, 135–144.

(2) 学会活動

- 1) 応用統計学会理事, 評議員, 学会誌編集委員
- 2) 日本計量生物学会理事

- 3) 日本品質管理学会代議員
- 4) 2nd International Symposium on Business and Industrial Statistics 組織委員, プログラム委員

(3) 研究助成など

- 1) 委任経理金: 富士通 FIP, 金融工学研究所
- 2) 受託研究: 東京三菱投資顧問

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 多変量解析, 統計モデル, 統計的管理, 統計的方法とその応用

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) ビジネス科学研究科運営委員
- 2) 経営システム科学専攻教育担当

(3) 他大学における教育活動

- 1) 群馬大学大学院工学系研究科非常勤講師「知識工学」

III. 社会的活動

- 1) 国立環境研究所客員研究員
- 2) 統計審議会専門委員
- 3) 医薬品副作用救済機構臨時顧問
- 4) 骨粗しょう症治療による骨折予防に関する試験倫理モニタリング委員会委員長
- 5) 日本機械工業連合会標準化委員会委員環境適合設計分科会主査
- 6) 国際標準化機構第 207 専門委員会「環境マネジメント」エキスパートメンバー

寺野 隆雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) E.Murakami, T.Terano: Collaborative Filtering for a Distributed Smart IC Card System. Intelligent Agents: Specification, Modeling, and Applications, 4th Pacific Rim International Workshop on Multi-Agents, PRIMA 2001, Taipei, Taiwan, July 2001, Proceedings, Springer LNAI2132, pp.183-197, 2001.
- 2) T. Terano, Y. Shiozawa, H. Deguchi, H. Kita, H. Matsui, H. Sato, I. Ono: U-Mart: An Artificial Market to Bridge the Studies on Economics and Multiagent Systems. Proc. PRIMA'2001, 4th Pacific Rim International Workshop on Multi-agents, pp. 371-385, Taipei, July 28-29, 2001.

- 3) 高田真好, 寺野隆雄: 2段階 CLP 緩和法によるリソース平準化スケジューリングシステム. 電子情報通信学会論文誌 D-I, Vol.J84-D-I No. 6, pp. 896–905, 2001.
- 4) 倉橋節也, 寺野隆雄: エージェントシミュレーションによる共同分配規範モデル. 電子情報通信学会論文誌 D-I, Vol.J84-D-I No.8, pp.1160–1168, 2001.
- 5) K.TAKADAMA, T.TERANO, K.SHIMOHARA: Learning Classifier Systems Meet Multiagent Environments, Pier Luca Lanzi,Wolfgang Stolzmann,Stewaer W.Wilson(Eds.): Advances in Learning Classifier Sysems, Third International Workshop, IWLCS 2000, Paris, France, September 2000. Springer LNAI 1996, pp.192–212, 2001.
- 6) K.Takadama, T.Terano, K.Shimohara, K.Hori, S.Nakasuka: Towards a Multiagent Design Principle –Analyzing an Organizational-Learning Oriented Classifier System–, Loia,V., Sessa,9.(Eds.). ”Soft Computing Agents: New Trends for Designing Autonomous Systems” Special Issue of the Series ”Studies in Fuzziness and Soft Computing”, Physica-Verlag, Springer Publisher, 2001.
- 7) K.Takadama, T.Terano, K.Shimohara: Non-Governance Rather Than Governance in a Multiagent Economic Siciety, IEEE Transaction on Evolutionary Computing, Vol. 5, No. 5, pp. 535–545, 2001.
- 8) T. Terano, T. Nishida, A. Namatame, S. Tsumoto, Y. Ohsawa, T. Washio (Eds.): New Frontiers in Artificial Intelligence: Joint JSAI 2001 Workshop Post-Proceedings, Springer Lecture Note on Artificial Intelligence LNAI 2253, 2001.
- 9) Setsuya Kurahashi and Takao Terano: Analyzing Norm Emergence in Communal Sharing via Agent-Based Simulation, LNAI 2253, pp. 88–98, 2001.
- 10) Hiroshi Sato, Hiroyuki Matsui, Isao Ono, Hajime Kita, Takao Terano,Hiroshi Deguchi, and Yoshinori Shiozawa: U-Mart Project: Learning Economic Principles from the Bottom by Both Human and Software Agents. LNAI 2253, pp. 121–131, 2001.
- 11) Hiroshi Deguchi, Takao Terano, Koichi Kurumatani, Taro Yuzawa,Shigeji Hashimoto, Hiroyuki Matsui, Akio Sashima, and Toshiyuki Kaneda: Virtual Economy Simulation and Gaming –An Agent Based Approach– LNAI 2253, pp. 218–226, 2001.
- 12) R.Kudo, T.Terano: Automation of Concept Development, Expert Systems, Vol.6 No.45, pp.1641–1665, 2002.
- 13) A.Namatame, T.Terano, K.Kurumatani(eds.): Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems. IOS Press & Ohmsha, 2002.
- 14) S.Kurahashi, T.Terano: Emergence,Maintenance,and Collapse of Norms on Information Communal Sharing: Analysis via Agent-Based Simulation. Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems. IOS Press & Ohmsha, pp.25–34, 2002.
- 15) H.Sato, H.Matsui, I.Ono H.Kita, T.Terano, H.Deguchi, Y.Shiozawa: Case Report on U-Mart Experimental System: Competition of Software Agents and Gaming Simulation with Human Agents. Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems. IOS Press & Ohmsha, pp.167–178, 2002.
- 16) H.Deguchi, T.Terano, K.Kurumatani, T.Kaneda, H.Matsui, T.Yuzawa, A.Sashima, Y.Koyama, H.Lee, M.Kobayashi: Virtual Economy –Agent Based Modeling & Simulation of National Economy–. Agent-Based Approaches in Economic and Social Complex Systems. IOS Press & Ohmsha, pp.198–207, 2002.

- 17) 勝又勇治, 寺野隆雄: 発電所電気設備に対する進化計算の適用—タブー探索とベイジアン最適化による接近—. 電気学会論文誌 C, Vol. 122-C, No.3, March, pp.417–424, 2002.

ii) その他

- 1) S.Kurahashi, T.Terano: Can We Control Information Free Riders? Analyzing Communal Sharing Norms via Agent-based Simulation. (CASOS 2001), pp. 94–96, 2001.
- 2) H.Matsui, I.Ono, H.Sato, H.Deguchi, T.Terano, H.Kita, Y.Shinozawa: Learning Economics Principles from Bottom. (CASOS 2001), pp. 97–99, 2001.
- 3) S.Kurahashi, T.Terano: Analyzing Norm Emergence in Communal Sharing via Agent-based Simulation. (AESCS-2001), pp. 27–34, 2001.
- 4) H.Degushi, T.Terano, K.Kurumarani, T.Yuzawa, S.Hashimoto, H.Matsui, A.Sashima, T.Kaneda: Virtual Economy Simulation and Gaming –An Agent Based Approach–. (AESCS-2001), pp. 169–185, 2001.
- 5) Y.Katsumata, S.Kurahashi, T.Terano: Hybridizing Bayesian Optimization and Tabu Search for Multimodel Functions. 2001 Genetic and Evolutionary Computation Conference (GECCO-2001) Late Breaking Papers, pp.227–333, 2001.
- 6) K.Taniguchi, S.Kurahashi, T.Terano: Managing Information Complexity in a Supply Chain Model Agent-Based Genetic Programming. 2001 Genetic and Evolutionary Computation Conference (GECCO-2001) Late Breaking Papers, pp.413–420, 2001.

iii) 査読なし学会発表

- 1) 勝又勇治, 倉橋節也, 寺野隆雄: ベイジアンネットワークとタブーリストを利用したハイブリッド GA による多峰性関数の最適化人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (2C3-01), 2001.
- 2) 谷口 憲, 倉橋 節也, 寺野 隆雄: エージェント指向サプライ・チェーン・モデルに対する遺伝的プログラミングの適用 人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (2C3-09), 2001.
- 3) 倉橋 節也, 寺野 隆雄: エージェントモデルによるコミュニティの共同分配規範の成立と崩壊に関する考察 人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (3C2-03), 2001.
- 4) 村上 英次, 寺野 隆雄: F-CUBE: コミュニティに共有する知識のインターネットフォーラムからの抽出システム人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (3B1-02), 2001.
- 5) 出口 弘, 寺野 隆雄, 車谷 浩一, 湯澤 太郎, 橋本 重治, 松井 啓之, 幸島 明男, 兼田 敏之: エージェントに基づく仮想経済シミュレータの開発人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (2F1-10), 2001.
- 6) 佐藤 浩, 松井 啓之, 小野 功, 喜多 一, 寺野 隆雄, 出口 弘, 塩沢 由典: U-Mart: エージェントシミュレーションで経済を学ぶ 人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (3F1-11), 2001.
- 7) 山口 高平, 元田 浩, 寺野 隆雄, 鷲尾 隆, 斉藤 和巳, 津本 周作: Discovery of Communicable Knowledge 人工知能学会全国大会 (第 15 回) 論文集, p. (3B4-01), 2001.
- 8) 勝又勇治, 倉橋節也, 寺野隆雄: タブーリストを用いたベイジアン最適化アルゴリズムによる多峰性関数最適化. 情報処理学会 第 8 回 MPS (数理と問題解決) シンポジウム—進化的計算シンポジウム 2001—, 2001.
- 9) 寺野隆雄: 計算組織論とエージェントベースモデル. 社会・経済システム学会 第 20 回大会プログラム「システム論を問いなおす: システム論の新展開—主題と方法—」, 2001.11.10-11.

- 10) 寺野隆雄, 稲田政則: EBM とデータマイニング: 知識評価の観点から. 人工知能学会研究会資料 SIG-FAI/KBS-J-16(11/13), pp.97-102, 2001.
- 11) 高橋大志, 寺野隆雄: エージェントシミュレーションによる Prospect 理論と GARCH モデルの関連性の分析. 第 10 回マルチ・エージェントと協調計算ワークショップ (MACC2001) 2001.11.16-17.
- 12) 喜多一, 出口弘, 寺野隆雄: U-Mart: 経済学と工学をエージェントが結ぶ. 第 10 回マルチ・エージェントと協調計算ワークショップ (MACC2001) 2001.11.16-17.
- 13) 國上真章, 寺野隆雄: エージェント系としてのレプリケータダイナミクスとその制御. 第 10 回マルチ・エージェントと協調計算ワークショップ (MACC2001) 2001.11.16-17.
- 14) 稲田政則, 寺野隆雄: Evidence-Based Medicine とデータマイニング. 計測自動制御学会, システム・情報部門学術講演会 2001.11.29-30, 2001.
- 15) 喜多一, 出口弘, 寺野隆雄: オープン型人工市場 U-Mart: 構想, 成果, 展望. 電子情報通信学会技術研究報告, 人工知能と知識処理 (AI2001 - 58), pp.17-23, 2002.1.9.
- 16) 寺野隆雄, 出口弘: 社会科学におけるエージェント研究の動向と課題. 電子情報通信学会技術研究報告, 人工知能と知識処理 (AI2001 - 59), pp.25-32, 2002.1.9.
- 17) 寺野隆雄, 喜多一, 出口弘: U-Mart プロジェクト: 仮想市場とエージェントと経済学. 人工知能学会, 知識ベースシステム研究会 (第 55 回), pp.99-103, 2002.1.25.
- 18) 寺野隆雄: データマイニング: プロセスと結果を利用者に理解させる?. AI シンポジウム (第 17 回), 人工知能学会研究会資料. SIG-J-A103-11 (3/15), 2002.
- 19) 勝又勇治, 寺野隆雄: 多峰関数最適化むけ GA を用いた発電所設備最適化問題の解法 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.35-40, 2002.3.
- 20) 河合 (田上) 深雪, 寺野隆雄: 分類子システムを利用したクリックストリーム分析 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.69-73, 2002.3.
- 21) 谷岡日出男, 寺野隆雄: 時系列データマイニングのためのマルチイベントハザードモデル 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.87-92, 2002.3.
- 22) 倉橋節也, 寺野隆雄: 時系列情報に基づくプロセス応答モデル 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.93-98, 2002.3.
- 23) 高橋大志, 寺野隆雄: エージェントアプローチによる投資家の意思決定と資産価格変動の関連性の分析 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.137-142, 2002.3.
- 24) 橋浦恵美, 寺野隆雄: RFID と PDA を用いた個人向け情報管理ツール 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.143-146, 2002.3.
- 25) 稲田政則, 寺野隆雄: メタ学習を用いた医療データのマイニング戦略 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.253-258, 2002.3.
- 26) 國上真章, 寺野隆雄: 学習エージェント系における相互作用とその制御 第 29 回知能システムシンポジウム資料, pp.259-263, 2002.3.

(2) 学会活動

- 1) 計測自動制御学会: 知能工学部会委員, 論文誌編集委員
- 2) 日本機械学会: RC194 プラントエンジニアリングにおける知的統合システム化技術研究分科会委員
- 3) 社会情報学会: 学会誌編集委員

- 4) 電子情報通信学会：人工知能と知識処理研究会委員
- 5) PACIS2002(Pacific-Asian Conference on Information Systems) プログラム委員長
- 6) PRICAI2002(Pacific Asian International Conference on Artificial Intelligence) ローカルアレンジメント委員長
- 7) PAKDD2002(Pacific Asian Conference on Knowledge Discovery and Data mining) ステアリングコミッティ委員
- 8) 情報処理学会論文誌編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 特定研究費 (C) 「WEB コンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発」研究代表者
- 2) 基盤研究費 (B)(2) 「多主体複雑系に基づくエージェント社会モデルの構築と適用」研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻 社会コミュニケーション, 社会コミュニケーション
輪講

ビジネス科学研究科・企業科学専攻システムズ・マネジメントコース 分散知能論, システムズマ
ネジメント特別演習, システムズマネジメント講究

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻 専攻長

(3) 他大学における教育活動

- 1) 北陸先端科学技術大学大学院 知識科学研究科 客員教授
- 2) 東京工業大学 非常勤講師

土井 正幸

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “A Computable General Equilibrium Analysis of Efficiency Improvements at Japanese Ports,” Review of Urban & Regional Development Studies, Vol.13, No.3, November 2001, 123-142.
- 2) 「中国における荷主の港湾選択・国際物流行動 - 離散型選択モデル-」, 『交通学研究 2001 年研究年報』, 2002 年、通巻 45 号、pp.97-106。
- 3) 「中国における貿易自由化が経済と港湾システムに及ぼす影響 -CGE アプローチ-」, 『交通学研究 2001 年研究年報』 2002 年、通巻 45 号、pp.107-116。

ii) i) 以外の論文など

- 1) “A Role for Information Technology in the Japanese Economy: A CGE Analysis”、『平成13年度多目的統計データバンク年報』筑波大学社会工学系多目的統計データバンク報告書、No.78、2002年3月。

iii) 口頭発表

- 1) 日本交通学会研究発表大会発表
- 2) 環太平洋産業連関分析学会研究発表大会発表
- 3) 日本港湾経済学会研究発表大会発表
- 4) 応用地域学会研究発表大会発表

(2) 学会活動

- 1) 応用地域学会運営委員
- 2) 日本交通学会評議員、学会賞審査委員
- 3) 日本海運経済学会評議員
- 4) Managing Editor, Review of Urban and Regional Development Studies

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究(C)(2)、研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：地域経済学，地域科学演習 I，III

経営・政策科学研究科：地域経済学，交通経済政策論

システム情報工学研究科(社会システム工学専攻)：地域経済学特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学系、社会工学類の各運営委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 流通経済大学流通情報学部非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 茨城県港湾審議会委員
- 2) 国際協力事業団支援委員会委員
- 3) 国土交通省、日本港湾協会等、各種調査・研究委員会の座長・委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) Publications:

- 1) Nakamura, Yutaka (2001) Totally convex preferences for gambles. *Mathematical Social Science* 42, 295-305.

ii) Unpublished manuscripts:

- 1) Nakamura, Yutaka (2001) Semimetric thresholds for finite posets.
- 2) Nakamura, Yutaka (2001) Objective belief functions as induced measures

(2) 学会活動

- 1) Nakamura, Yutaka (2001) Representational developments for nonlinear preferences, presented at 日本心理学会第 65 回大会ワークショップ：非線形効用理論と心理学 (筑波国際会議場)
- 2) Nakamura, Yutaka (2002) Constructive aspects of non-expected utilities, presented at 認知的統計意思決定研究会 (東京大学)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 数理経済学、社会経済実習 (社会工学類)
- 2) 意思決定論 (経営・政策科学研究科)
- 3) 決定と不確実性特論 (システム情報工学研究科)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) カリキュラム委員 (社会工学類)
- 2) 研究計画委員長 (社会工学系)
- 3) カリキュラム委員委員長 (経営・政策科学研究科)
- 4) SCS 事業実施委員 (学群)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Wu, D.-A. and Hashimoto, A., A DEA-CP model for comprehensive ranking. *Inst. Policy & Plann. Sci. Discussion Pap. Ser. 979, Univ. Tsukuba, 2002.*

(2) 学会活動

査読 Journal of Global Optimization 誌

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：システム評価特論

経営・政策科学研究科：システム評価決定論，数理計画実習

社会工学類：意思決定分析，社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：人事懇談会運営委員，図書委員長

システム情報工学研究科 社会システム工学専攻 (社会工学研究科)：運営委員，論文審査委員，図書委員

経営・政策科学研究科：運営委員，予算委員長

社会工学類：入試実施委員長

(3) 他大学における教育活動

- 1) 図書館情報大学非常勤講師 数理計画法

藤原 良叔

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) R. Fuji-Hara, Y. Miao, J. Wang and J. Yin , Directed $B(K,1;v)$ with $K=4,5$ and $4,6$ Related to Deletion/Insertion-Correcting Codes, J of Combinatorial Designs 9, 147-156, (2001)
- 2) R. Fuji-Hara, Y. Miao and J. Yin , Optimal $(9v,4,1)$ - Optical Orthogonal Codes, SIAM J of Discrete Mathematics vol. 14, No.2 pp.256-266 (2001)

ii) 講演その他

- 1) Optimal Frequency Hopping Sequence : A combinatorial Approach 京都大学数理解析研究所研究集会
- 2) 直交配列の拡大について . 実験計画法とその周辺における組合せ的構造の解明と推測理論 研究集会
- 3) A new application of Combinatorial designs, 33th South eastern conference on Graph Theory, Combinatorics and Computing. Florida Atlantic University
- 4) Optimal Frequency Hopping Sequence, Woolongong University, Australia

(2) 学会活動

- 1) Foundation Fellow : Institute of Combinatorics and its Applications
- 2) Editorial Board : Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing, Winnipeg Canada
- 3) レフリーイング, AMS レビューイング, 研究集会座長等
- 4) 京都大学数理解析研究所研究集会「Code, Design, Graph and their link II」提案者

(3) 研究助成など

- 1) 受託研究「家電ネットワークの規格化に関する研究」
- 2) 科学研究費補助 (C)(2)「代数曲線を用いた組合せ的配列やブロック・デザインの構成に関する研究」
- 3) 科学研究費補助 (B 展開研究)(2)「デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 社工情報処理実習 3 , シミュレーション

社会工学研究科： 情報離散数学

経営政策研究科： 経営工学演習 II

古川 俊一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 審査付論文

- 1) 古川俊一「独立行政法人の制度設計」『公共政策研究』創刊号, pp. 166–178.
- 2) Furukawa, Shun'ichi and Hoshino, Yoshiaki, Knowledge-Based Governance by Performance Measurement, 『日本評価研究』(Japanese Journal of Evaluation Studies) Vol. 1 (2001), No. 2, pp. 13–27

ii) 著書

- 1) 古川俊一・北大路信郷『公共部門評価の理論と実際』日本加除出版社, 執筆分：まえがき, 1–2, 第1編理論編 (pp.1-131), pp.267–281, 291–294, 共同執筆, pp. 249–266 .
- 2) 恒松制治監修『新地方自治の論点』時事通信社, 執筆担当, pp. 121–124 .

iii) その他の論文

- 1) 「公共経営改革 比較分析」『公営企業』2001年6月号, pp. 77–85.
- 2) 「自治体行政評価の可能性と課題」『都市問題』7月号, pp. 3–16.
- 3) 「地方自治体の行政評価」『日本評価研究』1巻1号, pp. 25–37.
- 4) 「協働型社会と自治体評価」『地域政策 あすの三重』第2号, 8月, pp.12–19.

- 5) 「評価をめぐる10の論争的仮説と組織理論的接近」『都市問題研究』10月号, pp. 16-29.
- 6) 「民営化」『公営企業』2月号, pp. 54-63.
- 7) Potentialities and Challenges for Public Sector Evaluation in Local Authorities. Local Government Review. No. 29 (2001), pp. 41-57, Japan Center for Local Autonomy
- 8) 「公共部門改革に見る国際比較-国際ワークショップから-」『ECO-FORUM』Vol. 20, No. 4, pp. 26-29.

(2) 学会活動

学会報告:

- 1) 「政府間財政関係の現実と改革課題」日本地方財政学会, 大阪市立大学, 2001年6月2日, 『日本地方財政学会第9回大会報告要旨』pp. 11-14
- 2) “Electronic Governance in Japan: Implications for Politicians and Public Servants A paper for the Panel on ‘Electronics Governance’”, At the Twenty-fifth International Congress of Administrative Sciences of the International Institute of Administrative Sciences, Athens, Greece, 9-13 July 2001, 24p.
- 3) 「公共部門改革の中の評価」, 日本評価学会第2回全国大会, 玉川大学, 2001年9月8日
- 4) Non Profit Organizations and Knowledge-Based Governance: Performance Measurement and Community, a Paper presented for the Second International Society for Third-Sector Research Asia and Pacific Regional Conference: the Role of Volunteering and the Third Sector in Building Stronger Communities, 26-28 October 2001, Osaka, Japan, 21p.
- 5) 「公共部門とNPOの経営の共通性と課題」日本NPO学会, 明治大学創立120周年記念NPO国際シンポジウム, 明治大学, 2002年3月9日

報告書:

- 1) 『行政評価導入上の悩みと解決策-地方公共団体における行政評価についての研究会報告書-』(座長, 共著) 自治省行政局行政体制整備室, 2001年4月.
- 2) 『行政評価指標設定の実際と考え方-地方公共団体における行政評価についての研究会報告書-』(座長, 共著) 自治省行政局行政体制整備室, 2002年3月.

(3) 学会活動

- 1) 日本評価学会学会誌常任編集委員
- 2) 日本公会計学会常務理事
- 3) レフェリー (日本公共政策学会年報, International Review of Administrative Sciences)
- 4) 日本公共政策学会企画委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 比較行政システム特論

社会工学研究科: 比較行政論特講

国際政治経済学研究科：比較行政論特講

経営・政策科学研究科：地方行財政論，行政学，公共政策評価論

社会工学類：地方行財政論，社会システム論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類入試実施委員
- 2) 経営・政策科学研究科入試実施委員(委員長),
- 3) 就職委員会委員, 同公務員関係小委員長

(3) 他大学における教育活動

- 1) 慶應大学法学部(行政管理論, 地方自治論)
- 2) 学習院大学法学部(特殊講義)

III. 社会的活動

- 1) 総務省「行政評価研究会」委員(座長)
- 2) 同「地方行政 NPM 導入研究会」委員
- 3) 同消防庁「消防組織のあり方に関する研究会」委員
- 4) 杉並区行政評価検討委員会委員(会長)
- 5) 茨城県「公共事業再評価委員会」委員
- 6) 自治省自治大学校講義(監査委員事務局職員)

星野 靖雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Shareholders’ Wealth, Bank Control, and Large Shareholders: An Analysis of Japanese Mergers”, Japan Journal of Finance, Vol.21 No.2, 2001, pp.150-166, with Yeh Tsung-ming
- 2) “Productivity and Operating Performance of Japanese Merging Firms: Keiretsu-related and Independent Mergers”, Japan and the World Economy, Vol.14, Issue 3, 2002, pp.347-366, with Yeh Tsung-ming.
- 3) “Entry Mode Choice of the Japanese MNEs in Europe: Impact of Firm and Industrial Factors” The Japanese Journal of Administrative Science, Vol.15 No.3, 2002, pp.231-247, with Mourad Mansour.
- 4) 「株時価総額への有価証券と退職給付債務の影響」、東京家政学院筑波女子大学紀要第6集, 2002年3月、pp.123-133, (林健次と共著)

(2) 学会活動

- 1) 経営行動科学学会研究担当理事 兼「経営行動科学」編集長

- 2) The Japanese Economy 誌の諮問委員会の委員として編集活動にあたった。
- 3) Journal of Financial Management and Analysis: International Review of Finance, Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies の編集委員会の委員として編集活動にあたった。
- 4) 同上誌および Academy of International Business のレフェリーを行った。
- 5) 国際ビジネス研究学会幹事

(3) その他

- 1) 平成 14 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2)) 「国際的買収、合併、合弁、全額出資の経営効果についての実証的研究」を実施した。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：経営管理論 日本の経済・経営

経営・政策科学研究科：経営管理論

ビジネス科学研究科：経営学特論

システム情報工学研究科：経営管理特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類予算委員
- 2) 社会工学系教育機器センター運営委員
- 3) 経営政策科学研究科図書委員
- 4) 社会工学系予算委員長

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京家政学院筑波女子大学国際学部国際ビジネス論・短期大学部経営学総論担当非常勤講師
- 2) 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営戦略論担当非常勤講師
- 3) 法政大学社会科学部経営学専攻国際経営論担当非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) COFIS(Community Financial Service) 研究会委員
- 2) 茨城県立竹園高等学校 PTA 会長

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 上田真, 松尾博文, インターネットを用いたビジネスモデル特許の一分類法, 経営情報学会誌, Vol. 10, No. 3, 71-84, 2001.

ii) その他

- 1) 松尾博文, サプライチェーンマネジメントにおけるリスク管理, 第18回産業システムシンポジウム「産業におけるリスクを制御する」, 東京, 計測自動制御学会産業応用部門, 1-5, 2001.
- 2) 松尾博文, SCMにおけるスケジューリング, スケジューリング・シンポジウム2001講演論文集, スケジューリング学会, 11-16, 2001.
- 3) 松尾博文, 香田正人, ビジネスモデル, 経営情報学会誌, Vol. 10, No.3, 1-2, 2001.
- 4) 松尾博文, ビジネスモデルの本質: SCMとサービスコンセプト, 情報処理学会連続セミナー2001「21世紀のネットサービス社会」第5回E-マーケットプレース, 東京, 43-44, 2002.

iii) 査読なしの口頭発表, 学会による招待講演など

- 1) 松尾博文, スケジューリングとSCM, 招待講演, 先進的スケジューリング研究会第2回研究会, OR学会関西支部及びスケジューリング学会, 大阪, 2001年7月.
- 2) 松尾博文, サプライチェーンマネジメントにおけるリスク管理, 基調講演, 第18回産業システムシンポジウム「産業におけるリスクを制御する」, 東京, 計測自動制御学会産業応用部門, 1-5, 2001年9月.
- 3) 松尾博文, SCMにおけるスケジューリング, チュートリアルセッション, スケジューリング・シンポジウム2001, 札幌, スケジューリング学会, 11-16, 2001年10月.
- 4) 松尾博文, ビジネスモデルの本質: SCMとサービスコンセプト, 招待講演, 情報処理学会連続セミナー2001「21世紀のネットサービス社会」第5回E-マーケットプレース, 東京, 43-44, 2002年1月.

(2) 学会活動

- 1) Area Editor, Production and Operations Management
- 2) Editorial Board, Manufacturing and Service Operations Management
- 3) Editorial Board, ECR Journal - International Commerce Review
- 4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会「統合オペレーション」特別研究プロジェクト「戦略・マネージメント」研究グループ運営委員
- 5) Co-Guest Editor, 経営情報学会「ビジネスモデル特集号」
- 6) Co-Organizer, 情報処理学会連続セミナー - 2001「21世紀のネットサービス社会」第5回E-マーケットプレース, 東京, 43-44, 2002年1月.

- 7) 学内特別助成研究 (S) の活動として、ビジネスモデルの研究開発に関する産官学の研究会として、筑波大学ビジネスモデルプロジェクト (UTBUMP, 代表者 松尾博文) を運営する。

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤研究 (C)(2) ”サプライチェーンにおける顧客情報に基づく在庫管理システムの構築,” 研究代表者
- 2) 共同研究 (A) “石油化学産業のサプライチェーンマネジメントとビジネスモデル構築方法論に関する研究,” 三菱化学株式会社、研究代表者
- 3) 奨学寄付金、”e コミュニティ - に関する研究”、日立製作所システム開発研究所
- 4) 学内特別助成研究 (S) ”高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発と研究,” 研究代表者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：経営工学概論

経営・政策科学研究科筑波地区：生産流通戦略論、経営演習 II

社会工学研究科：生産流通情報システム特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 計量ファイナンス・マネジメント専攻長
- 2) 経営・政策科学研究科 MBA コース担当

(3) 他大学における教育活動

- 1) 大学 (部局) 間交流協定締結校連絡調整責任者：ウィーン経済・経営大学、ザンクト・ガレン大学

III. 社会的活動

- 1) 研究開発指導，日立製作所
- 2) 招待講演，”インターネットのビジネスモデル”，平成 13 年度第 4 回「次世代経営システム工学研究会」，社団法人システム総合研究所，平成 12 年 2 月。

松田 紀之

I. 研究活動

(1) 学会活動

- 1) MATSUDA, N. & SHIBASAKI, A. (2001). A US-Japan Comparison of Medical Risk Perception: Covariance Structure Analysis. 日本心理学会第 65 会大会．つくば．

(2) 研究助成など

- 1) 消費者の無糖茶評価 / 購入決定支援システムの開発 (サントリー (株) 委託研究) .

(3) その他

- 1) 筑波大学「感性評価構造モデル構築特別プロジェクト」運営委員 (1997.4.1-2002.3.31)

II. 教育・業務活動

(1) 役職・各種委員会委員

- 1) 修士課程経営・政策科学研究科々長 (2000.4.1-2002.3.31)

III. 社会的活動

- 1) 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 1999.1-2002.12
海外学術調査人文社会科学系小委員会

松本 正雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 千葉昌幸、松本正雄：情報資産分布を活用したセキュリティ対策実施計画モデルの提案、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報、Vol.101, No.4, ISSN 0913-5685, pp.33-40, 2001
- 2) 岩田祐一、松本正雄：ネットビジネス成長期における投資対効果の考察 (Survey on ROI at the growing stage of "Net Business")、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報、Vol.101, No.4, ISSN 0913-5685, pp.49-56, 2001
- 3) Shinkawa, Y., Matsumoto, M.J.: Composing Collaborative Component Systems Using Colored Petri Nets, IEICE Trans. Fundamentals, Vol. E84-A, No.5, pp.1209-1217 2001
- 4) 伊藤伸、松本正雄：技術移転機関を活用した産学連携活性度の研究、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.347, ISSN 0913-5685, pp.1-8, 2001
- 5) 志垣道代、松本正雄：ローカリゼーション業務の改善と翻訳の品質メトリックス、電子情報通信学会技術研究報告、
- 6) ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.347, ISSN 0913-5685, pp.9-16, 2001
- 7) 小山洋明、松本正雄：bolero.net に見る貿易金融 EDI ビジネスモデルとその普及方策、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.347, ISSN 0913-5685, pp.25-PP.32, 2001
- 8) 渡井祥一、松本正雄：金融 B2B ネットワーク再価値化の欧米モデル比較、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.347, ISSN 0913-5685, pp.33-PP.40, 2001

- 9) 高尾みどり、松本正雄：事例に基づく e ビジネスモデル化価値評価の考察、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.546, ISSN 0913-5685, pp.17-24, 2002
- 10) 鴨川隆明、松本正雄：ビジネスプロセスモデルの類型化と進化の方向性、電子情報通信学会技術研究報告、ソフトウェアインタプライズモデリング、信学技報 Vol.101, No.546, ISSN 0913-5685, pp.33-40, 2002
- 11) Yoshiyuki Shinkawa, Masao J. Matsumoto: State-Sensitive Design of Database Transactions, Proceedings of International Conference on Enterprise Information, April 2002
- 12) Takaaki Kamogawa, Masao J. Matsumoto: A Study of Business Process Architecture Model toward the next generation in E-Business, Proceedings of International Conference on Enterprise Information, April 2002
- 13) Masao J. Matsumoto: Problems and Promises for e-business, Panel session position paper, Proceedings of International Conference on Enterprise Information Systems, April 2002
- 14) Yoshiyuki Shinkawa, Masao J. Matsumoto: An Information System View of Consistency and Integrity in Enterprise Operations, in (ed.) Joaquim Filipe et al Enterprise Information Systems III, Kluwer Academic Publishers ISBN 1-4020-0563-6, 2002
- 15) Masao Johannes Matsumoto: Methodological Gap of e-business Architecture Modelling, pp. 332-337, Proc. of the 5th International Conference on Business Information Systems BIS-2002, (ed.) Witold Abramowicz, ISBN 83-916842-0-2, 2002

ii) その他

- 1) Masao J. Matsumoto: An Informatics-based Description Method of Business Architecture, 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ大会講演論文集、PP.280, 2001年9月
- 2) 新川芳行 (Yoshiyuki Shinkawa), 松本正雄 (Masao Matsumoto): B2B Internet Transactions, 電子情報通信学会情報・システムソサイエティ大会講演論文集、PP.281, 2001年9月
- 3) 松本正雄：21世紀技術の展望～ソフトウェアインタプライズモデリング～ITと経営の相乗改革系モデルの研究、電子情報通信学会、情報・システムソサイエティ誌、第5巻第4号 (通巻21号)、pp.11, 2002

(2) 学会活動

i) 学会誌編集委員

- 1) 米国IEEE (Institute of Electrical, Electronics Engineering) Software, Industrial Editorial Board Committee 委員
- 2) 電子情報通信学会論文誌特集号企業モデリング編集委員長
- 3) 電子情報通信学会 SWIM 研究専門委員会論文査読委員
- 4) 電子情報通信学会研究専門委員長ソフトウェアインタプライズモデリング

ii) レフェリー、国際会議プログラム委員

- 1) International Conference on Software Reuse 論文査読委員 (Program Committee Member)
- 2) International Conference on Enterprise Information Systems 論文査読委員 (Senior Program Committee Member)

(3) 研究助成など

- 1) 受託研究“産業分野におけるソフトウェア品質についての研究”、NECソリューションズ株式会社
- 2) 受託研究“インタープライズモデリングに関する研究”、NTTソフトウェア

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：大塚地区 システムズエンジニアリング、企業情報戦略、エンタプライズモデリング、ソフトウェア工学、ソリューション工学、トップマネジメント 세미나、システムズマネジメント講究 II-VII、システムズマネジメント特講 I、経営システム科学特別研究 I-V、経営システム科学特別演習、ソフトウェア工学輪講 I,II

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 博士入試委員会委員
- 2) 修士入試委員会委員
- 3) 選挙管理委員会委員
- 4) 博士学位審査専門委員会委員
- 5) 修士学位審査専門委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師 東京農工大学工学部

III. 社会的活動

- 1) 宇宙開発事業団高度情報化委員会委員

宮越 龍義

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「金融・証券システムの革新」p.1-217, 共著(伊藤孝司, 宮越龍義, 森映雄, 鈴木満直), 担当部分第2章「金融機関」p.59-116, 2002年3月, 勁草書房
- 2) ARCH versus Information-Based Variances: Evidence from the Tokyo Stock Market, forthcoming to Japan and the World Economy, 単著
- 3) The Efficacy of Job-Sharing Policy, Applied Economics Letters Vol.8: 437-439, 単著
- 4) Real Exchange Rate Determination: Empirical Observations from East-Asian Countries, forthcoming to Empirical Economics, 単著

(2) 学会活動

- 1) Disparity of Regional Banking Performance, 2001年金融学会秋季大会, 共著

- 2) Regional Growth and Regional Financial Intermediation: Evidence at the Japanese prefectural level, 2001 年応用地域学会第 15 回大会, 単著
- 3) Regional Disparities of the Japanese Banking Performance, The 10th Conference On the Theories and Practices of Securities and Financial Markets, December 2001 (Kaohsiung, Taiwan), 共著

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費基盤研究 (C)-(2) 「日本金融不況の実態・評価・課題」

II. 教育・業務活動 (新潟大学にて)

(1) 担当講義

- 1) 「金融論 I」(経済学部昼間コース)
- 2) 「演習 I」・「演習 II」(経済学部)
- 3) 「金融論 I」(経済学部夜間コース)
- 4) 「文献研究」(経済学部夜間コース)
- 5) 「現代金融研究」(大学院経済学研究科)
- 6) 「現代金融演習」(大学院経済学研究科)
- 7) 「貨幣と現代の金融」(大学院現代社会文化研究科)

III. 社会的活動

- 1) 財団法人ベンチャーエンタープライズセンターのワーキンググループ委員

門田 安弘

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書

- 1) 「管理会計-戦略的ファイナンスと分権的組織管理-」税務経理協会、2001 年 10 月(単著)

ii) 査読付き論文

- 1) “Just-in-Time and Kanban Scheduling” Chapter 9.4 of Kjell B. Zandin (ed.) *Maynard's Industrial Engineering Handbook*, Fifth edition, McGraw-Hill, 2001. pp.9.63-9.86.(筆頭; Coauthored with Henry Aigbedo)
- 2) “An Empirical Study on Simultaneous Achievement of Quality, Cost and Timing in Product Development” In: *International Journal of Manufacturing Technology and Management*, Volume 4, Nos. 1/2 2002. pp.1-20. (Co-authored with Hoque, M.)

iii) その他の論文

- 1) TOC と JIT の比較-TOC のオリジナリティはなにか-, 「企業会計」Vol.53 No.11, 2001 年 11 月号 pp.22-30.
- 2) 事業評価と管理者評価に日本の特色を盛り込もう、「M&A 専門誌/マール」通巻 88 号、2002 年 2 月号、p.6.

iv) 国際研究交流等

- 1) 2002年3月15～21日に、ニューヨーク市近郊の Pace University 経営学部の John Y. Lee 教授とともに、管理会計の事業評価・管理者評価の問題、およびバランスト・スコアカードの日本的適用について研究打ち合わせを行なった。また2003年5月開催の Advances in Management Accounting Conference (Monterey Peninsula の大会) について打ち合わせした。

(2) 学会活動

- 1) 2001年6月30日(土):日本管理会計学会フォーラム(立命館大学)にて常務理事会に出席。
- 2) 2001年9月6日(木)～8日(土):日本原価計算研究学会第27回大会(青森公立大学)に出席。理事会に出席、また7日に1セッションを司会した。
- 3) 2001年9月19日(水)～22日(土):日本会計研究学会第60回大会(大阪学院大学)に出席。9/22には座長として1セッションを司会した。
- 4) 2001年10月27日(土)～28日(月):日本管理会計学会2001年度大会(東北大学)に出席した。
- 5) 日本管理会計学会の下記の活動に従事した。
 - 「組織構造と管理会計」研究部会(構成員24名)を主宰し、4月8日、6月30日、9月22～23日、3月9日と4回の研究会をもった。
 - 学会の企業調査研究プロジェクトの「総括委員会」委員長
 - 「組織構造デザイン」専門委員会委員長として、6月に質問票調査「企業内外の分散化組織の業績管理に関する調査」を、10月に質問票調査「事業部・社内分社・分社に関する分権的システムの調査」を実施した。
 - 学会誌『管理会計学』の編集委員長として、その Vol.10 No.1 と Vol.10 No.2 を編集・刊行した。
- 6) Encyclopedia of Production and Manufacturing Management (Kluwer Academic Publishers, 2000) の翻訳のために、黒田 充・門田安弘・森戸 晋監訳「生産・製造管理大辞典」(朝倉書店)を企画し、会計学・製造業の経営・人事の3分野に分担翻訳者を割当てた。
- 7) スケジュールリング学会理事(2001年9月～現在)

(3) 研究助成など

- 1) 平成13年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(1)「組織構造のデザインに対応した業績評価会計システムの開発に関する研究」(課題番号12553002)研究代表者(本研究は、研究代表者の他に、12名の研究分担者を含む共同研究プロジェクトである。3か年にわたる研究の第2年度)
- 2) 平成13年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)「連結企業集団における事業組織再編のための管理会計システムの実証研究」(課題番号12430030)研究代表者(3か年にわたる研究の第2年度)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類: 会計学概論(2単位)、経営計画(2単位)

経営・政策科学研究科：管理会計学(2単位)

システム情報工学研究科：経営計画理論特論(2単位)

ビジネス科学研究科企業科学専攻：生産管理論(1単位)

研究指導：博士課程2人、修士課程3人、学類1人

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) システム情報工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻 論文審査委員
- 2) 社会工学系 総務委員会委員長
- 3) 経営・政策科学研究科広報委員会委員長

(3) 他大学における教育活動

- 1) 京都大学経済学部・経済学研究科共通科目、「組織管理と会計」(2単位)
- 2) 創価大学経営学部、担当科目「特殊講義E」「特殊講義F」(各2単位)、3年次演習(ゼミ)
「経営管理研究」(通年4単位)

III. 社会的活動

- 1) 平成13年度公認会計士試験第2次試験委員として短答式および論述式問題の作成に従事した。(2000年11月～2001年10月)。
- 2) 平成14年度公認会計士試験第2次試験委員に従事(2001年11月14日～現在)。

山田 直志

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Hospital Services under a National Health Insurance System: Transition from a Fee-for-service to a Capitation System,” in *The Economics of Health Care in Asian-Pacific Countries*, 2002, pp. 213-238, Eds. Teh-Wei Hu and Chee-Ruey Hsieh, Edward Elgar Publishing, U.K., (Tetsuji Yamada, Tadashi Yamada, Seiritsu Ogura and Reiko Suzuki).
- 2) “Medical Services and Imperfect Information in Japan,” *International Political Economy*, Vol.8, October 2001, pp.1-19 (Tetsuji Yamada, Tadashi Yamada, Chang Gun Kim, Haruko Noguchi, and I-Ming Chiu).

ii) その他

- 1) “Changing Health Care Policies in Japan: Implications for Income, Education and Health Inequality,” the International Health Economic Association, 3rd International Conference, University of York, United Kingdom, July 2001.

(2) 学会活動

- 1) 国立社会保障・人口問題研究所 論文査読
- 2) 日本労働研究機構 論文査読

(3) 研究助成など

- 1) 科研費：基盤研究(C) 研究課題名：高齢者医療の部分的定額制導入と医療セクター及びマクロ経済システムへの影響

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

学類：ミクロ経済学入門、人的資源論、国際学ゼミナール I・II

研究科：応用ミクロ経済学、応用ミクロ経済学演習

(2) 役職・各種委員会委員

学系：施設委員

大学：就職委員会委員

III. 社会的活動

- 1) (財)統計研究会労働市場委員会委員

山本 芳嗣

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Y. Yamamoto “Optimization over the efficient set - Overview -,” Journal of Global Optimization 22 (2002) 285-317.

ii) ディスカッションペーパー等

- 1) M. Shigeno, I. Takahashi and Y. Yamamoto, “Minimum maximal flow problem – An optimization over the efficient set –,” The Institute of Statistical Mathematics Cooperative Research Report 148 (2002) 56–68.
- 2) K. Ando, A. Ohara and Y. Yamamoto, “Possibility theorem for mutual evaluation,” Discussion Paper 960, University of Tsukuba (December 2001)
- 3) A.J.J. Talman and Y. Yamamoto, “Continuum of zero points of a mapping on a compact, convex set,” Discussion Paper 944, University of Tsukuba; CentER Discussion paper series Nr.2001-56, Tilburg University, The Netherlands (August 2001).
- 4) J. Gotoh, N.v. Thoai and Y. Yamamoto, “Global optimization method for solving the minimum maximal flow problem,” Discussion Paper 928, University of Tsukuba (May 2001).

iii) 口頭発表、招待講演

- 1) July 2001, 20th International Federation for Information Processing TC7 Conference on System Modelling and Optimization, University of Trier, Germany, “Minimum maximal flow problem: an optimization over the efficient set”

- 2) May 2001, Seminar on Algorithms and Optimization, University of Tsukuba, Tsukuba, “Minimum maximal flow problem: an global optimization problem”

(2) 学会活動

- 1) Optimization and Engineering 編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：経営工学概論、自由演習、計算機科学

システム情報工学研究科：数理計画特論 1、数理計画特論 2

経営・政策科学研究科：数学 2、数理計画

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系 運営委員

経営・政策科学研究科 コース担当委員

社会工学類 広報委員

吉澤 正

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 吉澤正監修 (株)リコー社会環境本部編 (2001)：リコーにおける環境マネジメントの実際，企業における環境マネジメントシリーズ 8，日科技連出版．
- 2) 吉澤正 (2001)：プロジェクトマネジメントと品質機能展開，プロジェクトマネジメント学会誌、Vol.3，No.4，pp.14-18．

ii) その他

- 1) 吉澤正 (2001):ISO14001 と企業における環境マネジメント .FRAGRANCE JOURNAL,2001-6, pp.25-30.
- 2) 吉澤正 (2001)：21 世紀を迎えた環境 ISO．標準化と品質管理，Vol.54, No.6, pp.57-60.
- 3) 吉澤正 (2002)：ISO14000 は本当に役立っているのか (1)–環境 ISO の普及戦略．クオリティマネジメント，2002-1, pp.67-71.
- 4) 吉澤正 (2002)：ISO14000 は本当に役立っているのか (2) 環境 ISO の活用戦略．クオリティマネジメント，2002-2, pp.66-69.

(2) 学会活動

- 1) プロジェクトマネジメント国際会議プログラム委員長

(3) その他

- 1) 日経品質管理文献賞 (ISO14000 環境マネジメント便覧の編集執筆)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程 ビジネス科学研究科 (経営・政策科学研究科：大塚地区) 企業科学専攻：品質経営総論，環境経営論，システムズ・マネジメント特別演習，同講究 I-VI

修士課程 ビジネス科学研究科 (経営・政策科学研究科：大塚地区) 経営システム科学専攻：データ解析，プロジェクトマネジメント，クオリティマネジメント，環境・社会マネジメントシステム，環境・社会マネジメントシステム輪講 I-III，プロジェクトマネジメント研究 I-VI

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 図書委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 中央大学非常勤講師
- 2) 上智大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省日本工業標準調査会適合性評価部会臨時委員
- 2) 環境管理規格審議委員会副委員長
- 3) 日本適合性認定協会環境部会委員長
- 4) 日本統計協会理事
- 5) 全国統計連合会理事、ほか

吉田 あつし

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 遠藤秀樹、吉田あつし、「家族の同居・別居選択と訪問介護サービス需要」、『季刊 社会保障研究』、2001年、第37巻号3号
- 2) Yoshida, A. and S. Takagi, "Effects of the Reform of Social Medical Insurance System in Japan," The Japanese Economic Review, 2002.
- 3) 吉田あつし、福地純一郎、「平均分散モデルにおける最適ポートフォリオのリスク推定」、『ジャフィー・ジャーナル』(日本金融計量・工学学会) 2002年
- 4) 吉田あつし、井田知也、「地域間交易と比較優位」、『応用地域学研究』、2002年、第7号
- 5) Yoshida, A. and T. Shichijo, "Estimating a Housing Demand Function with a Cluster-Effects Model," Far Eastern Meeting of Econometric Society, Kobe, 2001

ii) その他

- 1) 吉田あつし、「老人医療費の1割自己負担化に伴う医療サービス需要・供給の変化」、医療経済研究機構報告書.
- 2) 吉田あつし、金栄淑「アンケート結果から見た介護サービス需要の分析」、医療経済研究機構委託研究報告書.

(2) 学会活動

- 1) Asian Economic Journal, Journal of Urban Economics, International Economic Review, 経済研究、Review of Urban & Regional Development Studies, 電力経済研究、応用地域学研究のレフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト：「標準雇用大都市圏 (SMEA) を用いた大都市圏の生産性、成長と集積の経済の分析」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市経済学特論

経営・政策科学研究科：都市経済学

社会工学類：都市経済学

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) コンピュータ委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 京都大学経済研究所（併任）

III. 社会的活動

- 1) 医療経済研究機構：「介護保険導入や一部負担金見直しに伴う受療行動等の変化に関する研究」研究会座長

吉田 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 勝野聡，山崎克之，飯作俊一，浅見徹，菅内公德，常弘敦，吉田健一，榎本博道 高速・高精度 IP メータの試作信学技報 Vol.101, No.186,pp.67-73 (2001. 7)

(2) 学会活動

- 1) SAINT2002 Publicity Chair
- 2) 情報処理学会 高品質インターネット研究会 幹事
- 3) 電子情報通信学会 情報・システム ソサイエティ インターネット時限研究専門委員会 幹事

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 平成 13 年 4 月～平成 13 年 9 月 日本大学工学部 (非常勤講師) 『最先端情報・通信工学特論』

III. 社会的活動

- 1) 平成 13 年 4 月～平成 13 年 12 月 (財) 情報処理相互運用技術協会 (INTAP) インターネット調査委員会 委員

吉田 雅敏

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Intergenerational Pigouvian Tax Systems, Japanese Economic Review, Vol.53, No.2, June, 2002.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー: Japanese Economic Review, Journal of the Japanese and International Economies, Journal of Public Economic Theory, Journal of Economics

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

学類：経済原論、マクロ経済学、財政学

修士課程：財政学特論

博士課程：財政システム特論

(2) 役職・各種委員会委員

学類：運営委員

学系：施設委員

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省 国土交通大学校にて「現代財政事情」というタイトルで講演

イリチュ(佐藤) 美佳

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) M. Sato-Ilic, Fuzzy Cluster Loading for 3-way Data, 6th Online World Conference on Soft Computing in Industrial Applications, 2001.
- 2) M. Sato-Ilic, On Clustering based on Homogeneity, Joint 9th IFSA World Congress and 20th NAFIPS International Conference, pp. 2505-2510, 2001.
- 3) M. Sato-Ilic, Homogeneity Measure for an Asymmetric Fuzzy Clustering Result, The Third International Conference Intelligent Processing and Manufacturing of Materials, 2001.
- 4) S. Tatsunami, R. Kuwahara, T. Hiroi, H. Matsui, K. Fukutake, J. Mimaya, K. Yamada, M. Sato, Survival and Viral Load in Four Groups of HIV-1 Infected Hemophiliacs Compared by Three-way Data Clustering, The 10th World Congress on Medical Informatics, pp. 557-560, 2001.
- 5) 佐藤美佳, 動的データに対するファジィクラスタリング評価指標, 第 69 回日本統計学会講演報告集, pp. 229-230, 2001.
- 6) 佐藤美佳, ファジィクラスタリングの評価基準について, On Evaluation of Fuzzy Clustering, 第 17 回ファジィシンポジウム講演論文集, pp. 587-588, 2001.
- 7) M. Sato-Ilic, Fuzzy Clustering and the Interpretation of Fuzzy Clusters, 平成 13 年度科学研究費基盤研究 (B)「統計的領域推定とそれに関連する手法の開発とその応用」シンポジウム講演予稿集, pp. 109-118, 2001.
- 8) M. Sato-Ilic, Fuzzy Cluster Loadings for Weighted Regression Analysis, 第 18 回日本分類学会研究報告予稿集, pp. 71-78, 2001.
- 9) 松岡孝, 佐藤美佳, 地理的重み付き重回帰分析におけるファジィクラスタリングを用いた重み推定, 第 18 回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 5-8, 2002.
- 10) 豊田智隆, 佐藤美佳, バイプロットの視覚表現を用いたファジィクラスタリング評価, 第 18 回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 9-12, 2002.
- 11) 山本真吾, 佐藤美佳, ファジィ推論におけるルール数の減少法, 第 18 回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 21-24, 2002.
- 12) 河村允誉, 佐藤美佳, 意志決定モデルにおける Aggregation Operator, 第 18 回ファジィワークショップ講演論文集, pp. 45-48, 2002.

(2) 学会活動

- 1) 日本計算機統計学会広報理事
- 2) 日本分類学会運営委員
- 3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 IAOR 委員
- 4) 日本ファジィ学会関東支部幹事
- 5) IEEE Transaction on Fuzzy Systems, レフェリー
- 6) International Journal of Uncertainty, Fuzziness and Knowledge-Based Systems, レフ

エリー

- 7) The 5th World Multi-conference on Systems, Cybernetics and Informatics, レフェリー
- 8) 日本ファジィ学会誌, レフェリー
- 9) 計算機統計学, レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費 (奨励 A) 「不確実性情報を考慮したデータの分類手法に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：経営工学実習, 数理統計学

経営・政策科学研究科:筑波地区：多変量解析実習, シミュレーション実習

システム情報工学研究科：ソフトデータ解析

(2) 役職・各種委員会委員

経営, 政策科学研究科：入試委員会委員

社会工学類：学生担当教官

大澤 幸生

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 大澤幸生, 高間康史: Web に潜む創造的意思決定のチャンス, 人工知能学会誌 Vol.16, No.4 530-534(2001)
- 2) Yukio Ohsawa: Chance Discoveries for Making Decisions in Complex Real World, New Generation Computing (Springer Verlag and Ohmsha), Vol.20 No.2 (2002)
- 3) Wataru Sunayama, Yuji Nomura, Yukio Ohsawa and Masahiko Yachida: Support System for User Interests Expression on Searching Web Page, Systems and Computer in Japan Vol.32, No.13, 14-22(2001)
- 4) Nagib Callaos, Yukio Ohsawa, Yiging Zhang, Raisa Szabo, and Marianella Aveledo, eds., World Multiconference on Systemics, Cybernetics, and Informatics Proceedings Volume VIII (2001)
- 5) Yukio Ohsawa, Discovery of Chances Underlying Real Data, Progress in Discovery Science (LNAI 2281), eds., Arikawa, S., pp.168 - 177 Springer Verlag (2002)
- 6) Takao Terano, Toyoaki Nishida, Akira Namatame, Syusaku Tsumoto, Yukio Ohsawa, and Takashi Washio, eds., New Frontiers in Artificial Intelligence, Joint JSAI2001 Workshops Post-Proceedings LNAI2253, Springer Verlag (2001)
- 7) Yukio Ohsawa, The Scope of Chance Discovery, New Frontiers in Artificial Intelligence, LNAI2253, Takao Terano, et al eds., Springer Verlag, pp.413(2001)

- 8) Naohiro Matsumura, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, Chapter 59: Future Directions of Communities on the Web New Frontiers in Artificial Intelligence, LNAI2253, Takao Terano, et al eds., Springer Verlag, pp.435-442(2001)
- 9) Yukio Ohsawa and Yumiko Nara, Chapter 66: Action Proposals as Discovery of Context (An Application to Family Risk Management) New Frontiers in Artificial Intelligence, LNAI2253, Takao Terano, et al eds., Springer Verlag, pp.481-485 (2001)
- 10) Yutaka Matsuo and Yukio Ohsawa, Chapter 60: A Document as a Small World New Frontiers in Artificial Intelligence, LNAI2253, Takao Terano, et al eds., Springer Verlag, pp.444-448 (2001)
- 11) Seiji Yamada and Yukio Ohsawa, Information Gathering of Web pages to Guide Concept Understanding Posters Proc. the World Wide Web Conference (WWW10) Hong Kong, (May 2001)
- 12) Yukio Ohsawa, Naohiro Matsumura and Mitsuru Ishizuka Discovering Topics to Enhance Communities' Creation from Links to the Future, Posters Proc. the World Wide Web Conference (WWW10) Hong Kong, (May 2001)
- 13) Naohiro Matsumura and Yukio Ohsawa, Future Directions of Communities on the Web, The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial IntelligenceMatsue, Japan (May 2001)
- 14) Hiroshi Taira, Yasuhiro Sakata, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, AreaView2001: A new WWW organization system with KeyGraph Technology The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial IntelligenceMatsue, Japan (May 2001)
- 15) Yutaka Matsuo and Yukio Ohsawa, A Document as a Small World, The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial IntelligenceMatsue, Japan (May 2001)
- 16) Yumiko Nara and Yukio Ohsawa, A Method for Discovering Seeds of Consensus Applied to Family Risk Perceptions The First Workshop on Chance Discoveries, Japanese Society of Artificial IntelligenceMatsue, Japan (May 2001)
- 17) Yutaka Matsuo, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, Small-World as Asserting Structure of Document, Proc. The Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001), Orland, Florida USA (August 2001)
- 18) Naohiro Matsumura, Yukio Ohsawa and Mitsuru Ishizuka, Future Directions of Communities on the Web, Proc. The Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001), Orland, Florida USA (August 2001)
- 19) Yukio Ohsawa and Yumiko Nara, Family Perceptions of Risks and Opportunities - Results from Questionnaires to Citizens -, The Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001), Orland, Florida USA (August 2001)
- 20) Yumiko Nara and Yukio Ohsawa, Family Affection to Children Visualized on the Co-occurring of Questionnaire Answers, Proc. The Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001), Orland, Florida USA (August 2001)
- 21) Fumiko Yoshikawa and Yukio Ohsawa, Text Analysis by Mapping Information Flow, Proc. The Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001), Orland, Florida USA (August 2001)

- 22) Yukio OHSAWA and Yumiko NARA, Decision Trees as a Model of Chance Perception, Joint 9th IFSA Congress and 20th NAFIPS International Conference, Vancouver (August 2001)
- 23) Hisashi Fukuda and Yukio OHSAWA Discovery of Rare Essential Food by Community Navigation with KeyGraph - An introduction to Data-based Community Marketing - Proc. KES 2001 (from IOS press) (September 2001)
- 24) Naohiro MATSUMURA, Yukio OHSAWA and Mitsuru ISHIZUKA Discovery of Emerging Topics by Co-citation Graph on the Web Proc. KES 2001 (from IOS press) (September 2001)
- 25) Yutaka Matsuo, Yukio OHSAWA and Mitsuru ISHIZUKA Discovering Hidden Relation behind a Link Proc. KES 2001 (from IOS press) (September 2001)
- 26) Yukio OHSAWA and Yumiko NARA Discovery of Virtual Behaviors as Signs of Real Behaviors Proc. KES 2001 (from IOS press) (September 2001)
- 27) Yukio OHSAWA and Naohiro MATSUMURA, Discovering Seeds of New Interest Spread from Premature Pages Cited by Multiple Communities Proc. Web Intelligence (LNAI2198 from Springer Verlag) (October 2001)
- 28) Naohiro MATSUMURA, Yukio OHSAWA and Mitsuru Ishizuka Discovery of Emerging Topics between Communities on WWW Proc. Web Intelligence (LNAI2198 from Springer Verlag) (October 2001)
- 29) Yutaka Matsuo, Yukio OHSAWA and Mitsuru Ishizuka Average-clicks: A New Measure of Distance on the World Wide Web Proc. Web Intelligence (LNAI2198 from Springer Verlag) (October 2001)
- 30) Yutaka Matsuo, Yukio OHSAWA and Mitsuru Ishizuka KeyWorld: Extracting Keywords from a Document as a Small World, Proc. The Forth International Conference on Discovery Science (An LNAI from Springer Verlag) (Washington DC, December 2001)
- 31) Naohiro Matsumura, Yukio OHSAWA and Mitsuru Ishizuka Knowledge Navigation on Visualizing Complementary Documents Proc. The Forth International Conference on Discovery Science (An LNAI from Springer Verlag) (Washington DC, December 2001)

(2) 学会活動

- 1) New Generation Computing (English Journal from Springer & OHM) 企画委員
- 2) 人工知能学会誌・論文誌編集委員
- 3) The Chair of the First International Workshops, the Japanese Society of Artificial Intelligence
- 4) Program Committee, International Conference of Discovery Science
- 5) 人工知能学会・人工知能基礎論研究会 (SIG-FAI) 連絡委員および幹事
- 6) 以下の各査読委員、および賞選定委員 (多数につき一部のみ掲載) 人工知能学会誌、情報処理学会誌、電子情報通信学会論文誌 A、Journal of Artificial Intelligence, International Conference of Multiagent Systems, The Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics など

(3) 研究助成など

- 1) (株)博報堂より寄付金 500 万円
- 2) 科学技術振興事業団より一般受託研究 100 万円
- 3) 兼業先(科学技術振興事業団)の管理による研究助成金 2750 万円
- 4) 科学研究費(特定 A)「ヒューマン・システム・インタラクションによる知識の評価と選択」で 810 万円

(4) その他

- 1) Best Paper in the Fifth Multi-Conference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2001) "Future Directions of Communities on the Web"

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 知識システム
- 2) 情報システム論
- 3) 予兆発見論
- 4) 発見科学論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) SCS(衛星システム)委員(学内)

(3) 他大学における教育活動

- 1) 島根医科大学・非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 招待講演: Satellite Session of the 53rd Biennial Session of the International Statistics Institute (ISI2001) "Imagine and Discover Chance from Rare Events" (August 2001)
- 2) 第 47 回人工知能基礎論研究会 (SIG-FAI47) パネルディスカッション「アクティブマイニング時代におけるチャンス発見の役割」(2002)
- 3) (財)日本科学技術連盟・多変量解析シンポジウム招待講演「人のチャンス発見プロセスにおける情報視覚化と KeyGraph」(2002)
- 4) チャンス発見学ワークショップ((株)博報堂から会場など提供による)の運営委員
- 5) (株)博報堂, 日本 IBM などでの講演

太田 充

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 太田 充, 佐藤 仁志, 「複数都心を持つ都市構造の動的安定性に関する研究」, 都市計画論文集 919-924

ii) その他

- 1) Mitsuru Ota, “Dynamic stability of multi-central urban model”, 17th Pacific Conference, Regional Science Association International, Portland, Oregon, USA, July 4, 2001. (口頭発表)
- 2) 太田 充, 「複数均衡と複数都心を持つ都市構造に関する研究」, 第 15 回 応用地域学会研究発表大会, 於 札幌学院大学 (口頭発表)

(2) 学会活動

- 1) 査読委員 (日本都市計画学会 2 編, 日本土木学会 2 編, 日本建築学会 1 編, 日本地域学会 2 編, Urban Studies 1 編, 北海道都市学会 1 編)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 経済立地論, 図学・測量学, 社工情報処理実習 1, 地域科学演習 III

経営・政策科学研究科： 都市地域計画, シミュレーション実習

システム情報工学研究科： 地域科学特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学系ファカルティセミナー委員

III. 社会的活動

- 1) 財団法人 北海道東北地域経済総合研究所 「平成 13 年度 地域資源活用型産業育成の方策に係る調査」調査検討委員会委員

梶井 厚志

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Bargaining and Boldness,” with Albert Burgos and Simon Grant. Games and Economic Behavior 38, (January 2002) 28-51.

- 2) “Third down with a yard to go: recursive expected utility and the Dixit-Skeath conundrum,” *Economics Letters*, 73, (December 2001) pp. 275-286.

(2) 学会活動

- 1) *Economics Bulletin* 編集委員
- 2) *Econometrica* 編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 2001 年度科研費・奨励研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：ミクロ経済学特論，市場と情報特論

社会工学類：経済学原論，経済学入門，組織と情報の経済学，社会工学概論及び実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：カリキュラム委員

社会工学系：施設委員

III. 社会的活動

- 1) 二酸化炭素排出権取引問題研究会委員（地球産業文化研究所）

金澤 雄一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Continuous Learning as a Mediator of the Relationship between Personality and Sales Performance: An Empirical Study on a Japanese Information System Company. *Japanese Journal of Administrative Science* 15(1), 2001, 29-45.
- 2) Evaluating Relative Effectiveness of Training School Programs to Probation on Recidivism of Japanese Juvenile Delinquents. *Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series 971*, University of Tsukuba.

ii) その他

- 1) American Psychological Society Annual Conventionにおける発表”A test of personality-based view of intrinsic motivation”

(2) 学会活動

- 1) *Psychometrika* レフェリー
- 2) *Journal of Royal Statistical Society* レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 科研費「一般化線形モデルにおける無視できない非応答問題の研究」
- 2) 安田生命社会事業団「非行少年に対する矯正教育の効果」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：統計学特論 I、II

修士課程：統計学 II、データ解析

学類：応用統計学

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 学年担任
- 2) 施設委員

川勝 浩之

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “Fast Estimation of ARMA(1,1) Models and Its Application to HAC Covariance Matrix Estimation”
- 2) “Estimating the Preventive Effect of Health Checkup on Medical Expenditure” (with Tadashi Yamada)

(2) その他

- 1) Visiting Scholar, University of California Irvine Department of Economics (7/1/2000-8/31/2000)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

国際総合学類：Macroeconomics, International Finance, International Finance Seminar, Japan and the World Economy (2 lectures)

国際政治経済学研究科：Quantitative Analysis and Computer Operation, International Finance, International Finance Seminar

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Hyunchul Kim, Tetsuya Yamada, Keysuk Kim(2002), "Search and Collaboration: A Two-sided Buying Behavior in Business Markets," in American Marketing Association Winter Conference, Austin, Texas
- 2) マーケティング史研究会編(2001)、「日本流通産業史」、第3章コンビニエンス・ストアの日本的展開とマーケティング、同文館、71~103頁、共著
- 3) 金顯哲(2001)、「コンビニエンス・ストア業態の革新」、有斐閣、163頁、単著

(2) 学会活動

- 1) 科研費「基礎研究C：日本型マーケティングについて(3年継続)」

(3) その他

- 1) Hyunchul Kim, Tetsuya Yamada, Keysuk Kim(2002), "Search and Collaboration: A Two-sided Buying Behavior in Business Markets," in American Marketing Association Winter Conference, Austin, Texas で AMA から Inter-organizational Track Best Paper 賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：組織マーケティング、国際経営と法

修士課程：流通論、流通論輪講

(2) 他大学における教育活動

- 1) 大東文化大学(非常勤講師)

III. 社会的活動

- 1) 経済産業省「フランチャイズ研究会」委員

久野(吉瀬) 章子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) K. Hotta and A. Yoshise, “A Complexity Bound of a Predictor-Corrector Smoothing Method Using CHKS-functions for Monotone LCP,” to appear in Computational Optimization and Applications.

ii) その他

- 1) A. Yoshise, “A Generalization of the Homogeneous Algorithm for Complementarity Problems,” 研究集会「最適化：モデル化とアルゴリズム」統計数理研究所 2002年3月

(2) 学会活動

- 1) 日本OR学会研究部会「アルゴリズムと最適化」幹事
- 2) Optimization Research Bridge Committee (Book Review)
- 3) Mathematical Programming レフェリー
- 4) Computational Optimization and Applications レフェリー
- 5) Journal of Operations Research Society of Japan レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 平成13年度 科学研究補助金 基盤(C2)136050061

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：数理計画特講 II

修士課程：数理計画実習

学類：経営工学実習、数理計画、数理計画演習、代数学、自由演習(数学の言葉)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 学類運営委員
- 2) オリエンテーション委員

桑嶋 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書

- 1) 桑嶋健一・高橋伸夫『組織と意思決定』朝倉書店, 2001年.

ii) 論文

- 1) 桑嶋健一・高橋伸夫「グローバル研究開発とコミュニケーション能力 製薬産業を例として」『国際ビジネス研究学会年報』Vol.7, pp.87-97, 2001年.
- 2) 桑嶋健一・藤本隆宏「化学産業における効果的な製品開発プロセスの研究 分析枠組と若干の実証分析」『経済学論集(東京大学)』Vol.67, No.1, pp.91-127, 2001年.

iii) 学会報告

- 1) 桑嶋健一「医薬品の研究開発プロセスにおける組織能力」2001年度組織学会研究発表大会, 於香川大学, 2001年6月.(報告要旨集, pp.161-164.)
- 2) 高松朋史・桑嶋健一・高橋伸夫「ビジネスモデル開発のプラットフォーム構築」研究・技術計画学会年次学術大会, 於東京大学駒場キャンパス, 2001年10月.(講演要旨集 pp.49-52.)

iv) ディスカッション・ペーパー

- 1) 桑嶋健一・富田純一「新製品開発プロジェクトの評価モデル 化学産業における実証分析を通して」Discussion Paper Series CIRJE-J-33, 東京大学経済学部, 2001年.
- 2) 高橋伸夫・桑嶋健一・玉田直樹「研究開発パフォーマンスとゲートキーパー」Discussion Paper Series CIRJE-J-67, 東京大学経済学部, 2002年.

(2) 学会活動

- 1) 研究・技術計画学会 評議委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費・奨励研究(A)「製薬産業の研究開発における組織能力と意思決定プロセス」

(4) その他

- 1) 組織学会高宮賞(論文賞)2001年6月.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻：研究開発戦略

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所客員研究官

GREVE, Henrich R.

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Greve, Henrich R. 2002. "An ecological theory of spatial evolution: Local density dependence in Tokyo banking, 1894-1936." Social Forces, 80(March): 847-879.

- 2) Greve, Henrich R. 2002. "Sticky Aspirations: Organizational Time Perspective and Competitiveness" *Organization Science*, 13(1): 1-17.
- 3) Rao, Hayagreeva, Henrich R. Greve, and Gerald F. Davis. 2001. "Fool's gold: Social proof in the initiation and discontinuation of coverage by Wall Street analysts." *Administrative Science Quarterly*, 46(September): 502-526.
- 4) Greve, Henrich R. 2001. "Interorganizational evolution." In Joel A. C. Baum (editor), *Companion to Organizations*: 557-578. Cambridge, MA: Blackwell.
- 5) Greve, Henrich R., and Joel A.C. Baum. 2001. "A multi-unit, multi-market world." In Joel A. C. Baum, and Henrich R. Greve (editors), *Multiunit Organizations and Multiunit Strategy: Advances in Strategic Management*, Vol. 18: 1-28.

ii) その他

- 1) The Academy of Management Association Meetings 2002 in Denver " Interorganizational learning and the location of manufacturing subsidiaries: Is chain migration also a corporate behavior? "
- 2) Different Perspectives on Competition and Cooperation, Umeaa, Sweden 2002 Keynote speech: Multiunit Organizations and Multimarket Competition Presentations at London Business School and Erasmus University

(2) 学会活動

- 1) Member of Editorial Board: *Academy of Management Journal*, *Administrative Science Quarterly*, *Organization Science*, Strategic Organization Chair of two sessions at the Academy of Management Association Meetings 2002 in Denver

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：行動科学概論、組織行動論

経営・政策科学研究科：組織と戦略

システム情報工学研究科：マクロ組織論

小林 信一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 小林信一、知識社会の大学、高等教育研究、4号、pp.19-45、2001.04
- 2) 小林信一、大学教員政策と教員層の変化、IDE、432号、pp.5-12、2001.09
- 3) Jiang Wen, Shin-ichi Kobayashi, Exploring collaborative R & D network: some new evidence in Japan, *Research Policy*, 30, 8, pp.1309-1319, 2001.10

- 4) Jiang Wen, Shin-ichi Kobayashi, An Organizational Approach to Coping with the Paradox between Individual Career and Collective Research in Japan, International Journal of Technology Management, 22, 7/8, pp.794-810, 2001.10
- 5) Kobayashi,S., International Mobility of Human Resources in Science and Technology in Japan, pp.109-124, International Mobility of the Highly Skilled, OECD, 2002.01

ii) その他

- 1) 小林信一、レギュラトリ・サイエンスの必要性、日本リスク研究学会第14回春期講演シンポジウム講演予稿集、pp.6-13、2001.06

(2) 学会活動

- 1) 日本高等教育学会 編集委員
- 2) 日本科学技術社会論学会 理事・編集委員
- 3) International best practices in evaluation of research in public institutes and universities (Brussels, Nov. 2001), Scientific committee member

(3) 研究助成など

- 1) (科学研究費補助金) 基盤研究(B)(2)、「新しい知識生産」の日仏比較
- 2) (受託研究) 農林水産技術会議、GMOの社会的受容を深めるための方策に関する研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科経営システム科学専攻：知識生産と科学技術

ビジネス科学研究科企業科学専攻：イノベーションシステム

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省科学技術政策研究所 総括主任研究官(併任)
- 2) 文部科学省科学技術・学術政策審議会 専門委員
- 3) 社会技術研究システム社会技術研究フォーラム 議長補佐

猿渡 康文

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) その他

- 1) Contagion analysis and its political implication from the microstructure perspective, FE ワークショップ, 日本銀行金融研究所, 平成 13 年 12 月 18 日~19 日.
- 2) 厚生年金基金による資産運用管理のための政策資産配分策定モデル, GSSM リサーチレポート, No. 01-03, 2001 年 9 月.
- 3) ネットワークを用いたリーグ戦のスケジューリング, 2002 年春季研究発表会アブストラクト集, pp. 78-79, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成 14 年 3 月 27 日-28 日.

(2) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費補助金奨励研究(A)「最適化理論のスポーツマネジメントへの適用」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科 大塚地区：生産システム、最適化基礎、計画数理輪講 I、計画数理輪講 II、計画数理輪講 III、最適化理論

ビジネス科学研究科：数理モデル I、意思決定支援モデル、ロジスティクスとネットワーク、ビジネス創造演習 II、ビジネス創造演習 III、ロジスティクスとネットワーク輪講 I、ロジスティクスとネットワーク輪講 II、ロジスティクスとネットワーク輪講 III、計画数理総論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻教育担当委員
- 2) ビジネス科学研究科経営システム科学専攻教育担当委員
- 3) ビジネス科学研究科教育ワーキンググループ委員

徐 華 (Xu Hoa)

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) H. Mukaidani and Hua Xu, H_2 Guaranteed Cost Control Problem of Singularly Perturbed Systems with Uncertainties, International Journal of Systems Sciences, Vol.32, No.11, pp.1333-1343, 2001.
- 2) H. Mukaidani, Hua Xu and K. Mizukami, New Iterative Algorithm for Algebraic Riccati Equation Related to H_∞ Control Problem of Singularly Perturbed Systems, IEEE Transactions on Automatic Control, Vol.46, No.10, pp.1659-1666, 2001
- 3) H. Mukaidani and Hua Xu, A New Method for H_2 Guaranteed Cost Control Problem of Singularly Perturbed Uncertain Systems, Proceedings of the 40th IEEE Conference on Decision and Control, pp.3264-3266, 2001.
- 4) H. Mukaidani and Hua Xu, Robust H_∞ Control Problem for Nonstandard Singularly Perturbed Systems and Application, Proceedings of the 2001 American Control Conference, pp.3920-3925, 2001.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 数理モデル II
- 2) リスクモデリングと制御
- 3) 動的システムと最適化
- 4) リスクモデリングと制御輪講 I-III

- (2) 役職・各種委員会委員
 - 1) 企業科学専攻教育委員

III. 社会的活動

- 1) 電気学会：公共施設におけるリスク・マネジメント技術調査専門委員会委員

鈴木 秀男

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Hideo Suzuki, “Bootstrap Control Limits of X-Bar Charts in the Presence of Autocorrelation”, Journal of the Japanese Society for Quality Control, 2001, Vol.31, No.3, pp.455-469. Furuhashi and Hideo Suzuki, “A study on the DRAM Market Using Wavelet Analysis”, Journal of Japan Industrial Management Association, 2001, Vol.52, No.5, pp.273-283.
- 2) Hideo Suzuki, “Order-Logit Map: Inferring Individual Preferences in a Product Market Map from Preference Ordered Data”, 53rd Session of The International Statistical Institute (ISI), Seoul, August 22-29, 2001, Contributed Paper, Book 2, pp.381-382.

(2) 学会活動

- 1) 日本品質管理学会投稿論文審査委員会委員
- 2) 日本品質管理学会国際委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費(奨励研究A)「ブースティングを用いた判別手法とその品質管理・マーケティングへの応用」
- 2) 筑波大学学内プロジェクト(奨励研究)「Markov Chain Monte Carlo法を用いたプロダクトマップの推定」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：社会工学概論及び実習、経営工学実習、品質管理

経営・政策科学研究科：品質管理

システム情報工学研究科：統計解析特論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：カリキュラム委員会委員

経営・政策科学研究科：募集委員会委員

システム情報工学研究科：入試委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京経済大学非常勤講師
- 2) 明治大学非常勤講師

高崎 善人

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Takasaki, Yoshito, Bradford L. Barham, and Oliver T. Coomes. 2001. " Amazonian peasants, rain forest use, and income generation: the role of wealth and geographical factors, " *Society and Natural Resources* 14(4): 291-308.

ii) その他

- 1) " Targeting conservation-development initiatives in tropical forests: insights from analyses of rain forest use and economic reliance among Amazonian peasants, " Foundation for Advanced Studies on International Development (FASID) Hakone Conference, Japan, December 15th, 2001.
- 2) " Risk coping strategies in tropical forests: floods, asset inequality, and natural resource extraction, " Northeast Universities Development Conference, Boston, Massachusetts, USA, September 28th, 2001.

(2) 研究助成など

- 1) 松下国際財団研究助成「アマゾン熱帯雨林における持続的開発のミクロ的検証：農業政策の森林破壊と土壌破壊への影響」研究代表者

(3) その他

- 1) Outstanding Ph.D. Dissertation Honorable Mention, American Agricultural Economics Association, 2001.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

人文社会科学部研究科国際政治経済学専攻：ミクロ経済学、経済発展論、経済発展論演習

地域研究研究科：国際開発論

国際総合学類：経済発展論、環境経済学

総合科目：世界の中の日本

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：予算委員会委員

人文社会科学部研究科国際政治経済学専攻：世界銀行等プログラム委員会委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 竹原 均, 「平均下方部分積率モデルのアセットアロケーションへの適用と平均分散モデルとの比較」『経営財務研究』Vol.21 (2001) 23-40.
- 2) 竹原 均, 矢野 学, 「マクロ条件付プライシングモデルを用いた株式投資信託のパフォーマンス評価」『経営財務研究』Vol.21 (2001) 4-22.
- 3) 竹原 均, 矢野 学, 「条件付モデルによる証券収益率と投資戦略の評価: マクロ経済変数とファクター構造の時間変化の検証」, 『ファイナンス研究』Vol.27 (2001) 1-16.

ii) その他

1) (学会発表)

- 1) Asia Pacific Finance Association Annual Finance Conference, "Common Risk Factors vs. Mispricing Factor of Tokyo Stock Exchange Firms: Inquiries into the Fundamental Price derived from Analysts' Earnings Forecasts"
- 2) 日本経営財務研究学会大会, 「ダウンサイドリスクのもとでのマネージャー構造最適化」

3) (論文集)

- 1) 竹原 均, 「Conditional Value-at-Risk を用いたリスク管理手法の開発」, 『年金総合研究センター平成 13 年度報告書』(2002).

(2) 学会活動

- 1) 日本ファイナンス学会研究観望会幹事
- 2) 日本オペレーションズリサーチ学会 IAOR 編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト助成研究 (B), 「株価形成に整合的な株式資本コスト推定法の開発」
- 2) 財団法人清明会研究助成金 「年金債務, 投資スタイルを考慮した企業年金基本ポートフォリオの策定に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：ファイナンス I, 経営工学実習, 経営の科学

経営・政策科学研究科：ファイナンス理論 I

システム情報工学研究科：ポートフォリオ管理特論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類就職委員
- 2) 4年次クラス担任
- 3) 経営・政策科学研究科 カリキュラム委員
- 4) システム情報工学研究科 計算機運用委員
- 5) 社会工学系総務委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科非常勤講師 (「ポートフォリオ・マネジメント」担当.)

III. 社会的活動

- 1) 財団法人年金総合研究センター客員研究員

張 勇兵

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Transaction scheduling with temporal data in real-time database systems, Accepted for publication on Int. J. Modelling and Simulation, 2002.
- 2) Optimal wavelength converter placement in optical networks by a genetic algorithm (with J.H. Siregar and H. Takagi), Accepted for publication on Trans. of IEICE, 2002.
- 3) 移動エージェントを用いたネットワーク負荷分散システムの構築とその評価 (with T. Sawano and H. Takagi), 電子情報通信学会学会誌 D, Vol. J84-D-I, No. 9, pp. 1450-1453 (Sep. 2001).
- 4) An integrated routing and admission control mechanism for real-time multicast connection establishment (with X. Jia), Int. J. Communication Systems, Vol. 14, No. 3, pp.287-303 (Apr. 2001).
- 5) Efficient lightpath routing in wavelength-routed optical networks (with K. Taira, H. Takagi, and S.K. Das), Proc. 16th Int. Conf. Information Networks (ICOIN-16), Cheju, Korea, pp. 6D-1.1-1.14 (Jan. 2002) (Best Paper Award).
- 6) An efficient distributed channel allocation strategy based on a threshold scheme for mobile cellular networks (with X. Jia and S.K. Das), Proc. IEEE GLOBECOM'01, San Antonio, Texas, pp. 3568-3572 (Nov. 2001).
- 7) Search process evaluation for a hierarchical menu system by Markov chains (with H. Takagi, M. Kitajima and T. Yamamoto), Proc. SPIE Int. Symp. ITCOM'01, Denver, Colorado, Vol. 4523, pp. 183-192 (Aug. 2001).
- 8) An efficient approach for distributed channel allocation in cellular mobile networks (with X. Jia and S.K. Das), Proc. ACM DIAL-M'01, Rome, Italy, pp. 87-94, (Jul. 2001).

- 9) D-CAT: A Distributed Channel Allocation Strategy based on A Threshold Scheme for Cellular Mobile Networks (with X. Jia and S.K. Das), Proc. ACM SPAA'01, Crete Island, Greece, pp. 308–309 (Jul. 2001).

(2) 学会活動

- 1) Program committee for The 2nd International Workshop on Cooperative Internet Computing 2002, the 28th Int. Conf. on Very Large Data Bases, 2002.
- 2) Program committee for The First Int. Workshop on Parallel and Distributed Computing Issues in Wireless Networks and Mobile Computing, Int. Parallel and Distributed Processing Symp. 2001.
- 3) Referee for Computer Journal, 2001.
- 4) Referee for Performance Evaluation, 2001.
- 5) Referee for Parallel Processing Letters, 2001.
- 6) Referee for Int. Conf. Communications, 2001.

(3) 研究助成など

- 1) 平成 13 年 電気通信普及財団海外渡航費援助金 23 万円
- 2) 平成 13 年 筑波大学 助成研究(B) 移动通信システムにおけるデータ通信の QoS 管理方式の研究 90 万円

(4) その他

- 1) The 16th International Conference on Information Networking, Cheju, Korea, Jan. 30 – Feb. 1, 2002. 最優秀論文賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：情報ネットワーク特論

修士課程：シミュレーション

社会工学類：情報基礎実習, 社会工学情報処理実習 I, 経営工学実習, 情報ネットワーク, 経営情報システム演習

(2) 役職・各種委員会委員

研究科：システム情報工学研究科計算機運用委員会委員（社会工学システム専攻）、社会工学システム専攻機器購入委員

修士課程：機器委員委員

社会工学類：コンピュータ委員

社会工学系：コンピュータ委員会委員, 技官対応委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 北研二, 津田和彦, 獅々堀正幹: “ 情報検索アルゴリズム ”, 共立出版株式会社, (2002.01)
- 2) Hisatoshi Mochizuki, Masayuki Kessoku, Masafumi Koyama, Kazuhiko Tsuda: “ How to Implement Efficient System for Managing Market Trends and Customer Orientation Transitions ”, 5th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems.(KES2001), Osaka-Kyoiku Univ. JP, pp.142-146 (2001.09)
- 3) Masafumi Koyama, Masayuki Kessoku, Hisatoshi Mochizuki, Kazuhiko Tsuda: “ An Efficient method of Document Management for Sharing the Network Contents ”, 5th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems.(KES2001), Osaka-Kyoiku Univ. JP, pp.147-151 (2001.09)
- 4) Kazuhiko TSUDA, Hisatoshi Mochizuki, Masafumi Koyama, Masayuki Kessoku: “ The Effect Evaluation System of The Public Relations ”, 4th International Multi-Conference, Information Society IS2001, Ljubljana Slovenia, pp-17-20 (23-24 Oct 2001).
- 5) Masayuki Kessoku, Masafumi Koyama, Hisatoshi Mochizuki, Kazuhiko TSUDA: “ The Information Sharing System With The Distributed Processing ”, 4th International Multi-Conference, Information Society IS2001, Ljubljana Slovenia, pp-111-114 (23-24 Oct 2001).
- 6) Kayo H. IIZUKA, Kazuhiko TSUDA: “ Relationship Management Freamword for Collaborative Enterprises. ”, 4th International Multi-Conference, Information Society IS2001, Ljubljana Slovenia, pp-291-295 (23-24 Oct 2001).

ii) その他

- 1) 津田和彦, 結束雅雪, 望月久稔, 小山雅史: “ ネットワーク上のデータ共有におけるドキュメント管理手法 ”, 第 15 回人工知能学会全国大会, 3B1-01 (2001.05)
- 2) 結束雅雪, 望月久稔, 小山雅史, 津田和彦: “ 時間経過による志向遷移を把握するための顧客管理システムの一構成法 ”, 情報処理学会第 63 回(平成 13 年後期)全国大会, 4 T-02 (2001.09)

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会 知能と複雑系研究会 連絡委員
- 2) 情報処理学会 会誌編集委員「アプリケーション」
- 3) 情報処理学会第 62 回全国大会プログラム編成 WG 委員
- 4) 5th International Conference on Knowledge-Based Intelligent information Engineering Systems. (KES2002) International Review Board
- 5) The 6th Pacific Asia Conference on Information Systems(PACIS2002) Program Committee

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省 科学研究費補助金 特定領域研究 (c), 情報学 (006), A02「コンテンツの生産・活用に関する研究」, No.13224007,「WEB コンテンツ情報に基づくリコメンダー技法の開発」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) インラクティブシステム、計算機アルゴリズム、知的ドキュメント管理論、データベース特論、システムズ・マネジメント特演 I-III、システムズ・マネジメント講義 I-VI、経営システム科学特演 I-VI

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 教育担当

(3) 他大学における教育活動

- 1) 徳島大学大学院工学研究科 (非常勤講師)

III. 社会的活動

- 1) 株式会社ブロードバンド・エクスチェンジ技術アドバイザー
- 2) 「ブロードバンドネットワークで急展開する CDN(その3) ~視聴者から見た CDNを検証する~」基調講演, マルチメディア推進フォーラム Part210 (2001.12.21)

永井 裕久

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「日本企業の海外派遣者—職業と生活の実態」(共著) 日本労働研究機構、2001年7月
- 2) 「在日外資系企業における外国人派遣勤務者の職業と生活に関する調査報告書」(共著) 日本労働研究機構、2001年9月
- 3) Cross-cultural Adjustments: Japanese Experience
- 4) Proceedings:Korean Association of Personnel Administration, November 2001
- 5) 「第4回海外派遣勤務者の職業と生活に関する調査報告」(共著) 日本労働研究機構、2001年12月
- 6) 「組織の時代」(共著) 泉文堂 2002年3月

(2) 学会活動

- 1) 経営行動科学学会 (国際交流担当理事)
- 2) 経営行動学会 (編集委員)
- 3) 日本労務学会 (国際交流委員会委員)

- 4) 「組織科学」レフェリー
- 5) 「産業組織心理学会誌」レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤研究 B(2) <海外> 「グローバルプロトコルの構築に向けた営業職の商交渉に関する国際比較調査」(課題番号 12572022)
- 2) 委任経理金「グローバル・リーダーシップ研究」(富士ゼロックス総合教育研究所)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：システムズマネジメント特別演習, システムズマネジメント講究, システムズマネジメント特論

修士課程：経営学基礎, 組織行動/プロフェッショナル人材, 経営システム科学特別研究

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 経営システム科学専攻(総務担当)
- 2) 専門大学院支援経費による「EMBA セミナー」(国際ビジネス・コミュニケーション協会との共催：9月) 総合企画、開催
- 3) 専門大学院支援経費による「グローバル・リーダーシップ・セミナー」(財団法人 在外企業協会との共催：11月) 総合企画、開催
- 4) 第一回修了生プログラムの総合企画、開催

III. 社会的活動

- 1) 日本労働研究機構「国際化調査委員会」委員
- 2) 社会経済生産性本部「日本企業における IT 化と基幹人材調査委員会」委員
- 3) 日本ものづくり・ひとづくり委員会第 5 部(経営幹部育成) 副部長
- 4) 港区教育委員会「生涯学習委員会」委員
- 5) 国際協力事業団労使関係プログラム講師

野上 佳子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Nogami, Y.(2001). Optimal two-sided test for the location parameter of the uniform distribution based on Lagrange's method., Discussion Paper Series No. 931, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-9
- 2) Nogami, Y.(2001). Hypothesis testing based on Lagrange's method., Discussion Paper Series No. 932, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-6

- 3) Nogami, Y.(2001). Correction of the proof of Theorem 1 in D.P.S. No. 913., Discussion Paper Series No. 942, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, p. 1
- 4) Nogami, Y.(2001). An unbiased one-sided test for the parameter for the positional parameter of the exponential distribution., Discussion Paper Series No. 949, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-3
- 5) Nogami, Y.(2001). 切断型分布の推測問題についての考察 . , Discussion Paper Series No. 956, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-2
- 6) Nogami, Y.(2002). Hypothesis testing based on Lagrange's method – an application to the location parameter of the exponential distribution., Discussion Paper Series No. 965, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-8
- 7) Nogami, Y.(2002). Bayes 検定についての考察 – 決定理論的アプローチ – ., Discussion Paper Series No. 968, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, June, pp. 1-7

ii) 学会発表

- 1) August 22–26, 韓国ソウルに於ける , The 53rd Session of International Statistical Institute 主催の国際統計学会にて , 演題「Optimal Two-Sided Tests for Parameters of Cauchy distribution」を公表 . (Bulletin of the International Statistical Institute: Vol. 1, pp. 107–108 を参照)
- 2) 9月2–4日 , 西南学院大学に於ける第69回日本統計学会にて , 演題「Optimal Two-Sided Tests for the Uniform Distributions on $[\theta + \delta_1, \theta + \delta_2]$ 」を公表 . (講演報告集 : pp. 280–281 参照)
- 3) 9月14–16日 , 甲子園大学に於ける第29回日本行動計量学会にて , 演題「Lagrange 法にもとづく縮み型分布族 (Retracted family of distributions) の統計推論」を公表 . (発表論文抄録集: pp. 260–262 参照)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 応用確率論 , 数理解析 II , 社会工学概論・実習

経営・政策科学研究科： 統計解析

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類： 体育センター運営委員

社会工学系： 研究計画委員

飛田 史和

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) サービス貿易の自由化に関する調査研究 (共著) 三和総合研究所 平成 13 年 7 月

(2) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト 研究助成 (B) 産業別生産性の国際比較に関する研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：日本経済論、社会経済実習

経営・政策科学研究科：日本経済システム論、政策科学演習

平瀬(西尾) チヅル

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 「生活者に受容されやすいエコロジー行動」 マーケティング・ジャーナル, Vol.21, No.3, pp.4-15, 2002年1月(単著)
- 2) 「環境マーケティングの本質：生活者とのかかわりと中心に」 日経広告手帖第46巻2号, pp.4-8, 2002年2月(単著)

ii) その他

- 1) 「生活者に受容されやすいエコロジー行動」 日本マーケティング・サイエンス学会第70回研究大会 2001年12月
- 2) 「生活者のエコロジー行動とマーケティング」 日本ファジィ学会評価問題研究部会第20回研究会 2002年3月

(2) 学会活動

- 1) 日本マーケティング・サイエンス学会 理事
- 2) 日本マーケティング・サイエンス学会 学会誌編集委員
- 3) 日本ファジィ学会評価問題研究部会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 科研費 基盤研究 (C) 「環境保全型ライフスタイル普及のためのマーケティング・コミュニケーション」(研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科経営システム科学専攻：マーケティング、ジョイントプログラム III、経営システム科学 II、マーケティング輪講 I-III、経営システム科学特別研究

ビジネス科学研究科企業科学専攻：マーケティングコミュニケーション、システムズ・マネジメント講究

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) ビジネス科学研究科経営システム科学専攻研究・交流担当。

(3) 他大学における教育活動

- 1) 千葉工業大学非常勤講師「マーケティング」

III. 社会的活動

- 1) 学生広告論文電通賞審査委員

- 2) (財)クリーン・ジャパン・センター 環境・リサイクル配慮型製品の事業系新市場創出に関する調査研究委員会委員

- 3) 日本道路公団総合研修所 研究情報交流会委員

- 4) 茨城県 第2次ごみ減量化行動計画改訂委員会委員

- 5) 滋賀県「びわ湖国際環境ビジネスメッセ 2001」環境マーケットセミナー基調講演 2001年11月

- 6) 茨城県「平成13年度いばらぎゼロ・エミッション推進フォーラム」基調講演 2002年3月

牧本 直樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Optimal slice of a block trade, Journal of Risk, Vol.3, No.4, 33-51, 2001.

ii) その他

- 1) Selection of market and limit order, Research Report 02-01, Graduate School of Systems Management, University of Tsukuba, 2002.

- 2) Some asymptotic results on the stationary distributions of two-node Markovian queues, 11th INFORMS Applied Probability Conference, NY, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 4th International Conference on Matrix Analytic Methods, Scientific Advisory Committee

- 2) 日本OR学会 IAOR 委員

- 3) 日本OR学会創立40周年記念事業国際交流委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営システム科学専攻：数理モデルI、確率と統計基礎、確率過程、ビジネス創造演習II・III、確率過程輪講I-III

企業科学専攻：応用確率論

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 経営システム科学専攻入試・広報委員

III. 社会的活動

- 1) (株)日立製作所 総合教育センター講師

山田 雄二

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Y. Yamada and S. Hara, "Global optimization for robust control synthesis based on the Matrix Product Eigenvalue Problem," International Journal of Robust and Nonlinear Control, vol. 11, 857-878, 2001.
- 2) 山田 雄二, 原 辰次, 藤岡 久也, "H_∞-Feasibility for H_∞ Control Problem with Constant Diagonal Scaling," 計測自動制御学会英語論文集, vol. 1, pp. 238-245, 2001.
- 3) 山田 雄二, 原 辰次, "行列積固有値問題 (MPEP) 大域最適化の計算量解析," 計測自動制御学会論文集, vol. 37, no. 6, 2001.
- 4) Y. Yamada and J.A. Primbs, "Construction of Multinomial Lattice Random Walks for Optimal Hedging," Springer Verlag Lecture Note Series on Computer Science LNCS 2073, pp. 579-588, 2001.
- 5) Y. Yamada and J. A. Primbs, "Risk Estimates for Dynamic Hedging Using Convex Probability Bounds," Proceedings of the 2001 American Control Conference.

ii) 査読なし学会発表

- 1) Y. Yamada and J. A. Primbs, "Value-at-Risk Estimation for Dynamic Hedging," Proceedings of the JAFEE conference in Summer, 2001.
- 2) Y. Yamada and J. A. Primbs, "Value-at-Risk Estimation for Dynamic Hedging," INFORMS Annual Meeting, 2001.

(2) 学会活動

- 1) IEEE Transactions on Automatic Control, Automatica, 論文レフェリー

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

ビジネス科学研究科・経営システム科学専攻 金融リスク管理 ファイナンス工学輪講

(2) 他大学における教育活動

- 1) カリフォルニア工科大学制御力学系 (平成 13 年 12 月まで) 大学院科目: Stochastic Simulation in Finance

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 渡辺貴史, 横張 真, 田中伸彦, 開放性発現に資する都市内農地景観の解明, 2001.10, 都市計画論文集, 36号, 265頁~270頁
- 2) 山口美緒, 横張 真, 住工混在地域における居住者の心象風景の解明, 2001.10, 都市計画論文集, 36号, 745頁~750頁
- 3) 土田淳一, 横張 真, 接道部開放型飲食店舗における境界デザインと前面道路の関係の解明, 2001.10, 都市計画論文集, 36号, 751頁~756頁
- 4) 松浦俊也, 横張 真, 数値標高モデルを用いた谷津の地形解析, 2001.11, 環境情報科学論文集, 15号, 25頁~30頁
- 5) Yokohari, M., H. Kurita and M. Amati, Conservation of satoyama landscapes for the restoration of ecological integrity of urban areas in Japan, 2001.10, Journal of the Korean Institute of Landscape Architecture, Int'l. edit. 1号, 43頁~52頁
- 6) 雨宮 護, 横張 真, ニュータウン内緑道における犯罪発生不安の空間的要因, 2002.03, 日本造園学会誌, 65巻5号, 823頁~828頁
- 7) 岩村高治, 横張 真, 公園計画策定時における住民参加がその後の公園管理運営活動に与える影響, 2002.03, 日本造園学会誌, 65巻5号, 735頁~738頁
- 8) 広原 隆, 横張 真, 加藤好武, 渡辺貴史, 農住混在地域における小規模物質循環圏の構築に関する基礎的研究, 2002.03, 日本造園学会誌, 65巻5号, 889頁~892頁
- 9) 松浦俊也, 横張 真, 東 淳樹, 数値地理情報を用いた谷津の景観構造の把握によるサンバ生息適地の広域的推定, 2002.03, 日本造園学会誌, 65巻5号, 543頁~546頁
- 10) 安田信太郎, 横張 真, バイオマスエネルギーの活用からみた里山ゴルフ場の役割, 2002.03, 日本造園学会誌, 65巻5号, 497頁~500頁
- 11) 横張 真(分担): 農村整備用語辞典, 2001. 4, 農村開発企画委員会, 100頁~102頁
- 12) 横張 真, 山口理枝子(分担): 建築資料集成, 2001. 6, 丸善出版, 506頁~507頁
- 13) 横張 真, 栗田英治(分担): 里山の環境学, 2001.10, 東大出版会, 72頁~81頁
- 14) 横張 真, 松本 聡(分担): 緑地環境学, 2001.10, 文永堂出版, 105頁~119頁
- 15) 横張 真, 渡辺貴史(分担): これからの国土・定住地域圏づくり, 2002. 2., 鹿島出版会, 153頁~165頁
- 16) 横張 真(分担): ランドスケープ批評宣言, 2002. 3, メディア・デザイン研究所, 408頁~411頁

ii) その他

- 1) Yokohari, M., T. Watanabe, and T. Hirohara, Restoring ecological relationships between urban and rural landscapes. 2001. 4, IALE2001 proceedings, 226頁

(2) 学会活動

- 1) 日本造園学会・理事・編集委員会委員

- 2) 農村計画学会・理事・学術委員会委員
- 3) 日本都市計画学会・学術委員会委員
- 4) 国際景観生態学会日本支部・幹事
- 5) 国際造園学会日本支部・理事
- 6) Editorial board member of Landscape and Urban Planning Journal (Elsevier)

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 B(2) 12460012(研究代表者)「持続的な都市農村混合空間形成のための緑地整序に関する研究」
- 2) (社)道路緑化保全協会研究助成金(研究代表者)「シーケンシャル解析手法を用いた沿道景観に対する街路植栽の影響に関する研究」
- 3) (財)日本生命財団研究助成金「里地自然保全戦略の構築」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：地域資源計画，Introduction to Urban and Regional Planning，都市計画実習 I

システム情報工学研究科：緑地環境計画特講

環境科学研究科：地域環境共生論，環境計画実習

全学・総合科目：都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：運営委員

システム情報工学研究科：入試実施委員

環境科学研究科：予算委員

社会工学研究科：予算委員

全学：キャンパスリニューアル実施委員(緑地景観担当)，JTP(短期交換留学プログラム)委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師(東京大学農学部)
- 2) 客員教授(University of Guelph, Canada)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Michiru Miyamoto, Kunihiko Yoshino, Keiji Kushida(2001.6) : Relationship Between Canopy BRDF and Physical Parameters of 3-D Structure of Vegetation in Northern Wetlands in Japan , Asian Journal of Geoinformatics, Vol.1,No.4, pp.57-69
- 2) 石田朋靖、鈴木 覚、長野敏英、大澤和敏、吉野邦彦、福村一成、タニット ヌイム (2001.12): タイの原生泥炭湿地林生態系からの二酸化炭素放出速度、生物環境調節、Vol.39(4),pp.305-312
- 3) Yoshino, K., Nagano, T., Ishida, T., Suzuki, S.(2002.2) : Classification of Vegetation in Tropical Swamp Peat Area by Remote Sensing in Narathiwat of the southern part of Thailand ; Building a Ecological Environmental GIS Database for monitoring Carbon balance 、 Rural and Environmental Engineering, No.42, pp.15-25

(2) 学会活動

- 1) 農業土木学会誌編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 北海道低温科学研究所共同利用研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：都市計画実習Ⅰ，環境解析

社会工学研究科博士課程：地域環境影響評価論演習

環境科学研究科修士課程：環境科学実習，環境情報調査表現法，リモートセンシング(世話人)，環境政策実習，環境アセスメント

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類 4年生クラス担任
- 2) 環境科学研究科カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 三宅島噴火災害対策調査委員(農業土木学会からの委嘱)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) デザインはどこまで科学されたか? 建築雑誌、56 頁、2001 年 5 月

ii) その他

- 1) 国立大学教官研究室の使われ方に関する研究日本建築学会大会学術講演梗概集、103 頁～104 頁、2001 年 9 月
- 2) 民間商業施設に設置された広場空間の有効利用に関する研究、その 1、広場の利用実体日本建築学会大会学術講演梗概集、1011 頁～1012 頁、2001 年 9 月
- 3) 民間商業施設に設置された広場空間の有効利用に関する研究、その 2、広場アプローチ部分の形態と利用意識の関係日本建築学会大会学術講演梗概集、1013 頁～1014 頁、2001 年 9 月
- 4) 景観画像の雑然性の指標としての輪郭の有効性に関する研究、日本建築学会大会学術講演梗概集、761 頁～762 頁、2001 年 9 月

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会、論文集委員会・知的システム研究小委員会等 委員

(3) 研究助成など

- 1) 北京の伝統的空間保全型再開発のための国際リモートコラボレーションシステムの開発
科研費、基盤研究 (C)
- 2) 奈良町における意匠構成要素の形態文法に基づく 3 次元造形ライブラリーによる景観シミュレーション、ユニオン造形文化財団

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類： 社工情報処理実習 3，都市施設計画，都市計画実習 2，都市デザイン演習

環境科学研究科： 環境デザイン論，

システム情報工学研究科： 地理情報システム特論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系： コンピュータ委員 等

社会工学類： 3 年クラス担任、コンピュータ委員 等

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) E. Akiyama “Games as dynamical systems,” The Institute of Statistical Mathematics Cooperative Research Report 144, The Institute of Statistical Mathematics, 89–97, (2001).
- 2) Yuzuru Sato, Eizo Akiyama, and J. Doyné Farmer, “Chaos in Learning a Simple Two-Person Game,” Santa Fe Institute Working Paper, 01-09-049, (2001).

ii) 学会などでの口頭発表

- 1) Eizo Akiyama (Univ. of Tsukuba.) and Yuzuru Sato (RIKEN) “Halmitonian Chaos in learning a simple 2-person game” Workshop on Dynamical Systems in Mathematical Biology The Institute of Statistical Mathematics, JAPAN May 29-30, 2002 (発表 5/30)
- 2) E. Akiyama “Games as dynamical systems,” 統計数理研究所、共同利用研究「動的システムの情報論」, 10月19日-21日, 2001, 統計数理研究所 (発表 10/21)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：情報基礎および実習，社会経済実習

経営・政策科学研究科：数学 II

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Tomokazu Arita and Fujita Masahisa, “ Local Agglomeration and Global Networks of the Semiconductor Industry: A Comparative Study of U.S. and Japanese Firms“ , Review of Urban and Regional Development Studies, 2001, Vol.13.2, pp.85-109.
- 2) Tomokazu Arita and Philip McCann, “ The Spatial and Hierarchical Organization of Japanese and US Multinational Semiconductor Firms ”, Journal of International Management, 2002, Vol. 8.1, pp.121-139.
- 3) 大村謙二郎・有田智一, 「分権・規制緩和・民活下の都市開発事業関連制度の再編」, 『日本の都市法 - 構造と動態』, (原田純孝編、東京大学出版会), 2001年4月

ii) その他

その他の著書：『住宅性能表示制度評価方法基準・技術解説』, (国土交通省住宅局住宅生産課、国土技術政策総合研究所、建築研究所監修、工学図書株式会社)、2001年7月(分担執筆)

学会口頭発表：Tomokazu Arita and Philip McCann, “ The Location of Technological Innovations within the Japanese Semiconductor Industry, ” 41st Congress of the European Regional Science Association, Zagreb, Croatia, 29th Aug.-1st Sept. 2001.

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会建築法制委員会市街地環境基準小委員会委員
- 2) 都市住宅学会編集委員会委員

II. 社会的活動

- 1) 国土交通省国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター付 研究員 (併任)
- 2) (財)ベターリビング：住環境参考指標検討調査検討委員会委員
- 3) 国土交通省、(財)ベターリビング：住宅性能評価技術検討委員会基本問題分科会 WG 委員及び長寿社会対応分科会委員
- 4) 東京都中野区住宅政策審議会委員
- 5) 茨城県まちづくり推進協議会開発許可及び区域指定分科会委員
- 6) 土浦市都市計画マスタープラン策定委員会委員

石井 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) インターネットの普及格差 WIP 調査による分析、情報通信学会誌、19(2), 64-65.
- 2) ウェブの利用実態、インターネット利用動向に関する実態調査報告書 2000、43-56, 通信総合研究所、2000 年
- 3) 電子メールの利用実態、インターネット利用動向に関する実態調査報告書 2000、57-68, 通信総合研究所、2000 年

(2) 学会活動

- 1) インターネットの普及格差 WIP 調査による分析、情報通信学会大会「情報行動研究会グループ」2001 年 6 月 17 日 (東洋大学)
- 2) 「日中社会学研究」(日中社会学会)、「マスコミュニケーション研究」(日本マスコミュニケーション学会)のレフェリー

(3) その他

- 1) 東京大学社会情報研究所の情報通信研究会においてインターネット利用行動に関する社会調査を実施した。
- 2) World Internet Project に参加し、東京大学社会情報研究所および通信総合研究所による「インターネット調査」を全国で実施した。
- 3) 電通において「東アジアにおける日本のポピュラー文化の流行とその背景」で研究報告を行った (2001 年 7 月)。

- 4) 日経広告研究所において「台湾・中国のファッション雑誌にみる広告と日本大衆文化」で研究報告を行った(2002年1月)。
- 5) 「東アジア大衆文化研究会」に参加し、韓国と日本で調査を実施した(2002年3月)。
- 6) 慶応大学情報環境学部において「東アジアの日本大衆文化」に関する講演を行った(2002年5月)。

江口 匡太

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Unions as Commitment Devices,” *Journal of Economic Behavior and Organization*, 47, 407-421.

ii) 口頭発表

- 1) 日本経済学会秋季大会(於:一橋大学) “Trainers’ Dilemma of Choosing between Training and Promotion”
- 2) 大阪大学社会経済研究所 “Trainers’ Dilemma of Choosing between Training and Promotion”

(2) 学会活動

レフェリー：International Economic Review, Japanese Economic Review.

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金(奨励研究(A))1273008

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：社会工学概論及び実習、労働経済学、社会経済実習

経営政策科学研究科：労働経済論

大江(繁野) 麻衣子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) M. SHIGENO, “Minimax inverse problems of minimum cut,” *NETWORKS* 39 (1): 7-14, 2002.
- 2) J. OHTA and M. SHIGENO, “A note on minimax inverse generalized minimum cost flow problems,” Discussion paper No. 976, 2002.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー (日本 OR 学会, IPCO, Information Processing Letters など)

(3) 研究助成など

- 1) 科研費 (奨励 (A)) 「データの精度を考慮した組合せ最適化問題に対する問題構造とアルゴリズムの研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程：離散システム特論

修士課程：数学 I, 離散最適化

学類：代数学, 数理計画, 数理計画演習, 計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

修士課程：募集委員

学類：広報委員

大木 敦雄

I. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 計算機科学基礎 I,II(修士、1 学期)(補佐)
2) 計算機プログラミング I(修士、2 学期)
3) ネットワークセキュリティ(修士、3 学期)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 大塚地区 LAN 委員会委員
2) 学校教育部情報化推進専門委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 電気通信大学 非常勤講師 (ソフトウェア実験)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) みなとの役割と社会経済評価：東洋経済新報社共著 (稲村肇、岡本直久、森杉壽芳、森浩：4人)；2001年
- 2) 高度情報機器を用いた走行速度調査における抽出率の検討：土木計画学研究・論文集第18号、No.1、81頁～88頁共著 (石田東生、三浦裕志、岡本直久、古屋秀樹)；2001年

(2) 学会活動

- 1) 土木学会土木計画学研究委員会委員兼幹事

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費奨励研究 (A)：地方コンテナ港湾に焦点をあてたコンテナ貨物需要予測モデルに関する研究

(4) その他

- 1) 日本港湾協会企画賞 (2001年7月)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

第三学群社会工学類：情報基礎及び実習、都市データ分析、地域科学演習、都市計画実習3

修士課程 経営・政策科学研究科：交通システム計画、情報科学演習、都市計画演習I

博士課程 システム情報工学研究科：プロジェクト評価特論

(2) 他大学における教育活動

- 1) 青山学院大学大学第二部経営学部非常勤講師 観光論担当
- 2) 島根県立大学非常勤講師 地域経済論担当

III. 社会的活動

- 1) 龍ヶ崎市都市交通マスタープラン策定委員会副委員長

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Tetsuo Ono and Yasuo Maeda, "Is Aging Harmful to the Environment?" *Environmental and Resource Economics*, 2001, Vol. 20, pp. 113-127.
- 2) Tetsuo Ono, "The Effects of Emission Permits on Growth and the Environment", *Environmental and Resource Economics*, 2002, vol. 21, pp. 75-87.
- 3) Tetsuo Ono and Yasuo Maeda, "Sustainable Development in an Aging Economy", *Environment and Development Economics*, 2002, vol. 7, pp. 9-22.
- 4) Tetsuo Ono and Yasuo Maeda, "Pareto-improving Environmental Policies in an Overlapping Generations Model", *The Japanese Economic Review*, forthcoming.
- 5) Tetsuo Ono, "Environmental Tax Policy in a Model of Growth Cycles", *Economic Theory*, forthcoming.
- 6) Tetsuo Ono, "Environmental Tax Policy and Long-run Economic Growth", *The Japanese Economic Review*, forthcoming.

(2) 研究助成など

- 1) 簡易保険文化財団「少子・高齢化社会における公的年金改革」
- 2) 科学研究費補助金特定領域 B「世代間の利害調整に関する研究」(一橋大学)研究協力者として参加

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) グローバル知識社会を担う若手大学教員『IDE - 現代の高等教育』第 432 号 27-31, 2001
- 2) 欧米諸国における研究者養成の現状と今後の展望『学術月報』第 55 巻第 1 号 (通巻 686 号), 25-28, 2002

(2) 学会活動

- 1) 研究・技術計画学会 評議員

(3) 研究助成など

- 1) 科研費 奨励研究 (A) 「学術研究成果に対する評価の構造と受容性に関する実証研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 非営利セクターの社会経済学
- 2) プロジェクト・マネジメント研究

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 事務用計算機システム仕様策定委員会委員
- 2) 事務情報化専門委員会委員
- 3) SCS 事業実施委員会東京 (大塚) 地区部会委員
- 4) 大塚地区 LAN 委員会委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 非常勤講師 「教育調査分析法」東京大学

金田 直之

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “Properties of Research and Development Costing under GAAP and International Accounting Standards,” 2001, Journal of Management Accounting, Japan 10 (1), pp. 63–76

(2) 学会活動

- 1) “Do analysts expect earnings management around CEO turnovers?” Faculty Seminar at University of Tsukuba, July 2001

川邊 みどり

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) アジアにおけるエビ養殖業の展開と外部不経済の発生．漁業経済研究第 46 巻 2 号 1-35 頁、川邊みどり、2001 年．
- 2) 東京湾の底層溶存酸素濃度の時空間変動について、環境科学会 2001 年会、プログラム 84-85 頁、川邊みどり、山梨大学工学部、2001 年 10 月 5 日．

(2) 学会活動

- 1) 月刊「水情報」編集委員 エビ問題研究会事務局

(3) 研究助成など

- 1) 科研費萌芽的研究 (H13～15年度)、「熱帯アジア沿岸における地域共同体による環境管理に関する研究」、50万円 (H13年度)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：社会調査法および実習 沿岸域環境計画 地域科学演習 II

環境科学研究科：環境総合評価論 環境政策評価論 環境科学実習

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学系総務委員
- 2) 社会工学類オリエンテーション委員 (2001年9月～2002年8月)
- 3) 環境科学研究科環境科学実習委員

III. 社会的活動

講演 A Case Study on Environmental Management in Tokyo Bay, University of San Carlos, Cebu, the Philippines, March 9, 2001.

姜 晟振 (Sung Jin Kang)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Income Distribution and Public Transfers as Social Safety Nets in Korea, 2001, Journal of Economic Development, 26(2) (with Man Woo Lee),
- 2) “The Poor and The Vulnerable? Tracking the Targets of Private and Public Transfers Before and During the Financial Crisis in Korea,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.978, University of Tsukuba, March 2002, pp.1-25 (with E. Jimenez and Yasuyuki Sawada).
- 3) “Japanese Voters and Responsibility Hypothesis-The 1996 House of Representatives Election,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.950, University of Tsukuba, September 2001, pp.1-26.
- 4) “The Evolution of Regional Income Distribution of Japan,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.930, University of Tsukuba, June 2001, pp.1-20.
- 5) “Income Distribution and Transfer Income as a Social Safety Net in Korea,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.925, University of Tsukuba, May 2001, pp.1-17, (with Man Woo Lee).
- 6) “Q-convergence with Interquartile Ranges,” Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.923, University of Tsukuba, May 2001, pp.1-23 (with Myeongjae Lee), 2001.

ii) その他

- 1) “ Who Became Poorer during the Financial Crisis in Korea, ”Conference of the Allied Korean Economic Association, Feb., 2002

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 経済成長論
- 2) 多国籍企業論
- 3) 国際経済論

後藤 順哉

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Gotoh,J., Thoai,N.V. and Yamamoto,Y. “Global Optimization Method For Solving The Minimum Maximal Flow Problem”, 社会工学系 Discussion Paper Series 928, 筑波大学, 2001年5月.

ii) 学会での口頭発表

- 1) “Global Optimization Method for Solving the Minimum Maximal Flow Problem” The 5th International Conference on Optimization : Techniques and Applications, (Hong Kong, China), 2001年12月.
- 2) “Solving Semi-Definite Programming Problems for Bounding Option Price by a Cutting Plane Algorithm”, INFORMS, (Miami Beach, Florida, U.S.A.), 2001年11月.

(2) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト(奨励研究)「半正定値制約を持った凸2次計画問題に対する切除平面を用いた効率的な解法」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) スポーツデー委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Kondo, Fumiyo N.; Kitagawa, G. (2001), Discovery of Competitive Structure in Brand Substitution and Category Expansion Caused by Price Promotion, in Proceedings of World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Vol. II, Information Systems, pp.171 - 178.

ii) 学会での口頭発表

- 1) Kondo, Fumiyo N.; Kitagawa, G. (2001 July), Discovery of Competitive Structure in Brand Substitution and Category Expansion Caused by Price Promotion, in Proceedings of World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics .

(2) 研究助成など

- 1) 平成 13 年度 科学研究費基盤 (C) 50 万円 , 共同利用研究費 : 12.5 万円

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科 : マーケティング・サイエンス

社会工学類 : 経営の科学, マーケティング工学, 情報基礎および実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類 : 図書委員, 2 年生クラス担当

経営政策科学研究科 : 修士論文委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 鈴木 勉 : 「土地費用の上昇に伴う地域施設複合化のモデル分析」, 日本建築学会計画系論文集, No.546, pp.193-197, 2001.

Tsutomu Suzuki: "Modeling Emergence of Multiple Service Facilities According to Increase in Land Cost," Journal of Architecture, Planning and Environmental Engineering, 546; 193-197; 2001 (in Japanese).

- 2) 鈴木 勉・M. John Hodgson・大山 崇 : 「最近隣施設選択仮定を緩和した離散型施設配置モデル」, GIS - 理論と応用, Vol.10, No.1, 2002.

Tsutomu Suzuki, M. John Hodgson and Takashi Ohyama: “Relaxing the Nearest Facility Assumption in Discrete Location Models,” GIS: Theory and Applications, 10(1); 2002 (in Japanese).

ii) その他

- 1) 鈴木 勉:「持続可能な都市形態としてのコンパクトシティ論」, 特集:地球温暖化とまちづくり (2001年8月号), 都市計画, No.232, pp.11-14, 2001.
Tsutomu Suzuki: “A Review on the Compact City as a Sustainable Urban Form,” City Planning Review, 232; 11-14; 2001.
- 2) 鈴木 勉・M. John Hodgson・大山 崇:「p-median 問題における最近隣施設選択仮定の緩和」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.158-159, 2002.
Tsutomu Suzuki, M. John Hodgson and Takashi Ohyama: “Relaxing the Nearest Facility Assumption in p-Median Models,” Abstracts of the 2002 Spring National Conference of Operations Research Society of Japan; pp.158-159; 2002 (in Japanese).
- 3) Tsutomu Suzuki and Takashi Ohyama: “Tour-Distance Voronoi Diagram and Agglomeration in Spatial Competition,” presented at the INFORMS International Hawaii, Maui, Hawaii, USA, 2001.
- 4) Tsutomu Suzuki and M. John Hodgson: “Multi-Service Facility Location Models,” presented at the 48th North American Meetings of the Regional Science Association International, Charleston, SC, USA, 2001.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 IAOR 委員会委員
- 2) 日本建築学会地球環境委員会都市対策 WG 委員
- 3) 都市住宅学会誌査読委員
- 4) 地理情報システム学会査読委員

(3) 研究助成など

- 1) 日本学術振興会特定国派遣研究者助成(長期・カナダ)「情報化の進展に伴う都市空間構造の変化に関する数理的研究」
Japan Society for the Promotion of Science Bilateral Scientist Exchanges Program (Long-term, Canada) “A Study on the Transformation of Urban Structure in the Information-Oriented Society”
- 2) (財)医療科学研究所研究助成(第11回)「搬送時間短縮のための救急車両と医療施設の配置計画に関する研究」
The Health Care Science Institute, “Locational Decisions for Ambulance and Hospitals in Emergency Medical Services”

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

博士課程システム情報工学研究科: 都市機能リスク論

社会工学類: 統計学, 立地解析

総合科目：都市・地域・環境を探る(分担)

III. 社会的活動

- 1) カナダ アルバータ大学 理学部 地球大気科学科 客員研究員
- 2) 文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター専門調査員
- 3) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 市街地再生技術プロジェクト研究予備検討委員会 委員
- 4) 環境省 環境保全型交通体系実現方策調査検討委員会 委員
- 5) 国土技術政策総合研究所「コンパクトシティーをめぐる論点」講演会講演、「Compact City 論の現在」, 2002年1月30日.

Stephen J. Turnbull

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Hoshino, Yasuo and Stephen J. Turnbull, "Further Study on the Performance of Mergers Among Credit Associations in Japan", Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies (accepted for publication).

ii) その他

- 1) 「オープンソースにおける経済学的原理」、オープンソースITソリューション発表、東京大学生産技術研究所(東京都駒場)、2001年12月7日。

(2) 学会活動

- 1) レフェリー, American Economic Review.
- 2) レフェリー, Association for Japanese Business Studies Meeting, 2002.
- 3) Abstracts Editor, 経済研究.
- 4) Reviewer, Zentralblatt fur Mathematik.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

- 1) 情報経済システム特別講義(博士課程)
- 2) ミクロ経済学(修士課程)
- 3) 経済動学(学類)
- 4) ミクロ経済学(学類)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 筑波大学外国語センター委員会委員
- 2) 社会工学研究科入学試験委員会委員(英語)

- 3) 経営政策プログラム (修士) 入学試験委員会委員 (英語)
- 4) 社会工学系コンピュータ委員会委員

Piyush Tiwari

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Tiwari, P. "Housing price, permanent income, tenure choice and housing demand in Tokyo", *Studies in Regional Science*, Vol. 31, No. 3, pp. 1-14.
- 2) Tiwari, P. and T. Kawakami, "Mode of commuting in Mumbai: a discrete choice analysis", *Review of Urban and Regional Development Studies*, 2001, Vol. 13, No.1, pp. 34-45.
- 3) Tiwari, P. "Housing and development objectives in India", *Habitat International*, 2001, Vol. 25, No. 2, pp. 229-253.
- 4) Tiwari, P., "Housing demand in Tokyo," *International Real Estate Review*, 2001, Vol. 3, No.1, pp. 65-92.
- 5) Tiwari, P. "Energy tax and choice of house construction techniques in India", *ASCE Journal of Infrastructure Systems*, 2001, Vol. 7, No. 3.
- 6) Tiwari, P. and H. Hasegawa, "Welfare effects of public rental housing in Tokyo", *Journal of Policy Modeling*, 2001, Vol. 23, No. 4, pp. 421-431.
- 7) Tiwari, P., "Energy efficiency in building construction" , *Building and Environment*, 2001, Vol. 36, No. 10, pp. 1127-1135.
- 8) Doi, M., Tiwari, P. and H. Itoh, "A computable general equilibrium analysis of the efficiency effects of port sector in Japan", *Review of Regional and Urban Development Studies*, 2001, Vol. 13, No. 3, pp. 187-206.
- 9) Tiwari, P., "Urban environment and city governance in India", *International Review of Environmental Strategies*, 2001, Vol. 2, No.2, pp. 295-315.
- 10) Tiwari, P., "Regional qualitative and quantitative aspects of houses in Tokyo Metropolitan Region", *ASCE Journal of Urban Planning and Development*, 2002, Vol. 128, No. 1, pp. 42-57.
- 11) Doi, M., Tiwari, P. and T. Kawakami, "Trade and factor market reforms in China", *Labour*, 2002, Vol 16, No. 3.
- 12) Ito, H. Tiwari, P. and Doi, M., "An analysis of cargo transportation behaviour in Kita Kanto (Japan)", *International Journal of Transportation Economics*, October 2002.

(2) 学会活動

- 1) European Real Estate Society, Annual Conference (June 26-29, 2001), Alicante (Spain), presented paper on "Economics of mortgage termination in India".
- 2) The 5th Asia Pacific Annual Risk and Insurance Conference (July 15-18, 2001), Bangalore (India), presented paper on "Future for mortgage insurance in India".

- 3) The 6th Asian Real Estate Society conference, Tokyo (July 31- August 3, 2001), presented paper on “Mortgage risk due to prepayments and defaults in India”.
- 4) Japan Section of Regional Science International, 38th Annual Conference, Kyoto (20th -21st October, 2001), presented paper on “The housing market, macroeconomic activity and financial innovation: An empirical analysis of Japanese data”.
- 5) Applied Regional Science Conference, Sapporo (2nd - 3rd November, 2001), presented paper on “A role for information technology in the Japanese economy: A CGE analysis”.

(3) 研究助成など

- 1) Ministry of Education, Science and Sports, Japan project on “Efficiency of home mortgage markets: a comparative analysis of Japan, India, Thailand, USA, UK and Australia.” (April 2001 -Ongoing) - Project Number C(2) 13630039.
- 2) University of Tsukuba, Japan project on “The Japanese housing market, macroeconomic activity and financial innovation.” (April 2001-March 2002).

(4) その他

- 1) Finalist, International Federation of Operational Research Societies’ - OR for Development Prize 2001 (Final presentation due in July 2002 at IFORS conference, UK).

八森 正泰

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) M. Hachimori, Deciding constructibility of 3-balls with at most two interior vertices, *Discrete Mathematics*, 232 (2001), 47-58.
- 2) R. Ehrenborg and M. Hachimori, Non-constructible complexes and the bridge index, *European Journal of Combinatorics*, 22 (2001), 475-491.

ii) その他

- 1) M. Hachimori, Decomposition of 2-dimensional simplicial complexes, *Algebraic Topological Methods in Computer Science*, Stanford, USA, August 2001.
- 2) 八森正泰, 森山園子, 単体的複体のファセット-リッジ接続グラフとシェラビリティー, 応用数学合同研究集会, 龍谷大学, 2001年12月.

藤川 昌樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 藤川昌樹 『近世武家集団と都市・建築』(中央公論美術出版、2002年2月)

ii) その他

- 1) 藤川昌樹「北京市豊盛地区における四合院住区の空間的秩序」(社会工学系ファカルティ・セミナ、2001年7月)
- 2) 藤川昌樹「史料にみる町の変遷」(橋本の町と町家の研究会、橋本市教育文化会館、2001年10月)
- 3) 藤川昌樹「中日の伝統的市街地の比較-空間構成の特徴と保存上の問題-」(中日共同研究最終報告会、北京清華大学建築学院、2002年2月)
- 4) 谷村秀彦ほか『東アジア伝統的都市の現代化における空間制御技術に関する研究』(空間制御技術研究会、2002年3月)
- 5) 平山育男ほか「橋本の町家と街並みの形成と展開に関する復元的研究」(『住宅総合研究財団研究年報』28、pp.119-130、2002年3月)
- 6) 筑波大学安藤研究室・藤川研究室編『つくばの民家 つくば市古民家調査最終報告書』(つくば市教育委員会、2002年3月)

(2) 学会活動

- 1) 日本建築史研究会幹事、作事史料を読む会幹事

(3) 研究助成など

- 1) 筑波大学学内プロジェクト・奨励研究「武家儀礼の変化に着目した近世住宅史の再検討」
- 2) 文部科学省科学研究費(研究成果公開促進費)・学術図書「近世武家集団と都市・建築」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市居住環境史演習

環境科学研究科：環境計画史、環境科学実習

社会工学類：都市計画入門、緑地・景観計画、都市計画実習2

総合科目：都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学系施設委員
- 2) 社会工学類カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 高知県室戸市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 藤原博彦「金融資本市場の変容とIRの可能性」『社会情報学会学会誌』第12号(日本社会情報学会(JASI)学会誌)33-40頁 H13年5月
- 2) 藤原博彦「サイバーエコノミーと会計」『ECビジネスシステム技術大系・第1巻、第2編、第2章』(フジテクノシステム)66-72頁 H13年5月
- 3) 藤原博彦「情報文化とe-コマース」『情報文化学ハンドブック』(森北出版)170-181頁 H13年10月

ii) その他

- 1) 藤原博彦「ステイクホルダーの多様化とビジネス・モデル」日本セキュリティマネジメント学会 第15回全国大会発表予稿集 31-36頁 H13年5月
- 2) 藤原博彦「電子政府と税理士業務について」東京税理士会 基調講演 H13年12月
- 3) 藤原博彦「情報財としてのビジネスモデルと特許」OR Vol.47, no.8, 2002, 28-32頁

(2) 学会活動

- 1) 日本社会情報学会(JASI)評議員
- 2) 情報文化学会創立10年記念事業出版 編集幹事
- 3) 情報文化学会 評議員及び査読委員

(3) 研究助成など

- 1) H13年度学内プロジェクト奨励研究「情報流通過程における不確定情報を削減するビジネスモデルの枠組みの構築」
- 2) H14年度学内プロジェクト助成研究(B)「情報流通過程における双方向的コミュニケーションの実現」

(4) その他

- 1) 日本社会情報学会(JSIS)学会賞 研究奨励賞受賞
- 2) 日本社会情報学会(JASI)学会賞 論文奨励賞受賞
- 3) 日本社会情報学会(JASI)学会賞 博士論文賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 他大学における教育活動

- 1) 高知大学非常勤講師

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 石田東生、三浦浩志、岡本直久、古屋秀樹：高度情報機器を用いた走行速度調査における抽出率の検討、土木計画学研究・論文集、pp.81-88、2001.9
- 2) 古屋秀樹、萩田賢司、林祐志、森望：ヒヤリ事象と交通事故との関連性分析 - つくば市周辺を対象として - 、第 21 回交通工学研究発表会梗概集、pp.201-204、2001.10

ii) i) 以外の論文など

- 1) 西井和夫、古屋秀樹、山田宗男：駐車場案内情報提供の今後のあり方：利用者意識評価とニーズに基づいて、土木計画学研究・講演集、No.24(1)、pp.245-248、2001.11
- 2) 平島浩一郎、古屋秀樹、川嶋弘尚：道路勾配を考慮した自動車排出ガス量算出手法と車両巡回計画問題、土木計画学研究・講演集、No.24(2)、pp.221-224、2001.11
- 3) 金山直司、古屋秀樹、岡本直久、石田東生：交差点における自動車排出ガス量推計手法の開発、土木計画学研究・講演集、No.24(2)、pp.225-228、2001.11

iii) 査読なし口頭発表、学会による招待講演など

- 1) 平島浩一郎、古屋秀樹、川嶋弘尚：道路勾配と自動車排ガス排出量との関連性分析、土木学会第 55 回年次学術講演会講演概要集第 4 部門、pp.204-205、2001 年 10 月
- 2) 西井和夫、古屋秀樹、山田宗男：甲府 PGI システムに関する利用者評価の実態と今後の運用のあり方、土木学会第 55 回年次学術講演会講演概要集第 4 部門、pp.732-733、2001 年 10 月
- 3) 丸山和政、西井和夫、古屋秀樹：交通情報提供ツールに対する意識評価分析、第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演集、pp.608-609、2002.3
- 4) 古屋秀樹、杉本香絵：観光地再訪意向の調査方法に関する一考察、第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演集、pp.610-611、2002.3
- 5) 古屋秀樹：東京湾横断道路の計画プロセスに関する基礎的把握、第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演集、pp.686-689、2002.3
- 6) 古屋秀樹：自動車交通が環境に及ぼす影響について、運輸政策研究、No.13、pp.49-50、2001.7
- 7) 古屋秀樹、牧村和彦、森昌文：車載型車両挙動データを用いた交通安全性の評価、交通工学、Vol.36、No.6、pp.40-44、2001.11

(2) 学会活動

- 1) 土木学会土木計画学研究委員会編集小委員会委員
- 2) 交通工学研究会編集委員会委員
- 3) 日本計画行政学会査読小委員会委員
- 4) 運輸政策研究機構外国文献研究会メンバー

(3) 研究助成など

- 1) 学内プロジェクト (自動車排出ガスの拡散を考慮した拡大費用便益手法に関する研究, 奨励研究)
- 2) 科学研究費 (大規模社会基盤施設の計画プロセスに関する研究 (基盤 A, 分担))

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：図学・測量学，交通システム分析，都市計画実習 3

総合科目：都市・地域を考える (分担)

大学院社会工学研究科：交通計画演習

大学院環境科学研究科：交通計画論

(2) 他大学における教育活動

- 1) 東洋大学非常勤講師 (国際地域学部国際観光学科)

三橋 平

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Mitsuhashi, Hitoshi. Forthcoming. Effects of Social Origins of Alliances and Alliance Performance. *Organization Studies*. (REFREED)
- 2) Park, Hyeon Jeong, Hitoshi Mitsuhashi, Carl F. Fey, and Ingmar Bjorkman. 2001. The Effect of Human Resource Management Practices on Japanese MNC Subsidiary Performance? A Partial Mediating Model. Presented at The Global HRM Conference, Barcelona, Spain (REFEREED)
- 3) Park, Hyeon Jeong, Hitoshi Mitsuhashi, and Theresa M. Welbourne. 2001. What Causes Chief Executive Officer (CEO) Turnover? An Event History Analysis of Entrepreneurial Firms. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, Entrepreneurship Division, Washington, D.C. (REFREED)
- 4) Mitsuhashi, Hitoshi. 2001. Organizational Embeddedness and Formation of Biopharmaceutical R & D Alliances: Three Mechanisms for Eliminating Selection Uncertainty. A paper presented in the Annual Meeting of Academy of Management, OMT Division, Washington, D.C. (REFREED)
- 5) Mitsuhashi, Hitoshi & Hyeon Jeong Park. 2002. Network Configuration for Building Effective Networks: Effects of Embeddedness and Power Dispersion on Performance of Underwriter Syndicates in the Japanese IPO Markets. A paper presented in the Annual Meeting of American Sociological Association, Organization Theory Division, Chicago, IL. (REFREED)

(2) 研究助成など

- 1) 筑波大学学内プロジェクト研究助成 (B)
- 2) 文部科学省 平成 13 年度海外研究開発動向調査等にかかる研究者の派遣 (国際研究集会)
- 3) 財団法人 日本証券奨学財団 研究調査助成
- 4) 財団法人 学術振興野村基金 国際交流研究者海外派遣事業

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営政策研究科：統計学 I，起業論

社会工学類：経営の科学，経営情報システム

III. 社会的活動

- 1) 講演：メリーランド大学ビジネススクール「日本のベンチャーキャピタルとベンチャー環境」
- 2) 研究：日本総合研究所との pay mix に関する研究

繆瑩 (Ying Miao)

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) C. Lam and Y. Miao, $(C \oplus G, k, \lambda)$ difference families, Designs, Codes and Cryptography 24 (2001), 291-304.
- 2) Y. Chang and Y. Miao, Constructions for optimal optical orthogonal codes, Discrete Mathematics, to appear.
- 3) Y. Chang and Y. Miao, General constructions for double group divisible designs and double frames, Designs, Codes and Cryptography, 26 (2002), 155-168.
- 4) R. Fuji-Hara, S. Kageyama, S. Kuriki, Y. Miao and S. Shinohara, Balanced nested designs and balanced arrays, Discrete Mathematics, to appear.
- 5) R. Fuji-Hara, S. Kuriki, Y. Miao and S. Shinohara, Balanced nested designs and n-ary designs, Journal of Statistical Planning and Inference, 106 (2002), 57-67.
- 6) R. Fuji-Hara and Y. Miao, A note on geometric structures of linear ordered orthogonal arrays and (T, M, S) -nets of low strength, Designs, Codes and Cryptography, 26 (2002), 257-263.
- 7) R. Fuji-Hara, Y. Miao and S. Shinohara, Complete sets of disjoint difference families and their applications, Journal of Statistical Planning and Inference, 106 (2002), 87-103.
- 8) S. Furino, S. Kageyama, A. C. H. Ling, Y. Miao and J. Yin, Frames with block size four and index three, Journal of Statistical Planning and Inference, 106 (2002), 117-124.

ii) 査読なし口頭発表、学会による招待講演

- 1) Y. Miao, Applications of combinatorial designs in the constructions of optical orthogonal codes (Invited Talk), CAS International Conference on Graph Theory and Combinatorics and First Mainland-Taiwan Joint International Conference on Graph Theory and Combinatorics, Kunming, China, June 22-June 26, 2001.
- 2) Y. Chang, R. Fuji-Hara and Y. Miao, Optimal $(v,4,1)$ optical orthogonal codes with $v \equiv 0 \pmod{12}$, 「実験計画法とその周辺における組合せ的構造の解明と推測理論」研究集会, 城崎大会議館, 兵庫県城崎町, 平成 13 年 11 月 29 日-12 月 1 日.
- 3) Y. Miao, Combinatorial constructions of optimal optical orthogonal codes with weight 4, 「高次元データ解析の研究」研究集会, 広島大学, 東広島, 平成 14 年 1 月 10 日-11 日.
- 4) R. Tso and Y. Miao, Secret sharing schemes constructed from Latin squares, 日本数学会年会, 明治大学理工学部, 平成 14 年 3 月 28 日-3 月 31 日.

(2) 学会活動

Editorial Board : Graphs and Combinatorics, Springer.

レフェリー :

- 1) Bulletin of the Institute of Combinatorics and its Applications
- 2) Graphs and Combinatorics
- 3) Discrete Mathematics
- 4) Journal of Combinatorial Designs
- 5) Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing
- 6) The 2002 International Symposium on Information Theory (ISIT'2002)

その他 :

- 1) 「Designs, Codes, Graphs and their Links II」, 京都大学数理解析研究所研究集会, 平成 13 年 7 月 30 日-8 月 1 日, 副代表者.

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 (奨励研究 (A)、代表者)、「組合せ的デザインとその符号・暗号への応用」、課題番号 12740054.
- 2) 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般 (2)、分担者)、「代数曲線を用いた組合せ的配列やブロック・デザインの構成に関する研究」、課題番号 11640099.
- 3) 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 展開研究 (2)、分担者)、「デリバティブ価額計算のための超一様分布列の構成に関する研究」、課題番号 13558046.
- 4) 京都大学数理解析研究所研究集会助成金 (副代表者)、「Designs, Codes, Graphs and their Links II」.

(4) その他

- 1) 2002 年 3 月, Institute of Combinatorics and its Applications から 2001 年度 Kirkman Medal を受賞.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：離散数学と暗号，リスク工学演習

経営・政策科学研究科：実験計画法

社会工学類：統計学，情報ネットワーク

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 経営・政策科学研究科留学生・研究生委員会委員

村尾 修

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) その他

- 1) 村尾修，山崎文雄：震災復興都市づくり特別委員会調査データに基づく兵庫県南部地震の建物被害関数，第26回地震工学研究発表会論文集，1441-1444，2001.8
- 2) 村尾修，山崎文雄：建物被害関数結果に基づく兵庫県南部地震の建物被害関数，第一回日本地震工学研究発表・討論会梗概集，地震工学会，156，2001.11
- 3) 村尾修：阪神・淡路大震災時における建物被害調査，日本建築学会地震防災総合研究特別研究委員会都市防災・復興方策小委員会／都市計画委員会・都市防災システム小委員会合同公開研究会「被災直後の被害調査のあり方をめぐって」，2002.1
- 4) 村尾修：自己生成する力 - フレッシュマン・セミナーでの試み - ，筑波フォーラム，No. 60，2001.11
- 5) 村尾修（共著）日本都市計画学会防災・復興研究委員会：防災・復興研究委員会2001年度活動報告書，p.120，2002.3

(2) 学会活動

- 1) 都市計画学会 防災・復興研究委員会主査
- 2) 地域安全学会理事
- 3) 地域安全学会広報委員
- 4) 日本建築学会 都市防災システム小委員会都市防災システム図集編集WG
- 5) 日本建築学会 地震防災総合研究特別研究委員会 都市防災・復興方策小委員会委員
- 6) 自然災害学会 学会誌編集委員会

(3) 研究助成など

- 1) 地震災害からの復旧・復興過程に関する日本・トルコ・台湾の国際比較研究，科学研究費基盤研究(A)，研究分担者(代表：東京都立大学 中林一樹)
- 2) サイバーシティモデルと空間情報基盤を用いた都市性能評価に関する基礎的研究，科学研究費奨励研究(A)，研究代表者

- 3) 空間情報基盤を用いたサイバーシティモデル, 国際コミュニケーション基金助成, 研究代表者 (奨学寄付金)
- 4) 大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究 (火山灰災害による交通および都市活動への影響評価), 運輸施設整備事業団受託研究, 研究分担者 (代表: 筑波大学 熊谷良雄)
- 5) 建物耐震性能等の実態に関する調査研究, 地震予知振興会, 研究分担者 (代表: 東京大学生産技術研究所 山崎文雄)(奨学寄付金)
- 6) NY/WTCビルの被害拡大過程・被災者対応に関する日米共同研究 (H14), 文部科学省振興調整費, 研究分担者 (代表: 京都大学防災研究所巨大災害研究センター 河田恵昭)

(4) その他

- 1) 芸予地震被害調査, 2001.3
- 2) トルコにおける復旧・復興過程調査, 2001.8
- 3) 雲仙普賢岳における火砕流被害からの復興過程調査, 2001.10
- 4) 阪神・淡路大震災における復興調査, 2001.12
- 5) 台湾における復旧・復興過程調査, 2002.1
- 6) NY/WTCビルの被害拡大過程・被災者対応に関する日米共同調査, 2002.2

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：環境デザイン, 都市計画実習 II, 都市計画実習 III, フレッシュマン・セミナー, 都市デザイン演習

環境科学研究科：住環境計画論

システム情報工学研究科：リスク工学特別演習, 都市構造システム論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：予算委員, 営繕 WG, キャンパス・リニューアル・マスタープラン WG

社会工学類：施設委員, 広報委員, クラス担当 (1年)

(3) 他大学における教育活動

- 1) 東京大学生産技術研究所研究員
- 2) 日本大学理工学部非常勤講師
- 3) 明海大学不動産学部非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) インパク (インターネット博覧会) にて、「災害と防災の世界 - そなえる・たたかう・のりこえる - 」にて, 3月4日企画「わがまちの防災対策とまちづくり」を総合プロデュース

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Sougiannis, T. and T. Yaekura “The Accuracy and Bias of Equity Values Inferred from Analysts’ Earnings Forecasts” *Journal of Accounting, Auditing, and Finance*. Fall 2001.

ii) その他

- 1) Yaekura, T. “Investment Strategies Based on Accounting-based Valuation Models” (平成 13 年度多目的データバンク年報 所収)
- 2) 八重倉孝 「マクロ会計政策の評価 - 実証研究の観点から - 」(『マクロ会計政策の評価』山地秀俊編著、神戸大学経済経営研究所叢書 58 所収)
- 3) 八重倉孝 「会計基準設定と企業評価モデル」 『会計』 2001 年 8 月号
- 4) パレプ他著 『企業分析入門(第 2 版)』 斎藤静樹監訳、東京大学出版会(共訳: 第 10~12 章、ケース 1 件担当) 2001 年
- 5) 桜井久勝編著 『テキスト国際会計基準』 白桃書房(共著、第 12 章担当) 2001 年
- 6) 八重倉孝 「書評: キャッシュ・フロー会計情報の有用性」 『企業会計』 2001 年 7 月号

iii) 口頭発表

- 1) 八重倉孝 「企業評価モデルによる投資戦略」日本会計研究学会 60 回大会(2001 年 9 月)
- 2) 八重倉孝 「会計情報の有用性と会計ビッグバン」神戸フォーラム(会計学)(2001 年 7 月)
- 3) 八重倉孝 「Discussion of “Earnings Components and Earnings Surprises: Implications on Future Performance and Stock Returns” by Tokunaga, Garza-Gomez, Kunimura, and Masuda」日本ファイナンス学会第 9 回大会(2001 年 6 月: 討論者として)

iv) 受賞

- 1) 2001 Outstanding International Dissertation Award (American Accounting Association International Accounting Section)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

大学院ビジネス科学研究科経営システム科学専攻: 財務会計, 財務会計輪講 II, 財務会計輪講 III

(2) 役職・各種委員会委員

大学院ビジネス科学研究科経営システム科学専攻: 総務委員

(3) 他大学における教育活動

- 1) 国際大学大学院国際経営学研究科: 会計学特講 II, 国際経営特別演習 III
- 2) 千葉大学法経学部: 財務管理論
- 3) 埼玉大学大学院経済学研究科: 企業評価論

III. 社会的活動

- 1) NPO 法人国際会計教育協会 幹事

山鹿 久木

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 山鹿久木・中川雅之・齊藤誠 (2002) 「地震危険度と地価形成：東京都の事例」, Discussion Paper Series No.966, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba.
- 2) 山鹿久木 (2001) 「ヘドニック・アプローチによる通勤混雑疲労の測定 - 東京都の通勤鉄道における実証的研究 - 」 『交通学研究』 2001 年度研究年報, pp.157-166.
- 3) Hatta, T. and Yamaga, H. (2001), “ Fatigue Cost of Commuting and Optimum Congestion Charge :An Empirical Estimation ”, Proceedings of Annual Conference of Asian Real Estate Society in Japan (CD-ROM).
- 4) 大竹文雄・山鹿久木 (2001), 「定期借家権制度と家賃」 『住宅土地経済』 2001 年夏季号, pp.10-19.

ii) その他

- 1) 日本交通学会研究発表大会 (大阪市大) 「ヘドニック・アプローチによる通勤混雑疲労の測定 - 東京都の通勤鉄道における実証的研究 - 」, 2001 年 7 月 30-31 日 .
- 2) 応用地域学会研究発表大会 (札幌学院大) 「地震危険度と地価形成：東京都の事例」, 2001 年 12 月 3-4 日 .

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 若手研究 (B)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：微分積分学，都市経営論

吉田 友彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 吉田友彦・谷村秀彦・渡辺俊 「北京四合院街区における商品住宅建設の概算事業費について-日本の既成市街地との比較分析から-」 2001.11、都市計画論文集第 36 集、pp.439-444

ii) その他

- 1) 吉田友彦・谷村秀彦・渡辺俊「既成市街地の民間住宅事業における概算事業費の日中比較」2001.9、日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.977-978
- 2) 吉田友彦・黄錦容「台湾における帰国元留学生の留学効果に関する研究ノート -その1 日本・欧米比較追跡調査結果の概況-」2001.12、留学生教育第6号、pp.95-107
- 3) 黄錦容・吉田友彦「台湾における帰国元留学生の留学効果に関する研究ノート -その2 校友会・学歴等からみた詳細な考察-」2001.12、留学生教育第6号、pp.109-126
- 4) 吉田友彦「住宅建設における概算事業費の日中比較と再開発モデル提案」2002.1、中国清華大学建築学院共同研究報告会における口頭発表
- 5) 吉田友彦「開発途上国に対する日本の区画整理技術移転について」2002.3、日本建築学会関東支部研究報告集、pp.297-300
- 6) 空間制御技術研究会「東アジア伝統的都市の現代化過程における空間制御技術に関する研究」2002.3、科学研究費補助金基盤研究B研究成果報告書

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会・建築経済委員会・住宅の地方性小委員会・幹事
- 2) 日本建築学会・関東支部・住宅問題専門研究委員会・委員

(3) 研究助成など

- 1) 日本学術振興会・外国人研究者招へい(短期)「密集市街地における高齢者の住宅改善に関する研究」(研究代表者)
- 2) 国土交通省土地関係研究者育成支援事業「旧宅地造成事業地区およびその周辺農地における空間の粗放化に関する研究-茨城県つくば市域を事例として-」(研究代表者)
- 3) 日本学術振興会科学研究費補助金・奨励研究(A)「開発途上国への土地区画整理技術の移転に関する研究」(研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：社会工学概論及び実習，都市計画実習

環境科学研究科：環境計画実習，統計処理法，環境科学実習

その他：

- 1) 留学生センター相談指導業務(火曜日)
- 2) 外国人留学生及びチューター向けオリエンテーション(国費2回・私費2回・チューター2回、合計年6回)
- 3) システム情報工学研究科・特別研究学生・履修指導補助
- 4) 一般日本事情(日本語・日本事情編成科目)

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類広報委員会委員
- 2) 留学生センター・ネットワークWG委員長

- 3) 留学生センターウェブマスター (Web ページ及び代表 e-mail の管理・運営)

III. 社会的活動

- 1) NPO 法人・西山記念すまい・まちづくり文庫運営委員
- 2) 一級建築士登録 (296144 号)
- 3) 茨城県建築士会会員

渡辺 真一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Tsuru, N., Kanazawa, Y., & Watanabe, S. (2001). Continuous learning as a mediator of the relationship between personality and sales performance: An empirical study on a Japanese information systems company. *Japanese Journal of Administrative Science*, 15, 1, 29-45.

ii) Conferences

- 1) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2002). A cognitive dissonance explanation of the relationships among person-situation discrepancies, self-adjustment and situational attachment. American Psychological Society 14th Annual Convention, New Orleans, LA.
- 2) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2002). Moderating effect of work efforts on the relationship between performance-demands discrepancies and work role attachment. American Psychological Society 14th Annual Convention, New Orleans, LA.
- 3) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2002). A study on the relative importance of latent vs manifest person-situation relations for situational attachment. American Psychological Society 14th Annual Convention, New Orleans, LA.

新谷由紀子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 菊本、新谷「大学・高等専門学校発のベンチャーの現状とその推進方策について 平成 12 年度全国調査の結果から」、筑波大学先端学際領域研究センター「TARA NEWS」NO.17、pp. 23-31、2001.4
- 2) 新谷「産学連携と大学の倫理問題に関する序論」文理シナジー学会『文理シナジー』第 6 巻第 1 号、pp.6-21、2001.10
- 3) 新谷「ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) の現状と課題に関する調査から見た大学発ベンチャーの支援方策の在り方」筑波大学大学研究センター『大学研究』第 24 号、pp.83-95、2002.3
- 4) 菊本、新谷「大学等発ベンチャーの現状と推進方策に関する調査研究」平成 13 年度文部科学省 21 世紀型産学連携手法の構築に係るモデル事業成果報告書、2002.3

(2) 学会活動

- 1) 新谷「国立大学における今日的目的と産学連携の方向性に関する一考察」研究・技術計画学会第16回年次学術大会講演要旨、pp.21-24、2001.10
- 2) 新谷・菊本「大学発ベンチャー設立の推進方策に関する実証的研究」研究・技術計画学会第16回年次学術大会講演要旨、pp.424-427、2001.10

II. 社会的活動

- 1) 新谷「大学発ベンチャーの支援方策について～ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(VBL)の現状と課題に関する調査から～」平成13年度第9回Rcusセミナー講演、筑波大学大学研究センター、2002年1月7日

大津 晶

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 査読付き論文

- 1) 腰塚武志, 大津 晶:「都市領域における距離分布の導出とその応用」, 日本都市計画学会学術研究論文集, 第36号, pp871-876.

ii) その他

- 1) 大津 晶:「線的都市施設の適正な量について」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp162-163.

iii) 学会口頭発表

- 1) 大津 晶:「線的都市施設の適正な量について」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会2002年春季研究発表会.

(2) 研究助成など

学内プロジェクト

- 研究種目: 奨励研究(準研)
- 研究課題: 省エネルギーを目指した都市構造と交通システムに関する研究-省エネルギー都市の成長モデルと数値実験による環境負荷低減策の評価-

ANNUAL REPORT 2001 – 2002 No.25

2002年10月発行

発行 筑波大学 社会工学系 総務委員会

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL 0298-53-5182, 5170

FAX 0298-53-5070, 55-3849

表紙写真 山田 圭一 名誉教授